

1840迄 (2602件)

- 1831年-08:00|インドネシア| |||<即位>カリブワン君主「Mangkudiningrat」(~同年)⇒「Pangeran Adipati Natapraja」(~1853年)
- 1831年-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「トゥンク・アスム」(タイに対し反乱~1839年)
- 1831年-08:00|インドネシア| |||<即位>ナグラン君主「Pangeran Prabu Adiningrat」(~1833年)
- 1831年-06:00|プータン| |||<就任>プータン精神的支配者・国家元首「ジグメ・ナルプ」(~1861年没)
- 1831年-06:00|プータン| |||<就任>プータン摂政「ドルジ・ナムギヤル」(~1832年)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>カラハンティ国ラジャ「ファテ・ナヤン・デオ」(~1853年)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>ガッラウリ国統治者(デイワン)「ハリチャット・シン」(~1884年没)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>ガソール国ラジャ「シヤガ・テ・フ・シエール・デオ」(~1852年)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>ケンタル国統治者(ラ)「サンサル・セン」(~18580724)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>ナゴト国ラジャ「ラグ・ビント・シン」(~18740222没)
- 1831年-05:30|インド| |||<就任>ラージガル国支配者(ラウト)「ラウト・モティ・シン」(~1872年)
- 1831年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハゲダットのワリス「アリ・リザ・ハ・シャ」(~1842年3月)
- 1831年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムッカリフ「ムフト・エフェンディ」(~1832年)
- 1831年-03:00|ペラルーシ/ロシア| |||<就任>シシクのロシア軍臨時総督兼シシク県民事務管理責任者「クニャージ・ニコライ・アントン・レイヴイッチ・トルコルキイ」⇒「セルゲイ・グーリコ・リウ・イチ・ストロガノフ伯爵」(~1832年)
- 1831年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>ウクライニ、ホジリヤ臨時総督「Yakov Alekseyevich Potyomkin」
- 1831年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ウクライニ、ホジリヤ臨時総督「Vasilii Vasilyevich Levashov」(~1832年)
- 1831年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>シャバシャ統治者(マンボ)「チナムラ5世トウイザ」
- 1831年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Ahmed Bey」軍民政府(~1832.6)
- 1831年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>マンゴウエ統治者(マンボ)「マコニ10世ゼンデラ」
- 1831年-02:00|ギリシャ/エジプト| |||クレタ島をエジプトが統治(名目上はオスマン帝国の主権下~1841年)
- 1831年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Juan Cortes」(~同年)⇒総督「Carlos Ullmann」(~1832年)
- 1831年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザーン・スルタン「サイフ・アン・ナシル・アブド・アル・ジヤリル・イブン・ラウド」(~1842年没)
- 1831年-01:00|アルジェリア| |||<即位>トゥグルト・スルタン「アリ4世ヒンアルカヒール」(~1833年)
- 1831年-01:00|オランダ/インドネシア| |||ショクジヤカルタ王国:オランダの直接支配に
- 1831年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>シエラレオネ 摂政「トマス・ステイブソン・カーカー」(~1842年)
- 1831年 00:00|モリタニア| |||<就任>タリフ・ニッソ連邦エミール(アハカ系)「ムハマト・シエイン」(~1836年)
- 1831年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・ト・ロ統治者統治者(アルマミ)「ヒラン・イブラー・ワーン」(3回目~1832年)
- 1831年 01:00|カーボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルデ 総督「ホセ・コウチーニョ・デ・ランカストル」(~18330908)
- 1831年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Louis Aurange」(2期目~同年)⇒「Louis Auguste Elliot」(2期目)⇒「Carol」(~1832年)
- 1831年 10:00|ボリネシア| |||ライアアアの支配者は、それまでいくつかの地区に細分化されていたものの支配者にもなる
- 1831年-07:00|ラオス/ベトナム| |||<死去>シエンクアーン王「ノイ」ベトナムのミン・マン皇帝によって処刑され、シエンクアーンはベトナムにチャンニン省として併合(~1832年)
- 1831年1月-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ総督「コンスタンティン・イ・ノス・イ・リウ・マウ・ロミチヤリス」ラコニアで反乱⇒「イリアス・カツアコス・イ・アソウ・マウ・ロミチヤリス」反乱(~同月)
- 1831年1月-01:00|フランス| |||ミシシによって職を奪われることを恐れたパリの縫製職人たちが、フランスの仕立屋バルルム・ティモエ(1793-1857)の「縫製工場」を襲い、ミシシを破壊
- 1831年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨセフ・カール・ザバール・レオポルト・レオターガー・アムリン」Lib(3期目~12.31)
- 1831年1月1日-01:00|ルクセンブルグ/ベルギー| |||<就任>ルクセンブルグ総督代行「ジャン・ルクレル」(~3.4)
- 1831年1月1日 06:00|アメリカ| |||ウィリアム・ギャリソン(26)が、ボストンで奴隷解放機関誌「リベレーター」を発行
- 1831年1月3日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文政13年11月20日|京要法寺本堂再建
- 1831年1月3日-09:00|日本|東京都|文政13年11月20日|<死去>画家・高嵩月(76歳)
- 1831年1月4日-01:00|アルジェリア/フランス| |||オランがフランスに征服され、アルジェリアに編入される
- 1831年1月4日 03:00|アルゼンチン| |||<結成>アルゼンチン連邦
- 1831年1月4日-09:00|日本|広島県広島市|文政13年11月21日|<死去>安芸広島藩42万6500石「浅野齊賢」(58歳)⇒翌年1月20日、長男「浅野齊肅」が継ぐ(⇒安政5(1858)年4月12日、隠居)
- 1831年1月10日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジョージ・マッキー」(~3.8没)
- 1831年1月11日-09:00|日本|栃木県さくら市|文政13年11月28日|<交替>喜連川藩5000石(10万石格)「喜連川彭氏」隠居⇒三男「喜連川熙氏」が継ぐ(⇒文久元(1861)年11月10日、死去)
- 1831年1月12日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督「ジョージ・フィッツ・エルト・ヒル」(~1833年)
- 1831年1月17日 07:00|日本|長崎県長崎市|文政13年12月4日|長崎浦上山里村小瀬戸浦より出火。105戸が焼失
- 1831年1月20日-01:00|ベルギー| |||ロンドン会議でベルギーの独立を承認
- 1831年1月23日-09:00|日本| |||天保1年12月10日|「天保」に改元
- 1831年1月25日-01:00|ポーランド/ロシア| |||ポーランド議会議長が、ポーランド国王となっているロシア皇帝ニコライ1世の廃位とロシアからの独立を宣言
- 1831年1月29日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「ルートヴィヒ・ヴァインセント・フォン・ハイン」(~10.21没)

1840迄 (2602件)

- 1831年1月30日-09:00|日本|東京都|天保1年12月17日|<死去>二代目・勝儀蔵(歌舞伎狂言作者, 四代目鶴屋南北の  
実子)
- 1831年1月30日-09:00|日本|静岡県掛川市|文政13年12月17日|<死去>西尾忠善(63歳)前遠江横須賀藩主
- 1831年1月31日-08:00|マレーシア| ||<即位>トレンガヌ・スルタン「トゥアンク・ウマル・イブン・ニアル=マルフム・スルタン・アブドゥル=カラムン」(1回目~同  
年)、「トゥアンク・マンスル・シャー2世、イブン・ニアル=マルフム・スルタン・ザイナル=アビディン」(~18370308没)
- 1831年2月-01:00|ポーランド/ロシア| ||ロシア軍がポーランドへ侵攻開始
- 1831年2月2日-01:00|バチカン| ||<就任>第254代ローマ教皇「グレゴリウス16世」(~18460601死去)
- 1831年2月4日-09:00|日本| ||文政13年12月22日|<死去>4代田中伝左衛門(不明)歌舞伎囃子方
- 1831年2月5日-09:00|日本|東京都中央区|天保1年12月23日|江戸日本橋小伝馬町から出火、幅1町半、長さ6町が焼  
け、中村座・市村座も焼失
- 1831年2月7日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天保1年|<死去>石見津和野藩43468石「亀井茲尚」(45歳)⇒三  
男「亀井茲方」が継ぐ(⇒天保10(1839)年6月21日、隠居)
- 1831年2月7日-01:00|ベルギー| ||ベルギー-国民議会在ベルギー-憲法を公布
- 1831年2月10日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首代行「ホセ=グレゴリー=マルクス」(~8.  
28)
- 1831年2月13日-09:00|日本| ||天保2年|<刊行>富嶽三十六景
- 1831年2月13日-09:00|日本| ||天保2年1月|<出版>歌川国貞「戯場一観顕微鏡」下帙
- 1831年2月13日-09:00|日本| ||天保2年1月|<出版>葛飾北秀「養生一言草」
- 1831年2月13日-09:00|日本| ||天保2年1月|<出版>柳斎重春「役者三国志」
- 1831年2月15日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ノボロシヤ=ベッサラビア総督代理「Graf Fyodor Petrovich Palen」(2期目  
~1832. 10)
- 1831年2月18日-09:00|日本|新潟県長岡市|天保2年1月6日|<死去>良寛(74歳、宝暦8(1758)年12月生)曹洞宗の僧、  
歌人
- 1831年2月21日-01:00|バチカン| ||<就任>バチカン枢機卿国務長官「トマゾ=ベネディッキ」(2回目~18360112)
- 1831年2月22日-09:00|日本|H20テイルング|天保2年1月10日|初代飯田新七が京都烏丸松原で古着・木綿商「たかしま  
や」をはじめる
- 1831年2月24日-09:30|オーストラリア/イギリス| ||エンター=ペーランドはイギリスの大尉ジョン=ヒスコによって発見された
- 1831年2月25日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー-摂政「サレット=ト=ジョキ男爵イスマール」(~7. 21)
- 1831年2月26日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー-閣僚会議議長「アルベルト=ジョセフ=ゴベルト=ト=アルウイユ」(~27日)
- 1831年2月26日-01:00|イタリア| ||イタリアで無血革命が行われ、解放された地方の代表がポーロニヤに集り、教皇の世俗  
権の消滅・イタリア諸州連合の形成を宣言
- 1831年2月27日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー-閣僚会議議長「エティエンヌ=コンスタンタン=ジョエラージュ」(⇒3. 15内閣長官~  
3. 23)
- 1831年3月-02:00|ルーマニア/ロシア| ||<就任>ワキアのディイアン・ロシア副大統領(モルダヴィアの大統領に従事)「マトゥエイ=ヤコブレ  
ウイ=ミンチキ」⇒「フォード=ル=ヤコブレウイ=ミルコウイッチ」(~1834年7月)
- 1831年3月1日-09:00|日本|東京都|天保2年1月17日|<死去>初代朝寝坊夢楽(55歳)落語家(豊竹戸志太夫、→流浴  
亭玖蝶→初代三笑亭夢楽→三笑亭夢羅久→朝寝坊夢羅久→笑語楼夢羅久)
- 1831年3月2日 06:00|アメリカ| ||ジャクソン大統領、港湾改良法に署名
- 1831年3月4日-01:00|ルクセンブルグ/ベルギー| ||<就任>ルクセンブルグ総督「カール=ベルナルト=ヘルツォーク=フォン=ザ=クセン=ヴァイマル」(~5  
. 27)
- 1831年3月6日-01:00|イタリア| ||<初演>ウインチェツォ=ペッリーニ《歌劇「夢遊病の女」》
- 1831年3月8日-01:00|イタリア| ||イタリア、クロで地震(M6. 5)死者234人
- 1831年3月8日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「マーク=アンソニー=ホブソン」(1回目~9. 15)
- 1831年3月8日 04:00|チリ| ||<就任>チリ共和国大統領代行「フェルナンド=デ=エラス=リス=イ=マルティネス=デ=アルド=ウァーテ」(~9. 18)
- 1831年3月10日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天保2年1月26日|<死去>島津忠持(66歳)前日向佐土原藩主
- 1831年3月12日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首「ホセ=マリア=アントニオ=デ=ラ=カス=  
マルクス」(~18320326没)
- 1831年3月13日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第11代首相「カシミール=ピエール=ペリエ」オルレアニスト(~18320516在職中に  
病死)
- 1831年3月13日-09:00|日本|神奈川県横浜市|天保2年1月29日|<神奈川宿(現・横浜市)天保2年の大火>1200軒余焼  
失し伝馬業務5日間ストップ
- 1831年3月14日-01:00|フランス| ||パリの「サン=ジェルマン=ロゼの教会」(1区)で、「ペリー公(シャルル10世)」のためのミサが行わ  
れるが、市街で衝突が起き、「大司教館」が荒らされる
- 1831年3月14日-09:00|日本| ||天保2年2月|女浄瑠璃、1805年に次いで禁止
- 1831年3月14日-09:00|日本/オーストラリア| ||天保2年2月|東蝦夷厚岸にオーストラリア捕鯨船来航し戦闘となる
- 1831年3月17日-09:00|日本|東京都港区|天保2年2月4日|<大相撲>天保2年2月場所[江戸芝神明社内](10日間)幕  
内優勝:(東前2)鷲ヶ濱, 6勝0敗1預3休
- 1831年3月18日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ゴイナ男爵=子爵ベルナルド=ホセ=ダ=ガマ」(1回目~4. 5  
)
- 1831年3月20日-09:30|オーストラリア| ||オーストラリア提督マッコリーが権力乱用の嫌疑で辞任
- 1831年3月21日-01:00|アルジェリア/フランス| ||<就任>フランス軍アルジェリア司令官「ベルセ=ン男爵ピエール」(~12. 6)
- 1831年3月23日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー-内閣長官「ジャン=ルイ=ジョセフ=ルベ」(1回目~7. 26)

1840迄 (2602件)

- 1831年3月26日-02:00|ロシア| |||<就任>ロシア最高中央委員会委員長(反乱)「スタニスワフ・シュムスキー」(~6.11)
- 1831年3月26日-02:00|ロシア/ロシア| |||ロシア統治は、ポーランドでの「第一次暴動」に関連した反乱によって部分的に中断されたが反乱軍はウルクとコノの確保に失敗(~7.9)
- 1831年3月26日 00:00|イギリス| |||<死去>コグエンリー伯「ジョージ・ウィリアム・コグエンリー」
- 1831年3月26日 00:00|イギリス| |||<就任>コグエンリー伯「ジョージ・ウィリアム・コグエンリー」(~18430515死去)
- 1831年3月27日-09:00|日本|岡山県真庭市|天保2年2月14日|<死去>美作勝山藩23000石「三浦誠次」(50歳)⇒長男「三浦峻次」が継ぐ(⇒天保10(1839)年6月18日、19歳で死去)
- 1831年3月29日-01:00|ポズナń・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナń総督「フセイン・カタン・グラータ・シュチュエウ・イチ「ポズナńのドラゴン」宰相」オスマン帝国の支配に対し反乱(~18320605)
- 1831年3月30日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セント・マス島・セントジョン島総督代理「Lewin Jurgen Rothe」(2期目~6.24)
- 1831年3月30日-09:00|日本| ||天保2年2月17日|<死去>6代山本春正(58歳)蒔絵師
- 1831年3月31日-09:30|オーストラリア| |||植民地最初の蒸気船、SSサウス号、ポートジャクソン、ニュートラル・ベイで進水
- 1831年3月31日-09:00|日本/オーストラリア|北海道|天保2年2月18日|イギリス領オーストラリア捕鯨船「レイ・ロウエナ号」が蝦夷に侵入、役人と交戦
- 1831年4月-01:00|イタリヤ| |||マツィーニが「青年イタリヤ」を組織
- 1831年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロヴ・ニコ・ベッリツィ」(「ビアンコ・マルテッリ」)
- 1831年4月2日-09:00|日本/オーストラリア|北海道|天保2年2月20日|イギリス領オーストラリア捕鯨船「レイ・ロウエナ号」乗員が東イタリヤの地ウルクに上陸して、近隣の空き家などに放火。事件は松前藩の詰め所のある厚岸に届き、詰所の役人、弓矢や馬の達者なアイヌなど45人が現地に向かい、双方で鉄砲を撃ち合う戦闘となる
- 1831年4月5日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「イニャツ・ペ・デ・シマ子爵・侯爵アントニオ・ルイス・ペレイラ・ダ・ケニャ」(~6日)
- 1831年4月5日 03:00|ブラジル| |||トンプドロ、内閣を解散/抗議する群衆が王宮を包囲、トンプドロの退陣を求め暴動になる
- 1831年4月6日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ゴイア男爵・子爵ペルナルト・セルダ・ガマ」(2回目~7日)
- 1831年4月6日-09:00|日本|大分県大分市|天保2年2月24日|<交替>豊後府内藩22200石「松平近訓」隠居⇒養子「松平近信」が継ぐ(⇒天保12(1841)年3月28日、死去)
- 1831年4月7日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ゴイア男爵・子爵ペルナルト・セルダ・ガマ」(3回目~26日)
- 1831年4月7日 03:00|ブラジル| |||<譲位>ブラジル帝国皇帝「ペドロ1世」
- 1831年4月7日 03:00|ブラジル| |||<即位>ブラジル帝国皇帝「ペドロ2世」ペドロ1世の息子(~18891115廃位)、暫定摂政「カララス子爵・侯爵セル・ホアキン・カルネイロ・デ・カンボス/ニコラウ・ペレイラ・デ・カンボス・ウエルガ・イロ(大統領)/フランスコ・デ・リマ・エ・シルバ」(~6.18)
- 1831年4月8日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「サー・ウィリアム・ヒューストン」(~18350228)
- 1831年4月13日-09:00|日本| ||天保2年3月|<出版>葵岡北溪「狂歌春のなごり」
- 1831年4月13日-09:00|日本| ||天保2年3月|<出版>西川信春「新滑稽発句集」
- 1831年4月13日-09:00|日本| ||天保2年3月|<出版>武井周作(一勇斎国芳・小松原翠溪等の挿画)「魚鑑」
- 1831年4月13日-09:00|日本| ||天保2年3月|<出版>柳川重信「新撰狂歌集」
- 1831年4月14日 05:00|コロンビア/バハマ/エクトル・ベネズエラ| |||<就任>大コロンビア大統領代行「ドミンゴ・カイセド・イ・サンス・デ・サントマリア」(2回目、30日まで対立~11.21)
- 1831年4月16日-09:00|日本/オーストラリア|北海道|天保2年3月4日|イギリス領オーストラリア捕鯨船「レイ・ロウエナ号」は17日間の断続的な戦闘とにらみ合い後、捕虜を返還すると突然出航
- 1831年4月18日-09:30|オーストラリア| |||『シトニー・ヘラルド』初版発行
- 1831年4月18日 06:00|アメリカ| |||ニューヨーク大学創立
- 1831年4月20日-09:00|日本|大阪府大阪市港区|天保2年3月8日|大坂町奉行新見正路安治川口を浚し天保山を築く
- 1831年4月22日-09:00|日本|滋賀県高島市|天保2年3月10日|<交替>近江大溝藩2万石「分部光寧」隠居⇒養子「分部光貞」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1831年4月24日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロ総督代理「Johannes Sobotker」(1期目~18320718)
- 1831年4月26日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「マヌエル・セル・デ・スザ・フランス」(~7.16)
- 1831年4月27日-01:00|イタリヤ/フランス| |||<即位>サルデーニャ国王「カルロ・アルベルト」カリニャーノ公カルロ・エマヌエーレとマリア・クリスティーナ・デ・イ・サツニアの息子(~18490323退位)兼サヴォイア公「カルロ・アルベルト」(~18490728死去50歳)
- 1831年4月27日 00:00|カナダ/イギリス| |||アサンテがイギリスと和平協定を締結
- 1831年4月27日-09:00|日本|愛媛県大洲市|天保2年3月15日|<交替>伊予新谷藩1万石「加藤泰儔」隠居⇒長男「加藤泰理」が継ぐ(⇒文久2(1862)年12月20日、隠居)
- 1831年5月-05:30|インド| |||インドでワハブ派がシク軍の攻撃に敗れ解体
- 1831年5月-02:00|ギリシャ/エジプト| |||自治を支持するイラ地方の反乱(~1832年2月)
- 1831年5月6日-05:00|パキスタン| |||パキスタン、ムジャヒディン運動の指導者とその部下の部隊が、バーレーコートの戦いでシク王国の軍隊に敗れる
- 1831年5月12日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マスター伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・フィッツクラレンス」(~18420320死去)
- 1831年5月18日 00:00|イギリス| |||<死去>3代リスバーン伯「ジョン・ウオーン」

1840迄 (2602件)

- 1831年5月18日 00:00|イギリス| |||<就任>4代リスバーン伯「アーネスト・オーガスタス・マレット・ウォーン」(~18731108死去)
- 1831年5月23日-09:00|日本|富山県富山市|天保2年4月12日|<富山天保2年の大火「浜田焼け」>午の刻(午前12時ごろ)、西田地方神明社の東にある浜田弥五兵衛方より出火、炎は北上し、東西に広がって富山城内及び城下93町、郊外の3村を全滅させ70人が死亡/富山城内では、公事場役所(藩の裁判所)、越中の特産菓種の販売を支援する“反魂丹役所”、藩校の広徳館など役所の建物と土蔵すべてを焼失/城下では侍屋敷300軒、足軽など下級侍の家877軒、町人の本家(自分の家)1949軒、貸家5029軒、松川北部の愛宕町など百姓家122軒、土蔵納屋689棟、寺46か所、神社3か所が焼失
- 1831年5月26日-01:00|ポーランド/ロシア| |||オストロレンカの戦いで、ポーランド軍がロシア軍に敗れる
- 1831年5月27日-01:00|ルクセンブルク/オランダ| |||<就任>オランダ政府ルクセンブルク委員会議長「フリートリヒ・ヴィルヘルム・フォン・ゲーテック」(~18390623)
- 1831年5月28日 00:00|イギリス| |||<死去>7代ノーセック伯「ウィリアム・カーズレー」
- 1831年5月28日 00:00|イギリス| |||<就任>8代ノーセック伯「ウィリアム・ホープ・タウン・カーズレー」(~18781205死去)
- 1831年5月28日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「トマス・ルノー・ド・サンジェルマン」(~18331017没)
- 1831年5月29日-09:00|日本|新潟県長岡市|天保2年4月18日|<交替>越後長岡藩74000石「牧野忠精」隠居⇒四男「牧野忠雅」が継ぐ(⇒安政5(1858)年10月25日、死去)
- 1831年5月30日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「フォアのランチェスカ」》
- 1831年5月30日-09:00|日本| ||天保2年4月19日|百姓・町人の葬式の規模を制限し、院号・居士号の使用が禁じられる
- 1831年6月-09:30|オーストリア| |||蒸気船ソフィア・ジエン号、シドニー、ニューカッスル間を史上初めて、8時間で蒸気で走行
- 1831年6月 00:00|北極/イギリス| |||英探検家ジェームズ・クラーク・ロスが北磁極に到達
- 1831年6月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督代行「フェリックス・ハーマー」(~7月)
- 1831年6月2日 03:00|ブラジル| |||パラ州の第24師団が、政治的自由を求め反乱
- 1831年6月5日 03:00|ブラジル| |||市民弾圧法が制定される。暴動を鎮圧するため警官隊を補助する民兵隊(国家警備隊)の設置が認められる。後に国家警察へと発展
- 1831年6月10日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天保2年5月|<交替>上野伊勢崎藩2万石「酒井忠良」隠居⇒弟「酒井忠恒」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年4月7日、隠居)
- 1831年6月11日-02:00|リトアニア/ポーランド| |||<就任>リトアニアのポーランド 暫定中央政府大統領(反乱)「タデウシュ・ワシヴィア・ティシュキエヴィチ」(~7.9)
- 1831年6月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「ホトマック」(1726t, ワシントン海軍工廠で建造)
- 1831年6月16日-09:00|日本| ||天保2年5月7日|<死去>千家俊信(68歳)国学者、歌人
- 1831年6月18日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「女流作家と泥棒」》
- 1831年6月18日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国常任摂政「フランシスコ・デ・リマ・エ・シルバ」(大統領)/ホセ・ダ・コスタ・カルヴァロ/ジョン・ブラウリオ・ムニース(18350920まで) (~18351012)
- 1831年6月19日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天保2年5月10日|<交替>但馬豊岡藩15000石「京極高有」隠居⇒長男「京極高行」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年9月29日、死去)
- 1831年6月20日-05:30|インド| |||<就任>ポルポランド国統治者(ラ)「ウイクラマジ・ヒモジラジ」(~19000421没)、摂政「ニコルバ・リハ・クンガ・アハ」(~1841年没)
- 1831年6月24日 04:00|米領グアージン諸島/イギリス| |||<就任>セント・トマス島・セントジョン島総督「Johannes Sobotker」(2期目~18320718)
- 1831年6月27日-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「ウエジヒ・イヴリム・ハシヤ」(~10.14)
- 1831年7月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Benderli Selim Sirri Pasha」(~11月)
- 1831年7月 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ総督「ジェームズ・キャンベル卿」(3回目~1833年4月)
- 1831年7月1日 00:00|イギリス| |||<死去>9代ダント・カルト伯「アーチバルド・コラン」
- 1831年7月1日 00:00|イギリス| |||<就任>10代ダント・カルト伯「トマス・コラン」先代の息子(~18601031死去)ブラジル帝国からマラニョン侯爵の爵位を与えられる
- 1831年7月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「バスタード・アントニオ・デ・オリベイラ・レイテ・デ・バロス・エ・ド・ウァッレ」(~18330804)
- 1831年7月1日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「フスト・パレダス」(~同月)⇒「トマス・デ・エレラ」軍事総督(1回目~1832年)
- 1831年7月2日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アラリス政府首相「ホセ・アントニオ・フェレイラ・ブラッカー・ラミー」(~10.10)
- 1831年7月4日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第5代大統領「モンロー」73歳(誕生17580428)
- 1831年7月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保2年5月25日|<就任>大坂城代「松平伊豆守信順」(~天保5.4.11)
- 1831年7月4日-09:00|日本|京都府京都市|天保2年5月25日|<就任>京都所司代「太田資始」(⇒1834(天保5年4月11日))
- 1831年7月4日-09:00|日本|滋賀県彦根市|天保2年5月25日|<死去>井伊直中(66歳)前近江彦根藩主
- 1831年7月8日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Rene Arnous des Saulsays」(~18370603)
- 1831年7月9日 05:00|パナマ/コロンビア| |||パナマ、ふたたびコロンビアからの独立を宣言するも敗北
- 1831年7月10日 10:00|ボリネア| |||<死去>リアテアとタア統治者「Vete`a ra`i Tamatoa3世」
- 1831年7月10日 10:00|ボリネア| |||<就任>リアテアとタア統治者「Moe`ore Tamatoa4世」(~18570819死去)
- 1831年7月16日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホセ・リサ・サントス・コウチニョ」(~18320103)
- 1831年7月21日-01:00|ベルギー| |||<即位>ベルギー国王「レオポルト1世」(~18651210没)
- 1831年7月21日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督「ベンジヤミン・ダーバン卿」(~18330501)
- 1831年7月21日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||英国、ガイアナ地方のベルビセとテメラ=エキボ 連合植民地を統合し、直轄植民

1840迄 (2602件)

地「英領ギナ」として統治

- 1831年7月25日-01:00|ハンガリー| ||ハンガリーでコレラ一揆
- 1831年7月26日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー内閣長官「ム・ウ・エレネール伯爵フェリックス・アルマン」(~18320917)
- 1831年8月1日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Augustus フレデリック・Warburton」(~10.22)
- 1831年8月2日-01:00|ベルギー/オランダ| ||オランダ軍がベルギーに進軍してベルギー軍を破る
- 1831年8月17日-09:00|日本|新潟県長岡市|天保2年7月10日|<死去>牧野忠精(72歳)前越後長岡藩主
- 1831年8月18日-01:00|赤道ギニア/イギリス| ||<就任>フェルナント・ホー監督「エドワード・ニコルス」(2回目~1833年)
- 1831年8月18日 03:00|ブラジル| ||<創設>ブラジル国家警察/事実上大地主の私設警察として機能
- 1831年8月21日 06:00|アメリカ| ||ウァージニア州サウス・ハンプトンで、黒人奴隷の説教者ナット・ターナーと5人の信徒が、大規模な奴隷解放の反乱を起こす/子供を含む白人57人を殺害. 連邦軍の弾圧により死者百人を越える. 黒人指導者20名が処刑され鎮圧
- 1831年8月22日 00:00|カンボジア| ||ハッハ王がフレン砦を占領(~11.11)
- 1831年8月22日-09:00|日本| ||天保2年7月15日|文人画家田能村竹田が「亦復一楽帖」を描く
- 1831年8月23日-02:00|リトアニア/ロシア| ||<就任>ウイラのロシア総督「クニャージ・ニコライ・アンドレイエヴィチ・トルゴルキー」(~18400318)
- 1831年8月25日-01:00|ドイツ| ||<加盟>北ドイツ関税同盟:ケルルッセン(18320101発効)
- 1831年8月28日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首「ジヨセフ・マリア・ノ・フイリッポ・ゴイェ・イ・カルクエス」(~18380303)
- 1831年8月29日 00:00|イギリス| ||イギリスの物理学者ファラデー(40)が、電磁流発電機を使って電流発生に成功
- 1831年9月2日-09:00|日本|山口県|天保2年7月26日|<防長大一揆>長州藩周防・長門の農民10万参加し紙・蠟などの藩専売廃止や年貢減免などを要求
- 1831年9月4日-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||シリアのダマスカスで、オスマン帝国の課税に反対する民衆が蜂起
- 1831年9月8日-01:00|ポーランド/ロシア| ||ロシア軍がワルシャワを占領し、ポーランド革命が失敗
- 1831年9月10日 00:00|イギリス| ||<就任>初代バートン伯「ジョージ・キャヴェンディッシュ」(~18340509死去)
- 1831年9月11日-09:00|日本|大阪府豊中市|天保2年8月6日|<死去>青木一貞(56歳)前摂津麻田藩主
- 1831年9月12日-09:00|日本|東京都|天保2年8月7日|<死去>十返舎一九(67歳、明和2(1765)年生)作家、浮世絵師/東海道中膝栗毛の作者
- 1831年9月13日 00:00|イギリス| ||<就任>初代ウェストミンスター侯「ロバート・グロウナー」2代グロウナー伯(~18450217死去)
- 1831年9月14日 03:00|ブラジル| ||レシフェに駐留軍が置かれる. 反対闘争により300人が死亡
- 1831年9月15日 00:00|イギリス| ||<就任>初代リッチフィールド伯「トマス・ウィリアム・アンソン」(~18540318死去)
- 1831年9月15日 04:00|セントルシア/イギリス| ||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョン・ウィリアム・マレット」(~12.15)
- 1831年9月18日 04:00|刊| ||<就任>刊共和国大統領「ルネ・ホアキン・フリエ・バリアル」(~18410918)
- 1831年9月26日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| ||<就任>マリアナ諸島知事「Francisco Ramon de Villalobos」(~18371001)
- 1831年10月 00:00|イギリス| ||イギリスでコレラが初めて流行
- 1831年10月 06:00|アメリカ| ||フォクト族のミシシッピ以西への第1次移住が始まる
- 1831年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「フランチェスコ・マリア・ベルツツィ」[ピエール・マッテオ・ベルティ]
- 1831年10月1日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| ||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官兼管理者「Francois Julien Guy Paris」(1期目~18320416)
- 1831年10月1日-09:00|日本| ||天保2年8月26日|幕府が、武家の日傘の使用を禁止
- 1831年10月3日-05:30|インド/イギリス| ||イギリスはマイソール藩王国内で農民反乱が起きたことを理由に、これを統治素乱として内政権を摂収し、その領土は事実上イギリスの管理下に置かれた⇒その後はずっと、イギリスが任命するコミッショナーがバンガロールを行政中心地として統治し続けた
- 1831年10月9日-02:00|ギリシャ| ||<死去>ギリシャ総督「イオニス・アントニウ・カステイリアス」暗殺される
- 1831年10月9日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ臨時政府委員長「イオニス・マリア・アウグースティノス・アントニウ・カステイリアス」(⇒12.20、大統領⇒18320327総督~4.9)
- 1831年10月9日-01:00|アルバニア/トルコ| ||<就任>イシュトラのワリス「モリ・ナミク・アリ・パシャ」(~1832年)
- 1831年10月10日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国アレス政府首相「ルネ・デ・イオニョ・ダ・セウ」(~18320303)
- 1831年10月12日-01:00|クアチア/オーストリア| ||<就任>オーストリアのクアチア文民軍事総督「ヴェンツェル・アロイス・グラーフ・ヴェッター・フォン・リエンベルク」(~18400206)
- 1831年10月13日-05:30|スリランカ/イギリス| ||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ジョン・ウィルソン」(2回目~10.23)
- 1831年10月17日-01:00|ドイツ| ||<死去>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Anton Aloys」
- 1831年10月17日-01:00|ドイツ| ||<就任>ホーエンツォレルン＝ジグマリンゲン侯「Karl」(~18480827)
- 1831年10月17日-01:00|ドイツ| ||<初演>フェリックス・メンデルズゾーン《ピアノ協奏曲第1番短調Op. 25》
- 1831年10月17日 00:00|イギリス| ||イギリスの物理学者ファラデーが磁石から電気をつくる実験に成功
- 1831年10月20日 05:00|コロンビア| ||8ヶ月にわたり続いたラファエル・ウルトネーダ將軍の軍事独裁が崩壊. コロンビアはヌエバ・グラーナダ共和国としてあらあためて発足
- 1831年10月21日-01:00|フランス| ||フランス・リヨンで修道士ルイ・ケルバが「聖ヴァートル修道会」創設
- 1831年10月21日 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督「ヘルムート・フォン・アレンシュトルフ」(~12.4)
- 1831年10月22日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ハンリー・Anderson Morshead」(~11.12死去)

1840迄 (2602件)

- 1831年10月23日-05:30|スリ兰卡/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン第6代総督「ロバート・ウィルモット=ホトン」(~18371107)
- 1831年10月28日 00:00|イギリス| |||イギリスの物理学者ファラデーがイモ発電機を發明
- 1831年10月29日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||エジプト総督ムハンマド・アリの息子のイブラヒム・パシャが、シリアへの侵攻を開始、第一次シリア戦争がはじまる
- 1831年11月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>タマカス・ワリス(総督)「Haci Ali Pasha」(1期目~1832.5)
- 1831年11月-02:00|イスラエル/パレスチナ/シリア・アラブ/エジプト| |||ムハンマド・アリ率いるエジプトが、シリアの一部のパレスチナがザに侵攻(~18410218)
- 1831年11月1日-02:00|トルコ| |||オスマン朝が初の官報「タケイミ・ウエカーイ」の刊行を開始
- 1831年11月8日-02:00|イスラエル/パレスチナ/シリア・アラブ/エジプト| |||ムハンマド・アリ率いるエジプトが、シリアの一部のパレスチナのヤッファに侵攻(~1841年1月)
- 1831年11月11日-01:00|クアチア| |||<就任>クアチア・ハン代行「アレクサンダー・アラゴウ・イッチ」(~18320220)
- 1831年11月12日-01:00|マルタ/イギリス| |||<死去>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ハンリー・Anderson Morshead」
- 1831年11月12日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ハンリー・Balneavis」(1期目~18320110)
- 1831年11月12日-09:00|日本|山形県上山市|天保2年10月9日|<交替>出羽上山藩3万石「松平信行」隠居⇒長男「松平信宝」が継ぐ(⇒文久2(1862)年4月6日、隠居)
- 1831年11月13日-02:00|イスラエル/パレスチナ/シリア・アラブ/エジプト| |||ムハンマド・アリ率いるエジプトが、シリアの一部のパレスチナのハイファに侵攻(~1841年)
- 1831年11月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの哲学者ゲオルク=ヘーゲルがコレラのため/61歳(誕生17700827)
- 1831年11月15日-01:00|ベルギー/オランダ/イギリス| |||ロンドン会議でベルギー=オランダ分離協定が調印される
- 1831年11月19日 05:00|コロンビア/パナマ/ガイアナ/ブラジル/ペルー| |||大コロンビアはウルタネータ政権が崩壊し正式に解体
- 1831年11月20日-09:00|日本|東京都江東区|天保2年10月17日|江戸深川三十三間堂通矢「六十間堂百射」、小倉儀七(15歳)73本(総矢数100本中)を記録
- 1831年11月20日-09:00|日本|広島県山県郡安芸太田町|天保2年10月17日|(~19日)山県郡上筒賀・中筒賀両村百姓、内借方・頼母子銀返済の猶予、材木払下げの公正など12か条を要求し、庄屋・組頭・富裕家へ乱入し、打ちこわしに及ぶ
- 1831年11月21日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| |||<就任>ヌエバ・グアラタ州大統領代行「ドミンゴ・カイセド・イ・サンス・デ・サタマリア」(1回目~23日)
- 1831年11月23日-01:00|フランス| |||フランス、リヨンの労働者のデモ隊が市庁を占領して公的権力を握る
- 1831年11月23日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| |||<就任>ヌエバ・グアラタ共和国大統領代行「ホセ・マリア・ラモン・オバント・イ・テル・カンホ」(1回目~18320310)
- 1831年11月30日-08:00|マレーシア| |||<就任>スガリスンペラン統治者(ヤン・デ・イ・ペルトウアン・ベサル)「ラジャ・ラテ・イン・イブ・ニラジヤ・レンガン・ラウト」(2度目~1833年)
- 1831年12月-02:00|シリア・アラブ/エジプト| |||エジプトは、ムハンマド・アリの下でシリアに侵入/ラキア占領
- 1831年12月-02:00|イスラエル/パレスチナ/シリア・アラブ/エジプト| |||ムハンマド・アリ率いるエジプトが、シリアの一部のパレスチナのエルサレムに侵攻(~1841年1月)
- 1831年12月1日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド 総督「クニャージ・アレクサンドル・セルゲイェヴィッチ・メンシコフ」(~18550315)
- 1831年12月2日-05:30|インド| |||<就任>パシノール国支配者(ナワブ・バヒド)「ゾラール・ハンジ」(~18821130没)、摂政「シュリヤムナ・ヒビ・サヒバ」(~18410520没)
- 1831年12月2日-09:00|日本|北海道|天保2年10月29日|<加増>蝦夷松前藩「松前章広」⇒1万石に復す(⇒天保4年9月25日(18331106)、死去)
- 1831年12月3日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「リチャード・パーク」(~18371205)
- 1831年12月4日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領グリーンランド=コスタ総督「ニールス・フロッホ」(2回目~18330301)
- 1831年12月4日-09:00|日本|東京都墨田区|天保2年11月1日|<大相撲>天保2年11月場所[江戸本所回向院](8日間)幕内優勝:(西大関(横綱))稲妻, 8戦全勝
- 1831年12月5日-01:00|フランス| |||フランス、リヨンの暴動が軍隊に鎮圧される
- 1831年12月5日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ルイス・ゲラント卿」(3期目~18330609)
- 1831年12月6日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス軍アルジェリア司令官「ロヴァーゴ 公爵ルネ・サヴァリ」(~18330429)
- 1831年12月11日-09:00|日本|長崎県対馬市|天保2年11月8日|対馬藩再び府中大火、320余戸を焼失、神社その他53ヶ所焼失
- 1831年12月15日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「マーク・アンソニー・ボゾン」(2回目~18320128)
- 1831年12月19日 04:00|BES諸島/セント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ 領西インド 諸島総督代行「エハート・ルトルフ男爵ファン・ヒーケルン」(⇒18320506、総督~1838年6月5日)
- 1831年12月23日-09:00|日本|福島県白河市|天保2年11月20日|<交替>陸奥白川藩10万石「阿部正篤」隠居⇒養子「阿部正瞭」が継ぐ(⇒天保9(1838)年4月10日、死去)
- 1831年12月24日 05:00|ジャマイカ| |||モンゴ・ベイでサミュエル・シヤーフの率いる黒人の「クリスマス反乱」/闘争は4ヶ月にわたる。1万の黒人が参加
- 1831年12月25日-09:00|日本|岡山県津山市|天保2年11月22日|<交替>美作津山藩10万石「松平齊孝」隠居⇒養子「松平齊民」が継ぐ(⇒安政2(1855)年5月3日、隠居)
- 1831年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>グインチェツォ・ベッリーニ《歌劇「ルルマ」》
- 1831年12月26日-09:00|日本|兵庫県小野市|天保2年11月23日|<交替>播磨小野藩1万石「一柳末周」隠居⇒長男「一

1840迄 (2602件)

柳末延」が継ぐ(⇒安政2(1855)年3月27日、死去)

- 1831年12月27日 00:00|イギリス| |||ダウインをのせたビーグル号が科学調査航海へ出航
- 1831年12月28日 05:00|ジャマイカ| |||セント・ジェームズで黒人奴隷の反乱、瞬く間に全土に拡大
- 1831年12月30日 00:00|イギリス| |||<死去>4代オーケー女伯「メアリー・フィッツモリス」
- 1831年12月30日 00:00|イギリス| |||<就任>5代オーケー伯「トマス・フィッツモリス」(~18770516死去)
- 1832年-11:00|ミクロネシア| |||<死去>モル国王「レジエモアジ」
- 1832年-11:00|ミクロネシア| |||<即位>モル国王「シニフウオア」(~1838年没)
- 1832年-08:00|インドネシア| |||<即位>サンハス国スルタン「Umar Akam ud-din3世」(~1846年)
- 1832年-08:00|インドネシア| |||<即位>リアウリガ・スルタン「Muhammad2世」(~1842年)
- 1832年-07:00|タイ| |||<即位>パタニ王「ニック・ユス」(~1845年)
- 1832年-07:00|ベトナム| |||チャンパの自治終了、ベトナムに完全に組み込まれまた(ビントウアン省として)
- 1832年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「アタップ・スリンリ」(~1835年)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>ジャイントピア国ラジャ「ラジエントラ・シン・シム・ストウガ」(~18350315)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>ジャバア国ラジャ「ラタン・シン」(~1840年没)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>ジャラウ国統治者(ラオ)「コビントラオ2世」(~1840年没)、摂政「ラミ・パイ」(~1838年)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>ニルギリ国ラジャ「クルシュチャントラ・マルトラージ・ハリヤンタン」(~1893年没)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>ハムラ国ラジャ「カゲスワール・テブ」⇒「ブラジヤスダール・テブ・トリバパン・シン」(~18690512没)
- 1832年-05:30|インド| |||<就任>マライ国ラジャ「テウイ・シャ」(~18661205)
- 1832年-05:30|インド/イギリス| |||カチャリ国はイギリス領インドに併合(ベソガルの一部、1874年からアッサム州)
- 1832年-03:00|タンザニア/オマーン| |||<就任>アルサイト王朝首相(ワズール)「スレイマン・ヒン・ハマト・アル・ブサイイ」(~1856年)
- 1832年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ユキ王国統治者(オムカマ)「イサンサ1世」(~1862年頃)
- 1832年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムテッカリ「ダウイッシュ・アガ」(~1833年)
- 1832年-03:00|ウガンダ| |||<就任>ブガンダ王国首相「Migeekyamyee」
- 1832年-03:00|モロッコ| |||<即位>マロ・スルタン国スルタン「アントリアンソリ」マダガスカル島イフの前国王が征服(1回目~1833年)
- 1832年-03:00|エチオピア| |||<即位>ムタイト王朝スルタン「ハンフェル・イブン・アイダヒス」(~1862年)
- 1832年-03:00|モロ| |||<即位>ソスワニ・スルタン国スルタン「アリ・ヒン・サリム」(~1833年)
- 1832年-03:00|タンザニア/オマーン| |||オマーンのスルタン:サイード・ヒン・スルタンがオマーンからザンバルのストーン・タウンに遷都
- 1832年-02:00|モザンビーク| |||<就任>サクル首長「フレヒム・ウス」(1834年まで摂政~1841年)
- 1832年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウラ総督「Francisco de Haro」(~1833年)
- 1832年-01:00|オランダ| |||天保4年2月22日「シホルト日本」第1分冊、オランダのライデンで出版/その中に高橋景保の「日本境界略図」を掲載して間宮海峡の名をはじめで紹介
- 1832年 00:00|セネガル| |||<就任>ケヨル統治者(タンメル)「メイサ・テンテ・ジョール・サンバ・ファル」(~1855年)
- 1832年 00:00|セネガル| |||<就任>バウール統治者(ティン)「マコド・ウ・クンバ・ヤンテ・ファル」(1回目)⇒「ラウト・ジエゲン・ファル」(~1842年)
- 1832年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・ト・ロ統治者統治者(アルマミ)「マムド・ウ・シル・ジヤ」⇒「アマト・ウ・バアハ・リ」(1回目~1833年)
- 1832年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ボンペイ首長「チャールズ・カーカー」(~1842年没)
- 1832年 00:00|トゴ| |||<就任>ホルト・セグロ統治者「アシアコレ1世」
- 1832年 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ統治者(フラク)「ファラ・ペンタ・アダム・サル・ムボジ」(2回目~1833年)
- 1832年 00:00|モロッコ| |||<即位>モロッコ・スルタン「ムハンマド・イブン・タイフ」(ファスで反乱~同年)
- 1832年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ホルタ副首相「Antonio Mariano de Lacerda」Mil(1期目~1833年)
- 1832年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||フロレス島・コルヴォ島はポルトガル王の所有
- 1832年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<死去>ビエクス島軍司令官「Francisco Rosello」
- 1832年 04:00|トミニカ共和国/ハイチ| |||<就任>ハイチ軍サント・ミンゴ司令官「ベルナル＝フィリップ＝アレクシス・キャリ」(~1843年2月)
- 1832年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>ビエクス島暫定軍司令官「Jose Moyano」
- 1832年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Belongrie」⇒「Francois Louis Forget」(~1840年)
- 1832年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「ペドロ・ヒメス」⇒「ファン・セル・アルコテ」(2回目~1833年)
- 1832年 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニュー・メキシコ総督「Santiago Abreu」(~1833年)
- 1832年1月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッセル「メフメト・エサト・パイ」(~1833年)
- 1832年1月 07:00|メキシコ| |||サンタアナ、ゲレロの処刑に抗議。反プスタマンテの立場を明らかにし、ベラクルスで反乱を開始/まもなくプスタマンテは退陣
- 1832年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「エドゥアード・フィファー・フォン・アルティショ＝フェン」Lib(~12. 31)
- 1832年1月3日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「テイコ・アントニオ・フェイジョ」(~8. 3)
- 1832年1月3日-09:00|日本| |||天保2年12月|<出版>河辺桑揚(森川保之の挿画)「永代節用無尽蔵」
- 1832年1月3日-08:00|中国| |||旧暦12月|清の両江総督陶樹が淮北で票塩法をおこない、税収入の拡大に成功
- 1832年1月3日-08:00|中国| |||旧暦12月|中国の海南南部で材族の反乱がおこる
- 1832年1月6日-05:30|インド| |||ボンペイで初のマラーティー語・英語紙ボンペイ・ダルバンが創刊
- 1832年1月7日 04:00|アンティグア・バブーダ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督「エウアン・ジョン・マレー・マクレガー」(~1836年)
- 1832年1月7日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ総督「エウアン・ジョン・マレー・マクレガー」(~1833年)
- 1832年1月10日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョージ・ブラウン」(~2. 14)
- 1832年1月10日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ステファン・レムナント・チャップマン卿」(1期

1840迄 (2602件)

目~18350423)

- 1832年1月10日-09:00|日本|千葉県富津市|天保2年12月8日|<死去>阿部正実(68歳)前上総佐貫藩主
- 1832年1月11日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「ウィリアム・ニコライ」(~同年)
- 1832年1月12日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「ファウスト」》
- 1832年1月12日 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>スペイン王国カリヤ諸島市民知事「Domingo Jimenez de Castro」
- 1832年1月12日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天保2年12月10日|<死去>織田信憑(91歳)前丹波柏原藩主
- 1832年1月20日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Francisco Tadeo Calomarde y Arria」(~2.22)
- 1832年1月23日-04:30|アファンスタン/タジキスタン/パキスタン| |||アファンスタン、タジキスタン、パキスタン、地震M7.4、死者極多数
- 1832年1月28日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョン・カーター」(1度目~3.20)
- 1832年1月28日-09:00|日本|東京都|天保2年12月26日|町名主の勤務怠慢や不正を防止するため、若年の名主を指導する32人からなる名主組合世話役が設置される
- 1832年1月29日-02:00|モントネーグ/ポルトガル| |||<就任>モントネーグ総督・総司令官「ホアキン・ガビエル・デ・インスタ・コスタ」(暫定政権大統領)」(~18341010)
- 1832年1月29日-09:00|日本|東京都|天保2年12月27日|<死去>3代坂東三津五郎(57歳)歌舞伎役者/「白拍子花子」
- 1832年2月2日-08:00|中国/イギリス| ||旧暦|広州にイギリスのマシソン商会が設立
- 1832年2月2日-09:00|日本| ||天保3年1月|<刊行>為永春水「春色梅児誉美」第1・2編
- 1832年2月2日-09:00|日本| ||天保3年1月|<出版>柳川重信「狂歌花街百首」
- 1832年2月3日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ホジミャウ・ホルィニ総督「Vasiliy Vasilyevich Levashov」(~18350621)
- 1832年2月8日-09:00|日本|東京都|天保3年1月7日|<死去>5代瀬川菊之丞(31歳)歌舞伎役者
- 1832年2月12日 05:00|コロンビア/イギリス| |||イギリス領、ホパヤ地方の領有をめぐるコロンビアとの戦争に敗北/Carchi川以北の領土を割譲/このときの作戦の一環としてカラハゴス諸島を占領
- 1832年2月16日 03:00|ブラジル| |||サルバドルで自由派将校の反乱
- 1832年2月16日-09:00|日本|岐阜県海津市|天保3年1月15日|<死去>美濃高須藩3万石「松平義和」(57歳)⇒3月6日、次男「松平義建」が継ぐ(⇒嘉永3年10月16日(18501119)、隠居)
- 1832年2月20日-01:00|ウクライナ| |||<就任>ウクライナ・ハン「フランツ・ヨーハン・ローヴラツチ」(~18400516)
- 1832年2月21日 00:00|南極/イギリス| |||ジョン・ビンスー大尉が南極の「アムラン」をイギリスに併合
- 1832年2月22日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Antonio de Saavedra y Frigola, conde de Alcudia」(~10.1)
- 1832年2月24日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Howard Elphinstone卿」(1期目~3.5)
- 1832年2月26日-01:00|ポーランド/ロシア| |||ポーランド 憲法が廃止され、ポーランド がロシアに併合される
- 1832年3月-01:00|フランス/ポーランド| |||パリでポーランド 民主協会が設立
- 1832年3月1日-09:00|日本|栃木県佐野市|天保3年1月29日|<交替>下野佐野藩16000石「堀田正敦」隠居⇒五男「堀田正衡」が継ぐ(⇒安政1年10月12日(18541201)、死去)
- 1832年3月3日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「ペドロ・デ・スザ・ホルスタイン」(2期目~7.29)
- 1832年3月4日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>西オーストラリア植民地総督「ジェームス・スターリング」(~18390102)
- 1832年3月7日-05:30|インド| |||<就任>タンジール国ラジャ「シヴァージー」(~18551030没)
- 1832年3月8日-01:00|イタリヤ| |||イタリヤ・クロ地震M6.5、死者234
- 1832年3月9日-09:30|オーストラリア| |||ニューサウスウェールズ、貯蓄銀行法制定→ニューサウスウェールズ 貯蓄銀行の設立
- 1832年3月10日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラグア| |||<就任>ヌエバ・グラタ州大統領代行「ホセ・グナオ・デ・マルケス・バレット」(1回目~10.7)
- 1832年3月12日-01:00|フランス| |||オペラ座で「バレ・ラ・シルフィード」が初演される/マリア・トリオニが空気の精を演じる
- 1832年3月13日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「パリのウゴ伯爵」》
- 1832年3月18日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国皇帝「ケブレ・クレストス・ケブレ・メヤ」(1回目)⇒「サレ・テンゲル・ゲラレ・メヤ」(1回目)⇒「ケブレ・クレストス・ケブレ・メヤ」(2回目~6.8)
- 1832年3月20日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア総督「ジェームス・アレクサンダー・ファーカーソン」(2回目~18340123)
- 1832年3月22日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの文豪ヨハン・ゲーテ/82歳(誕生17490828)
- 1832年3月22日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首「ホセ・フランシスコ・ミラ・ゲバラ」(~18330107)
- 1832年3月23日-09:00|日本|東京都|天保3年2月21日|<死去>4代中村十蔵(53歳)歌舞伎役者
- 1832年3月27日-01:00|アルジェリア/フランス| |||アンハはフランスに征服され、アルジェリアに編入、ボーンと名付けられた(1962年からはアンハと名付けられた)
- 1832年3月29日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル暫定最高国家元首「ホセ・フランシスコ・モザン・サタ」(1回目~5.13)
- 1832年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・ベネット・ベルツィ」/「バルトロメオ・バルトロツィ」
- 1832年4月1日-09:00|日本|東京都中央区|天保3年3月|<初演>「弥生の花浅草祭」中の巻<三社祭>[作・二代目瀬川如臈、曲・清元斎兵衛、振・松本五郎市]四変化、中村座
- 1832年4月6日 06:00|アメリカ| |||北西部アイワ州を中心とするサク(ソク)族とフォックス族、強制移住に反対し同盟し、ブラ

1840迄 (2602件)

ツホク戦争を起こす

- 1832年4月8日-09:00|日本|福島県いわき市|天保3年3月8日|<死去>本多忠誠(72歳)前陸奥泉藩主
- 1832年4月9日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ統治評議会「ウァシレイオス・ウドゥリス/アント・レアス・アシマコウ・ザ・ミス/テオト・ロス・コロニス/イオニス・ニコラウ・コレティス/アント・レアス・ペトルー・メタクサス」(~14日)
- 1832年4月9日-09:00|日本|三重県津市|天保3年3月9日|<交替>伊勢久居藩53000石「藤堂高やつ」隠居⇒養子「藤堂高聴」が継ぐ(⇒文久3(1863)年8月9日、死去)
- 1832年4月14日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事代行「統治ジュンタ(フレイ・ビセンテ・フェレイラ・パレラ/ホセ・ペレイラ・デ・アゼベド/フランシスコ・イナオ・デ・シーブラ)」(~16日)
- 1832年4月14日 03:00|ブラジル| ||<就任>ペルナンブコで市民の反乱(4月蜂起)
- 1832年4月15日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ統治評議会「ケオルギオス・アント・レア・クントウリオティス(委員長)/テ・イミトリオス・コンスタンティノウ・イ・シランティス((18320816まで)/アント・レアス・アシマコウ・ザ・ミス/アント・レアス・ペトルー・メタクサス/イオニス・ニコラウ・コレティス/テ・イミトリオス・ニコラウ・フ・ラフ・タス)」(~18330202)
- 1832年4月16日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事「ミゲル・カルロス・ダ・ケニヤ・ダ・シルヴェイラ・エ・ロレーナ」(~5.26)
- 1832年4月21日-09:00|日本| ||天保3年3月21日|<死去>3代式守伊之助(58歳)大相撲立行司
- 1832年4月21日-08:00|中国| ||清・道光12年3月21日|中国最初の定期刊行物の「チャイニーズ・レポジトリ」が発刊される
- 1832年4月23日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|天保3年3月23日|<交替>陸奥三春藩5万石「秋田孝季」隠居⇒長男「秋田肥季」が継ぐ(⇒慶応1年5月4日(18650528)、死去)
- 1832年5月1日 04:00|ポルトリコ/スペイン| ||<就任>ビエタ島軍司令官「Teofilo Jose Jaime Maria Le Guillou」(~18430708)
- 1832年5月1日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天保3年4月|岐阜大仏建立(正法寺、高さ13.7m)
- 1832年5月7日-09:00|日本|愛媛県西条市|天保3年4月7日|<死去>伊予小松藩1万石「一柳頼親」(41歳)⇒8月21日、従弟「一柳頼紹」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1832年5月9日 06:00|アメリカ| ||<就任>フロリダのセミノール族の族長たちが、居住地を連邦に譲り、ミシシッピ川以西に移住する条約に調印
- 1832年5月10日-09:00|日本|大阪府和泉市|天保3年4月10日|<死去>渡辺則綱(45歳)前和泉伯太藩主
- 1832年5月12日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・ニセッティ《歌劇「愛の妙薬」》
- 1832年5月13日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの解剖学者・博物学者ジョルジュ・キュウ・イエ(18611010~)現代魚類学の基礎を築いた/化石の分類の第一人者「古生物学の創始者」
- 1832年5月13日 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首代行「ホキン・デ・サン・マルティン・イ・ウヅヨア」(1回目~7.25)
- 1832年5月14日-01:00|ドイツ| ||<初演>フェリックス・メンデルスゾーン《序曲「フィンガルの洞窟」》
- 1832年5月15日-01:00|ドイツ| ||<死去>ドイツの音楽教育家・指揮者ツェルター/73歳(誕生17581211)
- 1832年5月15日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「マリアノ・リカフォート・パラン・イ・アバルカ」(~18340601)
- 1832年5月16日-01:00|フランス| ||<死去>フランス首相「ガシミール・ビエール・ペリエ」在任中コレラで
- 1832年5月17日-05:30|インド/デンマーク| ||<就任>東インド諸島(トランバル)デンマーク領総督(キューベン)「コンラート・エミール・ムーリエ」(~18380501)
- 1832年5月17日-09:00|日本|千葉県君津市|天保3年4月17日|<死去>黒田直方(55歳)前上総久留里藩主
- 1832年5月21日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国で民主共和党が民主党の名称採用
- 1832年5月25日-08:00|中国| ||清・道光12年4月26日|湖南で起こった瑶族(ヤオゾク)の反乱が鎮圧される
- 1832年5月26日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| ||<就任>ティモール知事代行「統治ジュンタ(フレイ・ビセンテ・フェレイラ・パレラ/ホセ・ペレイラ・デ・アゼベド/フランシスコ・イナオ・デ・シーブラ)」(~18340603)
- 1832年5月27日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||<就任>アレクサンドリア(総督)「Ismail Bey」(~18401010)
- 1832年5月27日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||<就任>ダマスカス(総督)「Ibrahim Pasha」(~6月)
- 1832年5月27日-02:00|エジプト/イスラエル/トルコ/パレスチナ| ||エジプト軍がオスマン帝国のアカヤ要塞を占領
- 1832年5月31日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの数学者ウァリス・ガロア(18111125~)楕円積分の研究、代数方程式の根の理論を述べた/決闘で死ぬ
- 1832年6月 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポントレカダ副知事「Luis Ribeiro de Sousa Saraiva」(~18330725)
- 1832年6月3日-09:00|日本|東京都中央区|天保3年5月5日|鼠小僧次郎吉、松平宮内少輔邸で捕縛される
- 1832年6月4日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「メフメト・ハムディ・パシャ」(~18330624)
- 1832年6月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アゾレス諸島知事「Francisco Saraiva da Costa Refoios」MIL(~18330704)
- 1832年6月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||アゾレス諸島はポルトガルの海外州
- 1832年6月4日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||サンタマリア島はポルトガル王所有物に組み込まれる
- 1832年6月5日-01:00|ベルギー| ||ベルギーで貨幣法制定\*金銀複本位制
- 1832年6月5日 10:00|ハワイ| ||<就任>ハワイ諸島王国首相「Kinau」(~18390404死去)
- 1832年6月6日-01:00|フランス| ||<六月暴動>(5日~)パリの「サン・マリ教会」(4区)前で「共和派」と弾圧する「軍隊」が衝突(共和派の反乱、死者150人)
- 1832年6月6日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの法学者で哲学者ベンサム/84歳(誕生17480215)

1840迄 (2602件)

- 1832年6月7日 00:00|イギリス| ||イギリスが選挙法改正:中産階級にも選挙権  
 1832年6月9日 06:00|カナダ| ||ケックでコレラが発生  
 1832年6月12日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「オーガステン・フィッツジェラルド・エヴァンス」(2度目~18330707)  
 1832年6月13日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サントリアゴ 総督代行「ジョージ・カスバート」(1回目~7.26)  
 1832年6月15日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||エジプトはダマスカス占領(~1841.1)  
 1832年6月17日 00:00|イギリス| ||<死去>6代スカパーラ伯「リチャード・ラムリー=サンダーソン」  
 1832年6月17日 00:00|イギリス| ||<就任>7代スカパーラ伯「ジョン・ラムリー=サウエル」(~18350221死去)  
 1832年6月21日-09:00|日本|大分県佐伯市|天保3年5月23日|<交替>豊後佐伯藩2万石「毛利高翰」隠居⇒長男「毛利高泰」が継ぐ(⇒文久2(1862)年12月9日、隠居)  
 1832年6月29日 00:00|イギリス| ||<死去>2代トナモア伯「ジョン・ヒーリー=ハッチソン」  
 1832年6月29日 00:00|イギリス| ||<就任>3代トナモア伯「ジョン・ヒーリー=ハッチソン」(~18510914死去)  
 1832年7月-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベーク「メフメト」反乱(3回目)  
 1832年7月9日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||エジプトはシリアの私占領  
 1832年7月9日 00:00|ポルトガル| ||ポルトガル、ブラジルからドン・ペドロが帰国し、マリア2世から王位を奪ったドン・ミゲルとの抗争が始まる  
 1832年7月13日-09:00|日本|栃木県佐野市|天保3年6月16日|<死去>堀田正敦(78歳)前下野佐野藩主  
 1832年7月14日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||エジプトはアレクサンドリア占領(~18401113)  
 1832年7月14日 04:00|セントクリストファー=ネイビス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督「ロバート・ニコル」(1回目~18330306)  
 1832年7月14日 06:00|アメリカ| ||ジャクソン、1832年関税法に署名  
 1832年7月15日-09:00|日本| ||天保3年6月18日|<死去>河本公輔(58歳)国学者、歌人  
 1832年7月15日-09:00|日本|長瀬産業|天保3年6月18日|長瀬伝兵衛が京都・西陣で、染料・澱粉などの取り扱いをおこなう「鱗形屋」を創業  
 1832年7月17日-09:00|日本|北海道|天保3年6月20日|<死去>松前道広(79歳)前蝦夷松前藩主  
 1832年7月19日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| ||<就任>セントトマス島総督代理「Peter Carl Frederik von Scholten」(3期目~18340322)  
 1832年7月19日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督代理「Frederik Ludvig Christian Pentz Rosenorn」(~18340624)  
 1832年7月19日-09:00|日本| ||天保3年6月22日|<死去>張月樵(61歳)画家  
 1832年7月21日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス元帥兼総督代理「John Braithwaite Skeete」(4期目~18330430)  
 1832年7月23日-09:00|日本|岐阜県郡上市|天保3年6月26日|<死去>美濃郡上藩48000石「青山幸寛」(27歳)⇒弟「青山幸礼」が継ぐ(⇒天保9(1838)年8月25日、死去)  
 1832年7月25日-02:00|キリシヤ/トルコ| ||オスマン政府がキリシヤ独立を承認  
 1832年7月25日 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首「マリア・ノブラド・バカ」(3回目~18330701)  
 1832年7月26日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サントリアゴ 総督「マルク・レイフ 伯爵コンスタンティン・ヘンリー・フィリップス」(~18340315)  
 1832年7月27日-09:00|日本| ||天保3年7月|<出版>鵜形紹真「俳家奇人談」  
 1832年7月27日-09:00|日本| ||天保3年7月|<出版>五湖亭国景「新撰七夕狂歌集」  
 1832年7月27日-09:00|日本| ||天保3年7月|<出版>柳川重信「狂歌劇場百首」  
 1832年7月28日-02:00|シリア・アラブ/エジプト| ||エジプトはアンティオキア占領  
 1832年7月29日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国アゾレス政府首相「ルイス・ダ・シルバ・ムンジ=ニコ・デ・アルバケルク」(2期目~9.25)  
 1832年8月1日-09:00|日本|東京都|天保3年7月6日|<死去>歌川国安(39歳)浮世絵師(初代歌川豊国の門人)  
 1832年8月2日 06:00|アメリカ| ||ソーク族の族長フラックホークが、土地の奪回を図ってバット・アクスでアメリカ軍と戦い、敗北  
 1832年8月3日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アントニオ フランシスコ・デ・パウラ・ホランダ・カヴァルカンティ・エ・アルバカキ」(~9.13)  
 1832年8月4日-09:00|日本| ||天保3年7月9日|<死去>織田瑟瑟(54歳)絵師  
 1832年8月5日-01:00|リビア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ベイルベーク「アリ2世パシャ」(~18350526)  
 1832年8月9日-01:00|ベルギー=フランス| ||ベルギー=国王レオポルト1世、フランス国王ルイ=フィリップ1世の娘ルイズ=マリーと結婚  
 1832年8月11日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天保3年7月16日|<死去>松平正敬(39歳)前上総大多喜藩主  
 1832年8月13日-09:00|日本|長野県小諸市|天保3年7月18日|<死去>信濃小諸藩15000石「牧野康命」(24歳)⇒養子「牧野康哉」が継ぐ(⇒文久3(1863)年6月13日、死去)  
 1832年8月14日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領「メルチョル・テ・エカ・イ・ムクイズ」(12.26まで代行~12.27)  
 1832年8月20日-01:00|リビア| ||<即位>カマラン朝君主「Ali 2世Karamanli」(~18350526)  
 1832年8月24日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの物理学者・数学者・政治家ニコラ=カルノー/36歳(誕生17960601)/カルノーサイクルの発見者  
 1832年8月26日-09:00|日本| ||天保3年8月|<死去>4代加藤唐左衛門(61歳)陶工  
 1832年9月13日-08:00|マレーシア| ||<就任>タンピオン統治者「ラジャ・アリ=ビン・デ=ン・アランパキ」設立(~1856年没)  
 1832年9月13日-08:00|マレーシア| ||<就任>レバウ統治者「ヤン・デ・イ・ペルトウアン=ムダ=レンバウ」「サイト=シャバン=イブン=サイト=」

1840迄 (2602件)

イブラム・アル・カドリ (~1836年)

- 1832年9月13日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ニコラ・ペレイラ・デ・カンパ・ス・ガエルケイロ」(~18330523)
- 1832年9月13日-09:00|日本|東京都品川区|天保3年8月19日|武家屋敷専門に盗みを働いていた鼠小僧次郎吉が、引き回しのうえ獄門となる
- 1832年9月17日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー内閣長官代行「アルベルト・ヨセフ・ゴベルト・ド・アルヴェラ」(2回目~10.20)
- 1832年9月20日-02:00|エストニア/ロシア| ||<就任>ロシア領エストニア総督「オットー・ヴィルヘルム・フォン・エッセン」(~18331027)
- 1832年9月21日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの女流作家アナ・マリア・ポーター(誕生1780年)/「ドン・セバスチャン」を書いた
- 1832年9月21日 00:00|イギリス| ||<死去>ウォルター・スコット/61歳(誕生17710815)/歴史小説の創始者の作家
- 1832年9月21日-08:00|中国| ||清・道光12年8月27日|広東の反乱が鎮圧される
- 1832年9月25日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「ペドロ・デ・スザ・ホスタイン」(3期目~11.10)
- 1832年10月-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国皇帝「サレテンゲル・ゲブレ・メイヤ」(2回目~18400829)
- 1832年10月 06:00|アメリカ| ||フォクト族のミシシッピ川以西への第2次移住が始まる
- 1832年10月 08:00|ヒトクアン諸島| ||<就任>ヒトクアン連邦大統領「ジョシア・ヒル」(~1837.12)
- 1832年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「マリアノ・ベグニ」(ジョヴァンニ・マルベリ)
- 1832年10月1日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官代理「Jose Cafranga Costilla」(~11.29)
- 1832年10月7日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| ||<就任>ヌエバ・グラナダ州大統領「フランシスコ・ホセ・デ・パウロ・サンタフェル・イ・オマニャ」(~18370401)
- 1832年10月7日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネズエラ/ニカラガア| ||ヌエバ・グラナダ共和国で連邦制を基調とする新憲法が公布
- 1832年10月10日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「Juan Esteban Francisco Mestivier」(~11.30)
- 1832年10月11日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第12代首相「ニコラ・ジャン・ド・デュ・ヌール」無党派軍人(~18340718)
- 1832年10月12日-02:00|ウクライナ| ||<就任>ガリシア州政府大統領「Franz Freiherr Krieg von Hochfelden」(~1847.7)
- 1832年10月16日-09:00|日本|京都府京都市|天保3年9月23日|<死去>頼山陽(53歳、安永9(1780)1227生)歴史家、思想家、漢詩人/「日本外史」を著した
- 1832年10月20日-01:00|ベルギー| ||<就任>ベルギー内閣長官「シャルル・ラトゥール・ロジェ」(1回目~18340804)
- 1832年10月23日 03:00|ブラジル| ||パライバ州で低い給料に抗議する下士官・兵士の反乱
- 1832年10月27日-08:00|マレーシア/イギリス| ||南寧はイギリス領マラッカへ併合
- 1832年10月30日-09:00|日本|山口県下関市|天保3年10月7日|<死去>毛利匡邦(72歳)元長門清末藩主
- 1832年11月-04:00|ロシア| ||<就任>ダゲスタンとチェチンのイマム「ハムザ・ベク・ブン・アリー・イスクンダール・ベク・アル=フツアリ」(~18340919没)
- 1832年11月-02:00|シリア/アラブ/エジプト| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「El Sayed Muhammad Sherif Pasha Al-Kabir」(~1838年)
- 1832年11月-01:00|ドイツ| ||<初演>フェリックス・メンデルスゾーン《交響曲第5番ニ長調Op. 107「宗教改革」》
- 1832年11月4日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「カステイリヤのサンチャ」》
- 1832年11月6日 06:00|アメリカ| ||アメリカ大統領選挙、ジャクソン大統領再選
- 1832年11月8日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Jacques Philippe Cuvillier」(~18380504)
- 1832年11月10日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「リス・ダ・シルバ・ムジニョ・デ・アルバケルク」(3期目~18日)
- 1832年11月14日-09:00|日本|東京都|天保3年10月22日|柿の種の数で賭をする種柿など、種々の賭事が江戸で禁じられる
- 1832年11月16日-01:00|スイス| ||ハーゼル、ウリなど保守派のカントンが「ザルツ同盟」を結ぶ
- 1832年11月16日-09:00|日本| ||天保3年10月24日|幕府、天保2朱金使用開始
- 1832年11月18日-01:00|イタリア| ||シチリア島のエトナ火山が噴火。麓の村落が全滅し死者数千人
- 1832年11月18日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国アリス政府暫定首相「アルナルト・ダ・サ・ノゲイラ・デ・フィゲイロ」(~18330112)
- 1832年11月22日-01:00|アルジェリア| ||<就任>アルジェリア・マスカラ首長「アブド・イル・カテル」反乱で設立(~1843年12月)
- 1832年11月22日-09:00|日本|東京都墨田区|天保3年11月1日|<大相撲>天保3年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱))稲妻, 8勝0敗1分1休
- 1832年11月28日 00:00|マン島/イギリス| ||<死去>マン島副知事「Cornelius Smelt」
- 1832年11月29日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国国家主席補佐官「Francisco Gea Bermudez」(2期目~18340115)
- 1832年11月29日-09:00|日本|滋賀県東近江市|天保3年11月8日|<死去>稲垣定淳(71歳)前近江山上藩主
- 1832年11月30日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「Jose Antonio Gomila」(~12.29)
- 1832年12月1日 00:00|マン島/イギリス| ||<就任>マン島副知事「John Ready」(~18450710死去)
- 1832年12月2日-09:00|日本|東京都江東区|天保3年11月11日|江戸深川三十三間堂通矢「五十五間堂千射」、堀田平吉(13歳)が622本(総矢数1000中)を記録
- 1832年12月11日-09:00|日本|京都府京丹後市|天保3年11月20日|<交替>丹後峰山藩11100石「京極高備」隠居⇒五男「京極高倍」が継ぐ(⇒天保4年12月5日(18340114)、死去)
- 1832年12月14日-09:00|日本|東京都足立区|天保3年11月23日|御家人くずれの小悪党・片岡直次郎(39)千住・小塚原刑場で処刑

1840迄 (2602件)

- 1832年12月16日-09:00|日本| ||天保3年11月25日|絞油売捌主法が改正され、東海道、東山道筋で絞られた油は 靈巖島油寄所へ回送し、同所で売買されることになる
- 1832年12月17日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス総督「ファン・ラモン・ゴンサレス・デ・バルカセ・マルティネス」(2回目~18331104)
- 1832年12月18日-04:00|ロシア/アメリカ| ||アメリカのロシア公使ブキャン、ロシアと通商条約を締結
- 1832年12月19日 04:00|アンティグア・バーブーダ/イギリス/アンギラ/英領ヴァージン諸島/モントセラト/セントクリストファー・ネイビス| ||<制定>イギリス領リワード 諸島植民地(アンギラ、アンティグア・バーブーダ、モントセラト、セントクリストファー、ヴァージン諸島)
- 1832年12月19日 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||英領ヴァージン諸島はリワード 諸島の一部(~19600101)
- 1832年12月19日-09:00|日本|東京都|天保3年11月28日|<死去>浮世絵師・柳川重信(46歳)
- 1832年12月20日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド 諸島常駐海軍担当官「ジョン・ジェームズ・オンslow」(~18330105)
- 1832年12月21日-02:00|エジプト/トルコ| ||エジプト軍が、エヤの戦いでオスマン軍を破る
- 1832年12月21日-09:00|日本|大分県中津市|天保3年11月30日|<死去>豊前中津藩10万石「奥平昌暢」(24歳)⇒翌年1月29日、弟「奥平昌猷」が継ぐ(⇒天保13(1842)年9月17日、死去)
- 1832年12月23日-01:00|ベルギー/フランス/オランダ| ||アントウェルペンのオランダ 軍が、フランス軍に敗北
- 1832年12月23日 00:00|イギリス| ||<死去>2代カトガン伯「チャールズ・ヘンリー・スローン・カトガン」
- 1832年12月23日 00:00|イギリス| ||<就任>3代カトガン伯「ジョージ・カトガン」(~18640915死去)
- 1832年12月24日-01:00|ドイツ| ||<初演>グィルヘルム・リヒャルト・ワーグナー 《交響曲ハ長調》
- 1832年12月26日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領「マヌエル・ゴメス・ペドロ・ラサ・イ・ロドリゲス」(~18330401)
- 1832年12月29日 04:00|フォークランド/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークランド 諸島総督「Jose Maria Pinedo」(~18330103)
- 1833年-08:00|マレーシア| ||<就任>スガリ・スンピラン統治者(ヤン・デ・イ・ペルトウアン・ベサル)「ラジャ・アリ・ビニン・デーン・アランハキ」(~1836年)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>カイカール国統治者(ターケル)「ファテ・シン」建国(~1874年)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>サンバル ール国ラジャ「ナヤン・シン」(~18490910没)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>シロン支配者(シム)「サイン・マニク」(~1842年)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>スール国ラジャ「ハミル・シン」(~不明)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>ソハル国統治者(レイ)「ラル・アマン・シン」(2回目~1840年)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>ニルギリ国摂政「ラニ・チャ・テグイ」(~1843年)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>ビジャール国ラジャ「ラクシュマン・シン」(~1847年没)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>ミラージ 国統治者(ラ)「ガングタル・ラ2世ハラ・サーヒブ」(~1861年没)、摂政「モルシュヴァル・ラオ」(~1839年没)
- 1833年-05:30|インド| ||<就任>ライガール国ラジャ「デオナス・シン」(~1862年没)
- 1833年-05:00|パキスタン| ||<就任>シンド 国カン「ヌール・モハマト・イブン・モラト・アリ」(~1840年)、「ソブダール」「ナシル・モハマト・イブン・モラト・アリ」「ムハンマト」(~18430212)
- 1833年-05:00|パキスタン| ||<就任>チトール国統治者(ミフタル)「モハマト・モータラム・シャ2世」(2回目~1837年)
- 1833年-04:00|UAE| ||<即位>アブダビ 首長「Sheikh Sultan bin Shakhbut Al Nahyan」(~1845.7死去)
- 1833年-04:00|UAE| ||トバイがアブダビから独立
- 1833年-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダットのムタッリフ「ムスタファ・アガ」(~1834年)
- 1833年-03:00|エチオピア| ||<即位>ヌスワニ・スルタン国スルタン「アブダ2世ビニン・アラウイ」(2回目~1836年)
- 1833年-03:00|マヨット| ||マオレがムワリによって征服される(その後ヌスワニ(アンジュアン)の一部~1836年)
- 1833年-01:00|ベナン| ||<死去>クワンテのハラバ 国支配者「ソル1世」
- 1833年-01:00|ベナン| ||<就任>アグウェのウエ国統治者「アグヌ」(~1834年)
- 1833年-01:00|アルバニア/トルコ| ||<就任>イシュコラのワリス「チルクス・ハフィズ・パシャ」(~1835年)
- 1833年-01:00|ベナン| ||<就任>クワンテのハラバ 国支配者「ビオトドコ」(~同年没)⇒「ブク・ヤ・ダリキニム・ソク」(~1852年没)
- 1833年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ総督「Mateo Ramirez de Arellano」(~1835年)
- 1833年-01:00|赤道ギニア/イギリス| ||<就任>フェルナント・ポ 監督「ジョン・ビー・クロフト」(2回目~18540610)
- 1833年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| ||<就任>ヘルツェゴビナ・イェレト宰相「アリ・パシャ・リスヴァンベゴウイッチ」(~18510320没)
- 1833年-01:00|ナイジェリア| ||<即位>オヨ王国アラ・フィン「オレウ」(~1835年)
- 1833年-01:00|アルジェリア| ||<即位>トゥグルト・スルタン「アジャ」(~1840年)
- 1833年 00:00|セネガル| ||<就任>ワタ・ト 統治者統治者(アルマミ)「シラ・アマト・ウ・リ」(2回目)⇒「ユフ・サイア・リ」(11回目)⇒「ビラン・イブ・ラー・ワン」(4回目)⇒「ユフ・サー・リ」(12回目~1834年)
- 1833年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>西アゾレス知事「Francisco Saraiva da Costa Refoios」Mil(~7.4)
- 1833年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ルタ副首相「Antonio Garcia da Rosa」(~同年)⇒「Antonio Jose de Avila」(1期目~同年、2期目~1834年)
- 1833年 04:00|アルバ/オランダ| ||<就任>アルバ 島指導者「Johan Frederik Waters Gravenhors」(~1837年)
- 1833年 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミニカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード 諸島総督「Sir Lionel Smith」(~1836年)
- 1833年 04:00|セントクリストファー・ネイビス| ||<就任>ネイビス大統領「ジェームズ・ダニエル」(~1841年)
- 1833年 05:00|パナマ| ||<就任>パナマ総督「ファン・B・フェロ」(~1834年)
- 1833年 06:00|アメリカ/メキシコ| ||<就任>メキシコ領ニュー・メキシコ総督「Francisco Sarracino」(~18350514)
- 1833年1月 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首「アナタシオ・アキ」/ナルコ・インデイ

1840迄 (2602件)

ンの「王」反乱(〜4. 23没)

- 1833年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・ヤコブ・ヘス」Lib(1期目〜12. 31)
- 1833年1月1日 06:00|カナダ| |||ニューファウンドランドで議会ができる
- 1833年1月2日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「サント・ミンゴ島の狂人」》
- 1833年1月3日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督代理「Juan Simon」(〜18330826死去)
- 1833年1月3日 04:00|フォークランド/イギリス| |||イギリスがフォークランド諸島を占領
- 1833年1月5日-09:30|オーストラリア| |||『パース・ガゼット・アンド・ウェスタン・オーストラリアン・ジャーナル』の初版発行
- 1833年1月5日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>フォークランド諸島常駐海軍担当官「ウィリアム・Dickson」(〜18330826死去)
- 1833年1月6日-07:00|ベトナム| |||ベトナムのミンマン帝がキリスト教を禁止する勅令を出し、国内でのキリスト教の布教を禁止
- 1833年1月7日 06:00|ロシア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ロシア最高国家元首「ホキン・リベラ・フーガス」(〜1836 1231)
- 1833年1月8日-09:00|日本| ||天保3年閏11月18日|<死去>柳川重信(46歳)浮世絵師
- 1833年1月11日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|天保3年閏11月21日|<交替>備中庭瀬藩2万石「板倉勝資」隠居⇒弟「板倉勝貞」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年3月21日、隠居)
- 1833年1月12日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「カンテイト・ホセ・ザビエル・テイアス・ダ・シルバ」(1期目〜3. 26死去)
- 1833年1月12日-01:00|フランス| |||<死去>フランス料理の発展に寄与したフランスのシェフ・パティシエ、マリ=アントワネット(アントナン)・カレムがパリで(1784-、48歳)
- 1833年1月15日-09:00|日本|愛媛県西条市|天保3年閏11月25日|<交替>伊予西条藩33000石「松平頼啓」隠居⇒長男「松平頼学」が継ぐ(⇒文久2(1862)年11月21日、隠居)
- 1833年1月26日-01:00|イタリア| |||イタリアの作曲家のドニゼッティのオペラ「ルクレチア・ボルジュア」が、ミラノのスカラ座で上演
- 1833年1月28日 00:00|イギリス| |||<就任>初代サウサンプトン公「ジョージ・クラウンビル・ルソ=コア」2代スタフフォード侯(〜7. 19死去)
- 1833年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>初代クローランド公「ウィリアム・ウエイン」(〜18420129死去)
- 1833年1月31日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「ウィリアム・ニコレイ卿」(〜18400716)
- 1833年2月-01:00|ドイツ| |||<初演>ヨハン・ゼバスティアン・バッハ《ヨハネ受難曲》
- 1833年2月6日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ王国首相(閣僚理事会議長)「ピリト・イオン・ウ・トリコピス」(4. 15まで代行〜10. 24)
- 1833年2月6日-02:00|ギリシャ| |||<即位>ギリシャ王国国王「オthon1世」君主制樹立(〜18621022/18630203正式に退位)
- 1833年2月14日-09:00|日本|福島県伊達市|天保3年12月25日|<死去>陸奥下手渡藩1万石「立花種善」(39歳)⇒翌年3月18日、長男「立花種温」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年2月12日、死去)
- 1833年2月17日-09:00|日本| ||天保3年12月28日|<死去>三島勘左衛門(84歳)実録作者
- 1833年2月18日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメト・エミン・ラフ・ハシヤ」(2期目〜18390702)
- 1833年2月18日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ王国摂政評議会議長「コミス・イオソ・ラウト・ウ・イコス・アルマス・ペルグ」(〜18350601)
- 1833年2月20日-09:00|日本| ||天保4年|<刊行開始>歌川広重「東海道五十三次」保永堂(〜1834年)
- 1833年2月20日-09:00|日本| ||天保4年1月|<出版>歌川国貞「俳優畸人伝」
- 1833年2月20日-09:00|日本| ||天保4年1月|<出版>葛飾北斎「唐詩選画本」五言律・五言排律の部
- 1833年2月20日-09:00|日本| ||天保4年1月|<出版>呉北溪・一勇斎国芳等「あづまあそび」
- 1833年2月20日-09:00|日本| ||天保4年1月|<出版>竹内盾山「戯劇百人一首」
- 1833年2月27日-09:00|日本|三重県亀山市|天保4年1月8日|<死去>伊勢亀山藩6万石「石川総安」⇒4月4日、婿養子「石川総紀」が継ぐ(⇒嘉永6(1853)年5月7日、隠居)
- 1833年3月-13:00|トンガ| |||ハパイ・ウ・アウがトンガに組み込まれる
- 1833年3月-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアで最初の文芸定期刊行物、『ハート・タウン・マンスリー・マガジン』発行
- 1833年3月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッセル「ハン・サイト・メフメト・アガ」(〜1837年)
- 1833年3月 04:00|刊| |||共和国憲法(ポルトガル憲法)制定/大統領の任期は5年で一度限りの再選が可能
- 1833年3月1日 00:00|カナダ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド=コースト総督代行「ハインリヒ・ゲルハルト・リント」(2回目〜7. 21)
- 1833年3月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ジャクソン大統領、税率漸減方式の妥協関税法・強制徴収法に署名
- 1833年3月4日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ト・グレイ女伯「アマベル・ヨーク」
- 1833年3月4日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ト・グレイ伯「トマス・フィリップ・ト・グレイ」(〜18591114死去)
- 1833年3月6日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 総督代行「ウィリアム・エドワード・キルケ」(〜4. 12)
- 1833年3月6日-09:00|日本|鹿児島県|天保4年1月15日|<死去>島津重豪(89歳)前薩摩藩主
- 1833年3月9日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者「ラファエル・リス・ホセ・デ・ガジエロス・イ・アルハラド」(〜18350304)
- 1833年3月17日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「パルジナ(パルジナ・テステ)」》
- 1833年3月19日-09:00|日本|千葉県市原市|天保4年1月28日|<死去>上総五井藩1万石「有馬氏貞」(22歳)⇒3月30日、長男「有馬氏郁」が継ぐ(⇒天保13(1842)年4月17日、下野吹上藩に移封)
- 1833年3月20日-07:00|タイ/アメリカ| |||米・シャム条約-日米和親条約のペース
- 1833年3月22日-01:00|ドイツ| |||ドイツ関税同盟条約が成立/南・北ドイツ関税同盟統合

1840迄 (2602件)

- 1833年3月23日 00:00|イギリス| |||<就任>初代タラム伯「ジョン・ジョージ・ラムトン」(~18400728死去)
- 1833年3月26日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「ルイス・タシバ・ムジニョ・デ・アルバケル」(4期目~4. 21)
- 1833年4月-04:00|UAE| |||<死去>アブダビ首長「Sheikh Tahnun bin Shakhbut Al Nahyan」
- 1833年4月-04:00|UAE| |||<就任>アブダビ統治者「Sheikh Khalifa ibn Shakhbut Al Nahayan」(~1845年死去)
- 1833年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」「フィリッポ・フィリッピ」
- 1833年4月1日 04:00|グレナダ/セントビンセント/セントルシア/イギリス/トリニダード・トバゴ| |||<就任>ウインドワード諸島総督「バルバトス総督」(~18850601)
- 1833年4月1日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス/グレナダ/セントルシア/セントビンセント/バルバドス/トミカ国| |||トバゴ(~18890101)、グレナダ・セントビンセント(~19600101)、トミカ国(~19400101)はウインドワード諸島の一部となる
- 1833年4月1日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アントニオ・ロペス・デ・サンタ・アナ・ペレス・デ・レブロン」(1回目~18370401)(18360422~1126テキサスで囚人、その後~18370131米国で囚人)、代行「ジョセフ・マリア・バレンティン・ゴメス・デ・ラウアラ・イ・マルティネス・ファリアス」(1回目~5. 16)
- 1833年4月2日-09:00|日本|東京都墨田区|天保4年2月13日|<大相撲>天保4年2月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱)稲妻, 9勝0敗1分)
- 1833年4月3日-01:00|ドイツ| |||ドイツの自由主義者の学生がフランクフルトの警察を襲撃するが、鎮圧される
- 1833年4月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガ「マリア2世」(~18381031)
- 1833年4月8日-09:00|日本|福岡県柳川市|天保4年2月19日|<死去>立花鑑広(11歳)筑後柳河藩主⇒弟の鑑備が家督を継いだ
- 1833年4月12日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ総督「ロバート・ニコル」(2回目~20日)
- 1833年4月13日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ルソ伯「フレデリック・ジョン・ロビンソン」(~18590128死去)
- 1833年4月13日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント総督代行「ジェームズ・クラント」(~5. 4)
- 1833年4月16日 00:00|イギリス| |||<死去>2代カーナヴァン伯「ヘンリー・ジョージ・ハーバート」
- 1833年4月16日 00:00|イギリス| |||<就任>3代カーナヴァン伯「ヘンリー・ジョージ・ジョージ・ハーバート」先代の息子(~18491210死去)
- 1833年4月17日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「ヤン・シールマン ヤコブス・クレメル」(~5. 17)
- 1833年4月20日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ副総督「ジョン・ライオンズ・ニコル」(~1836年)
- 1833年4月21日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「カンテイト・ホセ・サビエル・デ・イラス・タシバ」(2期目~10. 15)
- 1833年4月22日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの発明家で技術者トーマス・イットク/62歳(誕生17710413)/最初の鉄道蒸気機関車を組み立てた
- 1833年4月23日 04:00|トミカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミカ副総督「チャールズ・マシュー・ジョン・バーク」(~18350102没)
- 1833年4月24日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド総督代行「アレクサンドル・アマトゥス・テスレフ」(~18460906)
- 1833年4月26日-09:00|日本|栃木県さくら市|天保4年3月7日|<死去>喜連川彭氏(63歳)前下野喜連川藩主
- 1833年4月27日-09:00|日本|香川県丸亀市|天保4年3月8日|<交替>讃岐多度津藩1万石「京極高賢」隠居⇒長男「京極高琢」が継ぐ(⇒安政6(1859)年3月11日、隠居)
- 1833年4月27日-09:00|日本|東京都|天保4年3月8日|<死去>初代三笑亭可楽(57歳)落語家
- 1833年4月28日-05:30|インド| |||<就任>アッサム国ラジャ「ヒュアントラシンハ・ナレントラ」再興(2回目~18380916)
- 1833年4月29日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス軍アルジェリア司令官「グォイロル男爵テオフィル」(~18340727)
- 1833年4月29日-01:00|スイス| |||スイス連邦, チュリッヒに総合大学(チュリッヒ大学)創立
- 1833年4月30日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「Lionel スミス卿」(~18360820)
- 1833年5月1日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督「コートネイ・チェンバース」(~17日)
- 1833年5月4日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント副総督「ジョージ・タイラー卿」(~1842年)
- 1833年5月9日 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ副総督「ジョージ・ミドルモア」(~18350704)
- 1833年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>初代グランヴィル伯「グランヴィル・ルソン＝コア」(~18460108死去)
- 1833年5月13日 00:00|イギリス/ドイツ| |||<初演>フェリックス・メンデルスゾーン《交響曲第4番イ長調「イタリア」》ロントンのハーヴァースクエア・ルームスで
- 1833年5月14日-02:00|エジプト/トルコ/シリア・アラブ| |||イスタンブールの東南のキュタヒヤで、オスマン帝国とエジプトの和約が成立しシリア戦争が終結
- 1833年5月14日-02:00|シリア・アラブ/エジプト/レバノン/パレスチナ/イスラエル/サウジアラビア| |||エジプトがヒジャーズ、タマスカス、レバノン、パレスチナを併合(名目上オスマン帝国の宗主国下)、クレタ島、アタナ、ヘジャズを管理(~1841年1月)
- 1833年5月15日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス悲劇俳優キーン/45歳(誕生17871104)
- 1833年5月17日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「エドゥアルド・タニエル・レオポルト・ファン・インゲン」(~18340202)
- 1833年5月17日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督代行「チャールズ・フェリックス・スミス」(~6. 26)
- 1833年5月18日-07:00|ベトナム| |||ベトナムでレ・ヴァン・コイの反乱がおこる
- 1833年5月21日-01:00|ベルギー/オランダ| |||ベルギーとオランダが休戦条約を締結
- 1833年5月23日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アウレリアノ・デ・スザ・エ・オリベira・コウチーニョ」(~10. 10)
- 1833年5月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国禁酒同盟結成

1840迄 (2602件)

- 1833年5月25日-01:00|セルビア| |||セルビア公ミロシュ・オブ・レノヴイッチが、セルビア南部の領土を回復
- 1833年5月25日 04:00|刊| |||刊でドイツ・ホルタルスが33年憲法を制定
- 1833年5月27日-09:00|日本|岐阜県|天保4年4月9日|美濃西部で地震/大垣北方の村々で山崩れ多く、死者30余
- 1833年6月-05:30|インド/イギリス| |||英領南インド地方、親英派の藩王へ譲渡され、ベンガル総督府の管轄から外れる
- 1833年6月 00:00|ポルトガル| |||カス・サン・セチで両派の海戦。ペドロ軍が勝利を収める
- 1833年6月1日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「ブレニー・タウンリー・ハルフォア」(~18350219)
- 1833年6月1日-09:00|日本|愛知県|天保4年4月14日|<死去>大石真虎(42歳)尾張の画家、浮世絵師
- 1833年6月2日-09:00|日本|東京都江東区|天保4年4月15日|羅漢寺三匠堂修復成る/屋過ぎ中尊の観世音像を遷す
- 1833年6月9日-04:00|UAE| |||<死去>トハイイ統治者(ハキム)「Sheikh `Ubayd ibn Said」
- 1833年6月9日-04:00|UAE| |||<即位>トハイイ統治者(ハキム)「Sheikh Maktum1世 ibn Bati ibn Suhayl」(~1852年死去)
- 1833年6月9日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ジョージ・フィッツジェラルド・ヒル卿」(~18390308)
- 1833年6月18日-09:00|日本| |||天保4年5月|<刊行>式亭三馬「春色辰巳図」
- 1833年6月24日-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア総督「ダウト・ハシヤ」(~18350713)
- 1833年6月26日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督「ジェームズ・カーマイケル・スミス卿」(18351227まで副総督~18380304没)
- 1833年6月28日-01:00|フランス| |||フランス、フランス・ギゾー文相が初等教育法を制定し、全国の小学校が教会の管理下に入る
- 1833年7月-09:30|オーストリア| |||ボートに向かった移民船ハイネー号が赤道付近で炎上し、153人の死者を出すというニュースが伝わる
- 1833年7月1日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>東アゾレス知事「Joao Antonio Ferreira de Moura」(~18351201)
- 1833年7月1日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「ホセ・マティン・イ・ウラ」(2回目~18340623)
- 1833年7月2日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド 総督代理「Jean Chretien Baud」(~18360229)
- 1833年7月2日-09:00|日本|愛知県|天保4年5月15日|<死去>青木木米(67歳)絵師、陶工
- 1833年7月3日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「李相功」(~18340313)
- 1833年7月5日-01:00|フランス| |||<死去>「写真術の始祖」フランスの発明家ジョゼフ・ニコép/68歳(誕生17650307)/凹版による写真術を発明
- 1833年7月7日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督代理「マイケル・リニグ・メルグイル」(~12.8)
- 1833年7月7日 00:00|ガナ/イギリス/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「マイケル・リニグ・メルグイル」(~12.8)
- 1833年7月8日-04:00|ロシア/トルコ| |||ウキヤル・スケリツ条約露土間で締結/露艦隊だけ、ダダニル・ボスフォラス両海峡の通行権を認める
- 1833年7月8日-09:00|日本|福井県敦賀市|天保4年5月21日|<死去>若狭敦賀藩1万石「酒井忠え」(53歳)⇒四男「酒井忠ます」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年6月17日、隠居)
- 1833年7月9日-04:00|UAE| |||<即位>トハイイ首長「Obeid bin Said bin Rashid al-Falasi」(~1836年死去)、「Maktoum bin Butti bin Suhail」(~1852年死去)
- 1833年7月10日-09:00|日本| |||天保4年5月23日|<死去>益田勤斎(70歳)篆刻家
- 1833年7月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>西アゾレス知事「Luis Pinto de Mendonca Arrais」Mil(~18350915)
- 1833年7月16日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「ハベル・イヴノビッチ・アグエリン」(~18340828)
- 1833年7月16日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|天保4年5月29日|<死去>松平直益(45歳)前越後糸魚川藩主
- 1833年7月19日 00:00|イギリス| |||<死去>初代サラーント公・2代スタッフオード侯「ジョージ・グラングイル・ルソンゴア」
- 1833年7月19日 00:00|イギリス| |||<就任>2代サラーント公・3代スタッフオード侯「ジョージ・グラングイル・サラーント=ルソンゴア」先代の長男(~18610222死去)
- 1833年7月20日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー総督「副王オスカ皇太子」(2回目~9.3)
- 1833年7月20日 00:00|イギリス| |||<死去>6代プリマス伯「アザール・アーチャー・ウインザー」
- 1833年7月20日 00:00|イギリス| |||<就任>7代プリマス伯「アントニー・ウインザー」(~18370119死去)
- 1833年7月21日 00:00|カナデンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド=コースト総督代行「エドヴァルト・フォン・カンデル」(~18341226没)
- 1833年7月21日 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ统治者(グラク)「セルフィ・シャリ・タロ」(2回目~1835年)
- 1833年7月24日 00:00|ポルトガル| |||セルシ率いる軍隊がファロに上陸。アルテンジョ地方を北上してリスボンを占領し、自由主義政府を成立させる
- 1833年7月25日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントレカダ 副知事「Antonio Jose de Avila」(~同年)⇒「Jose Caetano Dias do Canto e Medeiros」(~同年)⇒「Felix Pereira de Magalhaes」(~同年)
- 1833年7月30日-09:00|日本|青森県弘前市|天保4年6月14日|<死去>津軽寧親(69歳)前陸奥弘前藩主
- 1833年8月-07:00|ベトナム| |||阮族のノグアン・ヴァン(農文筆)が反乱(1835平定される)
- 1833年8月1日 05:00|ジャマイカ| |||イギリスの奴隷制廃止によりジャマイカの黒人奴隷が解放される
- 1833年8月4日-02:00|ブルガリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ウイェイン・ワリス(総督)「アガ・フェイン・ハシヤ」(1度目~1844年4月)
- 1833年8月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国首相「アントニオ・ホセ・ギアオ」(~18340526)
- 1833年8月10日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「トマス・フランス・ウェイト」(⇒18340110、知事

1840迄 (2602件)

代行~18340116)

- 1833年8月11日-09:00|日本|岡山県岡山市|天保4年6月26日|<死去>池田齊政(61歳)前備前岡山藩主
- 1833年8月12日-05:30|インド| |||<就任>イタリア国ラヴィンナ「ジャン・ソッ」(~18681226没)
- 1833年8月15日-09:00|日本| |||天保4年7月|<出版>大石真虎「百人一首一夕話」
- 1833年8月26日-05:45|パル/中国| |||西藏、パルで地震M8.0、死者多数
- 1833年8月26日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<死去>フォークランド 諸島常駐海軍担当官「ウィリアム・Dickson」
- 1833年8月27日-09:00|日本|鳥取県|天保4年7月13日|<死去>池田定常(67歳)因幡若桜藩主
- 1833年8月28日 00:00|イギリス| |||イギリスで植民地奴隷制度の廃止法案を国王が裁可、帝国内奴隷が解放へ
- 1833年8月29日 00:00|イギリス| |||イギリスで、児童労働を規制する厳しく規制する一般工場法が制定される
- 1833年8月30日-09:30|オーストラリア| |||アンフイトイト号、フランス沖で沈没。多くの女性囚人を含む134人が死亡
- 1833年9月3日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー総督代行「ジョナス・コレット」(2回目~18360919)
- 1833年9月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカで初めて安価な新聞「ニューヨーク・サン」が街頭で販売される/1部1セント
- 1833年9月6日-08:00|中国| |||雲南省で地震(M7.7)死者5000人
- 1833年9月7日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン王室廷吏「ヨハン・マイケル・メンツンガー」(~18480412)
- 1833年9月8日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ 総督「統治委員会:アントニオ・デ・ブリト・ト・ラゴ/グレイオ・フレイル・デ・アントラダ」(~18340213)
- 1833年9月9日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ド・ニセッティ《歌劇「トルクアート・タッソ」》
- 1833年9月13日-05:00|パキスタン/イギリス| |||<制定>英国保護領「ハルワール」(18330222に署名、18381005に条約により確認)
- 1833年9月14日-09:00|日本|東京都江東区|天保4年8月1日|大風雨、深川三十三間堂、半ば倒る
- 1833年9月16日-09:00|日本| |||天保4年8月3日|幕府1朱銀鑄成するを以て1朱金の通用を停む
- 1833年9月24日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人代行「ジョージ・R・マギル」(~18340101)
- 1833年9月26日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副卿「ウェルズリー侯爵リチャード・コー・ウェルズリー」(2回目~18350106)
- 1833年9月26日-09:00|日本| |||天保4年8月13日|幕府が、米商人の困米(非常用貯蔵米)を禁止
- 1833年9月27日 00:00|イギリス/インド| |||<死去>ヒンズー教の宗教団体「ラマ・サマジ」の結成者「ラム・モハン・ローイ」イギリスのブリストルで客死/61歳(誕生1772年)
- 1833年9月29日-01:00|スペイン| |||<死去>スペイン国王「フェルナンド7世」48歳(誕生17841014)
- 1833年9月29日-01:00|スペイン| |||<即位>スペイン国王(ポルボン朝)「イザベル2世」フェルナンド7世の娘(~18680930廃位。19040410死去73歳)母マリア・クリスティーナが摂政となる
- 1833年9月29日-01:00|アルジェリア/フランス| |||「バグー」がフランスに征服され、アルジェリアに編入(1962年から「ジヤイア」と名付けられた)
- 1833年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルイジ・ジャンニニ」(「ウインチェツォ・ブラスキ」)
- 1833年10月1日-01:00|スペイン| |||スペインでカロス5世が王位就任(-1845年5月)を宣言し、王位継承戦争が勃発
- 1833年10月3日-01:00|ドイツ| |||<分割>カントン「ヘルグ」が都市と農村に分割する(半カントンの誕生)
- 1833年10月3日-09:00|日本| |||天保4年8月20日|<死去>3代芳村伊三郎(80歳)長唄唄方
- 1833年10月5日-09:30|オーストラリア| |||約1,000人の収容力を持つ劇場「ニュー・シアター・ロイヤル」が最初の「ブロードラム」「ミラー・アンド・ヒズ・メン」,「アン・アリッシュマン・イン・ロンドン」を上演
- 1833年10月7日-09:00|日本|京都府舞鶴市|天保4年8月24日|<死去>牧野以成(46歳)前丹後田辺藩主
- 1833年10月10日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アントニオ・ペント・チヨロ・ダ・ガマ」(~18350116)
- 1833年10月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国「アリス」政府首相「ジョアキン・アントニオ・デ・アギアル・エ・リベイロ」(~18340423)
- 1833年10月17日-05:30|インド| |||<就任>ダール国ラヴィンナ「ジャン・ソッ」(2世「ブール」) (~18570523没)
- 1833年10月18日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ジャン＝バティスト・ベルラン・アルマン・カデオ」(~11.14)
- 1833年10月21日-01:00|スペイン| |||トレドでドン・カルロスを支持する反乱。これを機に北部諸州で保守派の反乱発生。カリスト戦争開始
- 1833年10月24日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「アレクサンドロス・ニコラウ・マウロコラトス」(1回目~18340612)
- 1833年10月25日-09:00|日本|茨城県石岡市|天保4年9月13日|<死去>常陸府中藩2万石「松平頼説」(56歳)⇒11月、長男「松平頼繩」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月3日、隠居)
- 1833年10月27日-05:30|インド| |||<死去>インダール国統治者(マハラジャ・ルカ)「マルハル・ラオ3世・ルカ7世」
- 1833年10月27日-05:30|インド| |||<即位>インダール国統治者(マハラジャ・ルカ)「マルタンド・ラオ・ルカ8世」(~18340202死去)
- 1833年11月1日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天保4年9月20日|<交替>肥前唐津藩6万石「小笠原長泰」隠居⇒養子「小笠原長会」が継ぐ(⇒天保7(1836)年2月26日、27歳で死去)
- 1833年11月3日-03:00|エジプト/エジプト| |||エジプトはエメンの村「イタ」を占領(~18400422)
- 1833年11月4日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任「エヌアリス」総督「ファン・ホセ・ウイモンテ・ゴンサレス」(2回目~18341001)
- 1833年11月6日-09:00|日本|北海道|天保4年9月25日|<死去>蝦夷松前藩1万石「松前章広」(59歳)⇒翌年12月14日、嫡孫「松前良広」が継ぐ(⇒天保10年8月24日(18391001)、死去)
- 1833年11月8日-02:00|エストニア/ロシア| |||<就任>ロシア領エストニア総督「ハウル・フリードリヒ・フォン・ベントルフ」(~18411214)
- 1833年11月13日 06:00|アメリカ| |||北アメリカ東部で、1時間あたり7万2000個の流星が観測される/「テンペル・タトル」彗星に

1840迄 (2602件)

よる獅子座流星群によるもの

- 1833年11月15日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「エウスタンシュ ルイ・ジャン・ケルネル」(~18340510)
- 1833年11月20日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>サバ島司令官「Thomas Dinzey Winfield」(~18360610)
- 1833年11月20日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユースティウス島副知事「Willem Johan Leendert van Raders」(~18360111)
- 1833年11月30日 00:00|カリヤ諸島| |||カリヤ諸島はスペイン王国の州になる
- 1833年12月 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長代行「ヘニート・モリス」(~18340310)
- 1833年12月4日 06:00|アメリカ| |||フィリピンでアメリカ奴隷制反対協会が結成
- 1833年12月4日 10:00|ホリネア| |||<死去>タイハエ統治者「Hape」
- 1833年12月4日 10:00|ホリネア| |||<就任>タイハエ統治者「Kai Le Tua Vakamoa1世」(~1842年)
- 1833年12月7日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地総督「ケネス・マートン」(~18361117)
- 1833年12月7日-08:00|シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地シンガポール駐在評議員「サミュエル・ジョージ・ホーナム」(~18361118)
- 1833年12月7日 06:00|日本| ||天保4年10月26日|<天保4年越後・出羽地震>申の上刻(15時ごろ)、越後、佐渡、出羽国にかけて、酒田沖を震源地とするマグニチュード7.5の地震/地震後の津波は、遠く隠岐島から能登半島沿岸、佐渡島の相川、蝦夷地の福山までと広い範囲に押し寄せた/被害は大きく、特に庄内地方では、46人死亡、家屋全壊475軒、同半壊176軒、同破損1352軒、船舶の流出・破損460隻/能登半島の輪島では地震と津波により47人が死亡、家屋全壊111軒、同半壊54軒、同流出207軒、土蔵全壊41棟、同半壊20棟、同流出26棟、船舶の流出・破損98隻の被害/被災地の被害合計は、庄内地方、輪島、越後村上藩領(新潟県)を含めて約150人死亡、家屋全壊639軒、同半壊101軒、同破損2262軒、同流出287軒以上、土蔵全壊56棟、同半壊26棟、同破損336棟、同流出31棟、寺社全壊・流失5か所、同損壊39か所、船舶流出445隻、同破損221隻
- 1833年12月8日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領シエラレオネ副総督「オクティウス・テンブル」(~18340813死去)
- 1833年12月8日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「オクティウス・テンブル」(~18340813)
- 1833年12月14日-09:00|日本|東京都|天保4年11月4日|<死去>2代瀬川如皐(77歳)歌舞伎作者
- 1833年12月18日-09:00|日本|熊本県熊本市|天保4年11月8日|<交替>熊本新田藩35000石「細川利愛」隠居⇒甥「細川利用」が継ぐ(⇒安政3(1856)年7月21日、隠居)
- 1833年12月21日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国暫定大統領「ルイス・ホセ・デ・ラス・マルセデス・デ・オルゴソ・イ・モンカダ・ガリド」(~18360811)
- 1833年12月22日-09:00|日本|広島県広島市|天保4年11月12日|米価騰貴のため広島城下の米商打ちこわしを受ける
- 1833年12月23日-09:00|日本|東京都墨田区|天保4年11月13日|<大相撲>天保4年11月場所[江戸本所回向院](8日間)幕内優勝:(東前3)黒岩, 5勝0敗1分1預1休
- 1833年12月24日-09:30|オーストラリア| |||ホート・タウン・シアター、「ストレンジヤー」でオープン
- 1833年12月24日-09:00|日本|新潟県新発田市|天保4年11月14日|新発田藩領蒲原郡小須戸町で、小前層が穀屋庄右衛門宅を打ちこわす
- 1833年12月26日-04:00|ジョージア/ロシア| |||スヴァミアはロシアの保護領
- 1833年12月26日-01:00|イタリア| |||初演「ガエターノ・ド・ニセッティ」《歌劇「ルクレチア・ボルジア」》
- 1833年12月29日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ペンシルバニア大学設立
- 1833年12月31日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>スペイン王国フェルペントウラ島永続的軍政知事「Francisco Manrique de Lara del Castillo」
- 1834年-07:00|ベトナム| |||<即位>パントウランガ王「Po War Palei (Ba Hoa Bai-lai)」(~1835年死去)
- 1834年-07:00|カンボジア/ベトナム| |||カンボジアはベトナムの家臣(~1845年)
- 1834年-07:00|ベトナム| |||チャンパでJa Thak Vaが蜂起(~1835年)
- 1834年-05:30|インド| |||<就任>オランダ国ラジャ「ウイクラマシット」(2回目)⇒「テイ・シン」(~1842年没)
- 1834年-05:30|インド| |||<就任>ハンナ国ラジャ「ハルハンス・ライ」(~1849年)
- 1834年-05:30|インド| |||<就任>マニプール国ラジャ「チャンドラキルティ・シン」(1回目~1844年)、摂政「ナラ・シン」(~18440208)
- 1834年-05:30|インド/イギリス| |||ジャファラバード国・ジャンゾラ国はイギリス保護領
- 1834年-05:30|インド| |||ラダック国はジャンム-属国(ジャンム-カンミルが継承~18420917)
- 1834年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国ワジル(首相)「ミール・ファルテ・イン・アラウイ」
- 1834年-04:00|ロシア| |||コーカサス・イマテをアヴァール・ハン国が占領し、イマテによって廃止が宣言された(~1859年/ロシアの支配は1836年から1843年回復)
- 1834年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バースラのムテッサリフ「アリ・ウスタ」(~1835年)
- 1834年-03:00|イラク| |||<即位>バハン首長「Sulaiman Pasha」(~1838年)
- 1834年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>モロツヤ軍事知事兼ホルタマ=チェルニコフ県民事最高管理者「Graf Aleksandr Dmitriyevich Guryev」(~1835年)
- 1834年-01:00|ベナン| |||<就任>アグウェのイクエ国統治者「トジ」(~1844年)
- 1834年 00:00|トゴ| |||<死去>トゴ・ビル統治者(フィアガ)「シトル」
- 1834年 00:00|トゴ| |||<死去>ヘー統治者(アウエト)「アクワラカ3世ワグエ」
- 1834年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「暫定政府」(~1836年)
- 1834年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国ラゴメラ及びビル・ヒロ総支配人「Francisco Diaz Gonzalez」(~1855年)

1840迄 (2602件)

- 1834年 00:00|トゴ | |||<就任>トゴビル統治者(フィガ)「ブラー・ムラ」1世」
- 1834年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル | |||<就任>ビサウ司令官「カターノ・セルゾ・リニ(ビサウ副総督)」(2回目~1835年)
- 1834年 00:00|セカール | |||<就任>フタト口統治者統治者(アルマ)「ビラン・イブラ・ワーン」(5回目~1835年)
- 1834年 00:00|トゴ | |||<就任>ヘー統治者(アヴェト)「トクホ」3世」
- 1834年 01:00|アリス諸島/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル副首相「Antonio Mariano de Lacerda」Mil(2期目~1836年)
- 1834年 05:00|パナマ | |||<就任>パナマ総督「マヌエル・セルカト」(~1836年)
- 1834年1月1日-11:30|ノフォーク島/オーストラリア | |||<就任>ノフォーク島司令官代理「Foster Fyans」(~4. 14)
- 1834年1月1日-01:00|スイス | |||<就任>スイス連合国会議長「コンラット・メルキオール・ヒルベル」Lib(~12. 31)
- 1834年1月1日-01:00|ドイツ | |||ドイツ関税同盟が発足
- 1834年1月1日 00:00|リベリア/アメリカ | |||<就任>アメリカ領リベリア植民地代理人「ジョン・ブルック・ヒネー」(~18350510)
- 1834年1月3日-01:00|フランス | |||パリに世界初の私立探偵社が設立
- 1834年1月3日-09:00|日本|大阪府岸和田市|天保4年11月24日|<交替>和泉岸和田藩53000石「岡部長慎」隠居⇒長男「岡部長和」が継ぐ(⇒嘉永3(1850)年9月24日、44歳で死去)
- 1834年1月4日 05:00|ペルー | |||<就任>ペルー共和国暫定最高首長「ペドロ・パブロ・ペルムテ・ス・アスカ」(反乱中~4. 24)
- 1834年1月9日 04:00|フォークランド/イギリス | |||<就任>フォークランド諸島常駐海軍担当官「ヘンリー・スミス」(~18371130)
- 1834年1月10日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>イギリス領ケープ植民地知事「ベンジャミン・ダートン」(~18380120)
- 1834年1月10日-09:00|日本 | |||天保4年12月|<完成>蘭和辞典「トウ・フ・ハル」翻訳
- 1834年1月13日-09:00|日本|福井県吉田郡永平寺町|天保4年12月4日|永平寺山内焼失
- 1834年1月14日-09:00|日本|京都府京丹後市|天保4年12月5日|<死去>丹後峰山藩11100石「京極高倍」(26歳)⇒翌年、弟「京極高鎮」が継ぐ(⇒6月23日、死去)
- 1834年1月15日-09:30|オーストラリア | |||ノフォーク島の囚人反乱。162人が参加し、13人が処刑される
- 1834年1月15日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Francisco Martinez de la Rosa[穏和党](~18350607)
- 1834年1月16日 03:00|ブラジル | |||革命の古参兵バシリオ・トルオ、北リカランテで初の雑誌「アトリム」を発刊
- 1834年1月22日 00:00|カリブ諸島/スペイン | |||<就任>スペイン王国エルベントウ島永続的軍政知事「Cristobal Manrique de Lara y Cabrera」(~1870年)
- 1834年1月23日 04:00|セントルシア/イギリス | |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「チャールズ・ルイス」(~28日)
- 1834年1月28日 04:00|セントルシア/イギリス | |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「ジョン・カーター」(2回目~3. 7)
- 1834年2月-01:00|イタリア | |||マツィーニ派のサ・オリア遠征・蜂起が失敗
- 1834年2月 00:00|イギリス | |||イギリスで全国労働組合大連合が成立
- 1834年2月2日-05:30|インド | |||<死去>インド王国統治者(マハラジャ・ルカ)「マルタント・ラオ・ルカ」8世
- 1834年2月2日-05:30|インド | |||<即位>インド王国統治者(マハラジャ・ルカ)「ハリ・ラオ・ルカ」9世」(~18431024没)
- 1834年2月2日 00:00|ガナ/オランダ | |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官代行「マルティヌス・ブラック」(~3. 16)
- 1834年2月9日-09:00|日本|香川県丸亀市|天保5年|太助灯籠完成(丸亀港のシボル)
- 1834年2月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天保5年|<改名>清水徳川家10万石「徳川恒之丞」⇒「徳川斉疆」(⇒弘化3(1846)年5月、紀州徳川家の家督相続、断絶)
- 1834年2月9日-09:00|日本 | |||天保5年1月|<出版>葛飾北斎「絵本忠経」「北斎漫画」十二編
- 1834年2月9日-09:00|日本|北海道石狩市|天保5年1月1日|西蝦夷石狩で地震。81戸全半壊
- 1834年2月13日 01:00|カボベルデ/ポルトガル | |||<就任>カボベルデ総督「マヌエル・アントニオ」(~1835年3月)
- 1834年2月15日-09:00|日本|東京都|天保5年1月7日|<死去>書家・中村仏庵(84歳、名景連、称弥太夫、御畳大工の棟梁にして書をよくす)
- 1834年2月16日-09:00|日本|青森県八戸市|天保5年1月8日|陸奥八戸藩領で、農民が野村軍記の施設に反対して強訴する(稗三合一揆)/農民が家畜並みに扱われたため
- 1834年2月22日 00:00|ポルトガル | |||<死去>4代エイラス公・4代ポソバル侯「セバスチャン・セル・テ・カルヴァリョ・メロ・エ・ダウ」
- 1834年2月22日 00:00|ポルトガル | |||<就任>5代エイラス公「ジョアン・セル・マリア・テ・カルヴァリョ・デ・アルバ・カーキ・ダウ・エ・ロレーナ」(~?)
- 1834年2月22日 00:00|ポルトガル | |||<就任>5代ポソバル侯「マヌエル・セル・テ・カルヴァリョ・メロ・エ・ダウ・デ・アルバ・カーキ・ス・ザ・エ・ロレーナ」(~?)6代エイラス公
- 1834年2月27日-01:00|イタリア | |||<初演>カターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「イギリスのロセント」》
- 1834年3月2日-09:00|日本|東京都墨田区|天保5年1月22日|<大相撲>天保5年1月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前2)小柳, 8勝0敗1分1休
- 1834年3月6日-09:00|日本|秋田県秋田市|天保5年1月26日|<北浦一揆>出羽久保田藩, 天保の大飢饉から一揆が発生/角館町以南の40数カ村から5000人とも言われる農民が集結
- 1834年3月7日 04:00|セントルシア/イギリス | |||<就任>イギリス領セントルシア総督代行「チャールズ・フェリックス・スミス」(~7. 12)
- 1834年3月10日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ | |||ボスニアにおける地方反乱(ヨグイ司祭の反乱~13日)
- 1834年3月10日 06:00|ニカラガ | |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガ首長代行「セル・ヌエス」(1回目~18350423)
- 1834年3月14日-09:00|日本|福井県小浜市|天保5年2月5日|<交替>若狭小浜藩10万3500石「酒井忠順」隠居⇒養子「酒井忠義」が継ぐ(⇒文久2(1862)年閏8月1日、隠居)
- 1834年3月15日 05:00|ジャマイカ/イギリス | |||<就任>英領ジャマイカ総督代行「ジョージ・カバート」(2回目~29日)
- 1834年3月16日 00:00|ガナ/オランダ | |||<就任>オランダ領ゴールドコースト司令官「クリスチャン・エルスト・ラン」(~18361202)
- 1834年3月16日-09:00|日本|東京都|天保5年2月7日|<江戸天保5年の大火「甲午火事」>昼八つ時(14時ごろ)神田佐久間町二丁目の琴師(琴製造業)の家より出火、柳原土手下、弁慶橋、富永町辺りからお玉が池辺りの屋敷に延焼

- /紺屋町新土手下から鉄砲町、小伝馬町の牢屋奉行石出帯刀邸も含め牢屋敷に延焼し、罪人は避難のため一時釈放された/炎は各方向に飛び火し、一口は豊島町、岩井町から馬喰町一帯をなめ、両国広小路見せ物小屋、浜町、矢の倉一帯に延焼/また一口は本町三丁目から大伝馬町通りへ、大門通り田所町から人形町辺り、芳町、大坂町と焼け、尾州、紀州の蔵屋敷や付近の大名屋敷を焼失させ、永代橋際で焼け止まった/また一口は伊勢町、室町から本船町、小網町、茅場町薬師堂、霊巖島、佃島新田島などを残らず焦土と化した/また一口は江戸橋の蔵屋敷から四日市、青物町、音羽町、平松町、油町、本材木町七丁目と進み塗師町で焼け止まる/最後の一口は八丁堀から亀島町まで、南八丁堀の諸屋敷、鉄砲州稻荷神社を焼くなど、未の刻(14時ごろ)から翌日朝卯の刻(午前6時ごろ)過ぎまで江戸の中心街を炎がなめ尽くした/犠牲者4000人余、このほか水死や行方不明の人、数知らず/町数およそ1200町余、土蔵およそ820~30か所、橋82か所ほど焼失、中村座・市村座類焼
- 1834年3月18日-09:00|日本|香川県綾歌郡宇多津町|天保5年2月9日|高松藩領の宇多津村でうちこわし、讃岐で坂出一揆がおこる
- 1834年3月18日-09:00|日本|東京都|天保5年2月9日|<江戸大火>日本橋松物町から出火し西河岸まで焼く
- 1834年3月19日-09:00|日本|東京都|天保5年2月10日|<江戸大火>麴町の大名小路から出火し芝口まで焼く
- 1834年3月20日-09:00|日本|香川県坂出市|天保5年2月11日|夜、高松藩領阿野郡北坂出村に波及し、同地でも打ちこわしが行われる
- 1834年3月20日-09:00|日本|東京都文京区|天保5年2月11日|水戸藩小石川邸が焼ける
- 1834年3月22日 04:00|米領グァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Johannes Sobotker」(2期目~18360114)
- 1834年3月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ベルンブルク公「Alexius Frederick Christian」
- 1834年3月24日-01:00|ドイツ| |||<即位>アンハルト=ベルンブルク公「Alexander Karl」(~18630819死去、アンハルトに統合)
- 1834年3月24日-09:00|日本|香川県仲多度郡琴平町|天保5年2月15日|朱印地の那珂郡金毘羅・幕領の同郡榎井村・五条村などの窮民、金毘羅の米屋・酒屋・質屋に打ちこわしをかける
- 1834年3月27日 00:00|イギリス| |||<死去>8代ギョウエイ伯「ジョージ・ステュアート」
- 1834年3月27日 00:00|イギリス| |||<就任>9代ギョウエイ伯「ラトル・ステュアート」(~18730102死去)
- 1834年3月27日-09:00|日本|秋田県秋田市|天保5年2月18日|<北浦一揆>出羽久保田藩、奥北浦の西長野村の農民を先頭にした民衆は阿仁鉱山への廻米を押さえて村内に保有米を確保しようと打ち壊し
- 1834年3月29日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテティアコ総督代行「エイズ・ゴッドセル・ロバート・ノコット卿」(~4. 7)
- 1834年3月30日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー司令官「オリオ・ペレイラ・パレット」(1回目~1835年)
- 1834年4月-02:00|ルーマニア| |||<即位>モルダヴィア公「ミハイル・スタルガ」(~1849. 6~18840508死去)
- 1834年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ロドヴィコ・ベルツィ」(「フランチェスコ・ゲイ・イ・ジャンゾ」)
- 1834年4月1日 07:00|メキシコ| |||軍部や教会は各地で反乱/サンタファはみずから大統領執務に復帰/議会を解散し改革法令を廃止
- 1834年4月4日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Emmanuel Halgan」(~18360306)
- 1834年4月4日 11:00|日本|長崎県長崎市|天保5年2月26日|夜、長崎恵美須町岩蔵の焚火の後始末が悪く残り火が飛び出火/船津村部落35戸全てに加え大黒町、西中町、西上町など長さ4丁半幅2丁を延焼、焼失家数391戸、土蔵1軒が焼失/随泉院本蓮寺内の一乗院、智妙院と佐賀、肥後、平戸、島原の蔵屋敷などを焼失→翌日昼頃に鎮火
- 1834年4月6日-09:00|日本|静岡県沼津市|天保5年2月28日|<死去>駿河沼津藩5万石(老中)「水野忠成」(73歳)元社奉行・若年寄・側用人・老中⇒家督を三男「水野忠義」が継ぐ(⇒天保13(1842)年1月19日、死去)
- 1834年4月7日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテティアコ総督「スライゴ侯爵ハワード・ブラウン」(~18360902)
- 1834年4月9日-01:00|フランス| |||リヨンで、絹織物工労働者の暴動が起こる
- 1834年4月9日-09:00|日本|秋田県秋田市|天保5年3月|<北浦一揆>出羽久保田藩主自ら仙北地方を巡回し人心を鎮め、一揆の首謀者は捕らえられ牢につなわれ郡方の役人は処分された
- 1834年4月9日-09:00|日本|静岡県浜松市|天保5年3月1日|<加増>遠江浜松藩6万石「水野忠邦」+1万石⇒7万石(⇒弘化2(1845)年9月2日、強制隠居)
- 1834年4月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天保5年3月1日|<就任>老中「水野忠邦」
- 1834年4月10日-01:00|フランス| |||フランス「結社法」改訂/政治団体の集会在禁止され、「アソシオン(結社)」の取り締まりが強化される
- 1834年4月11日-05:30|インド/イギリス| |||コダグ国は消滅し、イギリス領インドに併合(ケルグ州として)
- 1834年4月14日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、国民共和党、正式党名をホイッグ党に
- 1834年4月17日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島司令官「Joseph Anderson」(~18390403)
- 1834年4月20日-09:00|日本|茨城県結城市|天保5年3月12日|<死去>水野勝剛(75歳)前下総結城藩主
- 1834年4月22日-01:00|フランス/ポルトガル/スペイン/イギリス| |||イギリス、フランス、ポルトガル、スペインが四国同盟を結成
- 1834年4月23日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国アリス政府首相「ベント・ペレイラ・ド・カルモエダ・コスタ」(~9. 24)
- 1834年4月24日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア暫定総督「Andre Aime Pariset」(1期目~18350505)
- 1834年5月1日-01:00|ドイツ| |||(独)ノーファー、フラウンシュヴァイク、オルテンブルクが租税同盟(関税同盟)締結
- 1834年5月6日-05:30|インド| |||パシヤブ国ペシャワールがパシヤブ州に併合
- 1834年5月6日-05:00|パキスタン| |||パキスタン、シク王国の支配者のランジート・シグ(54)がペシャワールを占領
- 1834年5月8日-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||パレスチナでのエジプトの徴兵と課税に対する親オスマン派の反乱(~8月)
- 1834年5月9日-03:00|サウジアラビア| |||<死去>ネジド首長「トウルキ・ブン・アフドラ」
- 1834年5月9日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>ネジド首長「ミシャリー・ブン・アフドゥル・ラーマン」(~6月)
- 1834年5月9日 00:00|イギリス| |||<死去>初代バーリントン伯「ジョージ・キャウエンティッシュ」
- 1834年5月9日 00:00|イギリス| |||<就任>7代デヴォンシャー公・2代バーリントン伯「ウィリアム・キャウエンティッシュ」(~18911221死去)
- 1834年5月9日-09:00|日本|秋田県|天保5年4月|出羽で疫病が流行/秋田藩では52464人が死亡

1840迄 (2602件)

- 1834年5月14日 00:00|カリア諸島| |||<就任>スペイン王国カリア諸島州市民知事「Jose Berriz de Guzman」(~7. 6)
- 1834年5月14日 00:00|セカール/フランス| |||<就任>フランス領セカール総督「ルイ・フジヨル」(~18360630)
- 1834年5月15日 00:00|カリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリア諸島州総司令官「Jose Marron」(~18360813)
- 1834年5月19日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保5年4月11日|<就任>大坂城代「土井大炊頭利位」(~天保8. 5. 16)
- 1834年5月19日-09:00|日本|京都府京都市|天保5年4月11日|<就任>京都所司代「松平信順」(⇒1837(天保8年5月16日))
- 1834年5月19日-09:00|日本|東京都千代田区|天保5年4月11日|<就任>老中「太田資始」(~天保12年6月3日)
- 1834年5月20日-08:00|マレーシア| |||<即位>ペリス・ラジャ「サイト・フセイン・イブニ・アル=マルフム サイト・ハルン・ジャマルライ」(~187311 21没)
- 1834年5月20日-01:00|フランス| |||<死去>ラファイエットがパリで/76歳(誕生17570906)/軍人、政治家
- 1834年5月23日-01:00|イタリヤ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター副官「カルロ・カンテダ伯爵」(~18450712没)
- 1834年5月23日-09:00|日本|東京都|天保5年4月15日|<死去>狂歌師・石川清澄/49歳(六樹園の男にして浮世絵もいさゝか画く)
- 1834年5月24日 00:00|ポルトガル| |||<退位>ポルトガル国王「ドン・ミゲル」(32)、兄のドン・ペドロ(36)との内戦に敗れ
- 1834年5月26日 00:00|ポルトガル| |||<復位>ポルトガル女王「マリア2世」(2度目~18531115死去)
- 1834年5月28日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「Howard Elphinstone卿」(2期目~10. 27)
- 1834年5月30日 03:00|ブラジル| |||クイアバで特権的なポルトガル人商人に対する水夫の反乱
- 1834年5月31日-03:00|ハーレーン| |||<就任>ハーレーン支配者(ハキム)「シェイク・ムハンマド・ベン・ハリファ・アル・ハリファ」(1回目~1842年6月)
- 1834年6月1日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「キューバ連邦侯爵ミゲル・タコン・イ・ロソ」(~18380420)
- 1834年6月12日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)代行「イオニス・ニコラウ・コレリス」(1回目~18350601)
- 1834年6月18日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>シャリフ首長「ファイサル1世・ブン・トゥルキ」(1度目~1837年5月/1838年12月まで反乱が続く)
- 1834年6月21日 06:00|アメリカ| |||ヴァージニア州のサライス・マコーミック(25)が、小麦の自動刈取機の特許を獲得
- 1834年6月22日-08:00|イントネア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ホセ・マリア・マルケス」(~18390122)
- 1834年6月23日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル暫定最高国家元首「カルロス・サラザール・カストロ」(6. 12から対立~7. 13、連邦政府による直接統治)
- 1834年6月24日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Frederik von Oxholm」(1期目~18361101)
- 1834年6月24日-09:00|日本| ||天保5年5月18日|<死去>菅沼奇淵(70歳)俳人
- 1834年6月25日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「レオナルド・ホセ・ビレラ(政府ファンタ大統領)」(~18 360220)
- 1834年6月28日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、第2次貨幣法制定
- 1834年6月30日 00:00|イギリス| |||<死去>2代アントリム女伯「アン・キャサリン・マクトル」
- 1834年6月30日 00:00|イギリス| |||<就任>3代アントリム女伯「シャーロット・カー」(~18351025死去)
- 1834年7月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「アレクサンドル・D・イミトリウ・ギガ」(~18430101)
- 1834年7月-01:00|スペイン| |||フェルナド7世の弟が、スペイン国王カルロス5世として王位就任を宣言/以後、王位をめぐる内戦が始まる
- 1834年7月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ニューヨークで人種暴動発生
- 1834年7月5日-09:00|日本|沖縄県|天保5年5月29日|<死去>琉球国王「尚こう」(48歳)
- 1834年7月5日-09:00|日本|沖縄県|天保5年5月29日|<即位>琉球国王「尚育」(~18471025死去)
- 1834年7月6日 00:00|カリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王国カリア諸島州市民知事「Jose Marron」(~18360430)
- 1834年7月7日-09:00|日本| ||天保5年6月|<出版>岡田玉山「絵本名誉伝」
- 1834年7月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光14年6月|朝鮮の中南部地方で大飢饉
- 1834年7月8日-03:00|エチオピア| |||<死去>ハル首長国エミール「アブド・アル=カリム・イブン・アビ・バクル」
- 1834年7月8日-03:00|エチオピア| |||<就任>ハル首長国エミール「アブ・ハクル2世・イブン・アブド・アル=ムタン」(~18520322没)
- 1834年7月8日-09:00|日本| ||天保5年6月2日|<死去>2代六郷新三郎(93歳)歌舞伎囃子方
- 1834年7月12日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「ダトリー・セントリー・ガー・ヒル卿」(~1837年)
- 1834年7月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マテウス暫定総督「委員会:H. P. Bertrand/Eloy Nery da Silva/Francisco Manuel Roiz Nogueira」(~8. 6)
- 1834年7月15日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア総督領主「ミハイ・グリコレスツウルツァ」(~18490622)
- 1834年7月16日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第27代首相「第2代メルバートン子爵ウィリアム・ラム」ホイッグ党(~11. 14)
- 1834年7月18日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第13代首相「エティエンヌ・モリス・ジエラル」無党派軍人(~11. 10)
- 1834年7月20日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア國務院議長・閣僚委員会委員長「ゲラフ・ニコライ・ニコラエウイチ・ノヴォシツェフ」(~18380420没)
- 1834年7月22日-01:00|アルジェリア/フランス| |||フランス、アルジェリアを併合
- 1834年7月25日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスのロマン派詩人サミュエル・コルリッジ /61歳(誕生17721021)
- 1834年7月27日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「ダロン伯爵ジャン=バティスト・ドルエ」(~18350708)

1840迄 (2602件)

- 1834年7月27日 00:00|イギリス| |||<死去>3代バースト伯「ヘンリー・バースト」  
1834年7月27日 00:00|イギリス| |||<就任>4代バースト伯「ヘンリー・ジョージ・バースト」先代の息子(〜18660525死去)  
1834年7月29日-09:00|日本|京都府京丹後市|天保5年6月23日|<死去>京極高鎮(25歳)丹後峰山藩主⇒養子の高景が継いだ  
1834年8月1日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督代行「オラフ・ハンソン・フィンセン」(〜18360224没)  
1834年8月1日 00:00|イギリス| |||奴隷廃止法が施行され、イギリス帝国内のすべての奴隷が解放される  
1834年8月1日 05:00|ジャマイカ/バハマ| |||奴隷制度廃止、年季奉公制設立  
1834年8月2日-09:30|オーストラリア| |||ウェイクフィールドが南オーストラリア会社を設立し入植開始  
1834年8月4日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー内閣長官「テウト・メイラント」の騎士(18400318より伯爵)「ハルルミー・テトール」(1回目〜18400418)  
1834年8月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保5年6月29日|大阪で米屋12軒打ちこわし  
1834年8月6日 00:00|ポルトガル| |||<就任>マデラ知事「Luis da Silva Mousinho de Albuquerque」(〜18350930)  
1834年8月6日 03:00|ブラジル| |||アントニオ・ペドロが単独摂政となる。帝政を維持しながら地方反乱の収拾を図るため憲法修正令、連邦制を導入、自治体の財政権限を強化する憲法修正を実施  
1834年8月9日-09:00|日本|大阪府松原市|天保5年7月5日|<死去>高木正剛(62歳)前河内丹南藩主  
1834年8月12日 03:00|ブラジル| |||ブラジルで24年憲法修正条項が成立  
1834年8月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「沈象奎」(〜18350705)  
1834年8月13日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<死去>イギリス王領シエラレオネ副総督「ウヰル・アズ・テンブル」  
1834年8月13日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督代理「トマス・コール」(1期目〜18350214)  
1834年8月13日 00:00|ガンビア/カナダ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)代行「トマス・コール」(1回目〜18350214)  
1834年8月14日 00:00|イギリス| |||イギリスで改正救貧法が制定  
1834年8月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保5年7月11日|<大坂天保5年の大火「堂島焼」>早暁、子の刻(午前0時ごろ)、堂島新地北町の泉屋伊兵衛支配の貸家に住む坂川屋音兵衛宅より出火、火元の堂島新地北町から西天満を焼き、天満寺町、与力町、同心町のそれぞれ西半分を灰にして、かれこれ31時間燃え続けたのち、翌朝卯の中刻(午前7時頃)に鎮火/被災は29町3か村898軒、かまど数にして7560戸、社寺34か所  
1834年8月17日-05:30|イギリス| |||<就任>サハール国支配者(サワフ)「アブル・テイヤール・カン2世」(〜1862年8月没)  
1834年8月25日 00:00|ガーナ| |||<即位>アシANTI王「Otumfuo Nana Kwaku Dua1世」(〜18670427)  
1834年8月27日-09:00|日本|広島県広島市|天保5年7月23日|<死去>儒学者「頼杏坪」79歳  
1834年8月28日-02:00|モルタビア/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「ハベル・ウレヒッチ・フェドロフ」(〜18540529)  
1834年9月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン=アルテンブルク公「フリードリヒ」  
1834年9月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン=アルテンブルク公「ヨゼフ」(〜1848年廃位)  
1834年9月3日-09:00|日本| ||天保5年8月|<出版>一勇齋国芳「狂歌覓玉集」  
1834年9月6日-08:00|フィリピン| |||マニラが開港を宣言  
1834年9月8日-09:00|日本|香川県丸亀市|天保5年8月6日|大風洪水、丸亀藩領那珂郡下では家屋54軒倒壊  
1834年9月10日 05:00|エクアドル| |||<就任>エクアドル国グアヤス最高長官(⇒18350622州最高長官⇒18350808大統領)「ヒセーロ・ロドリゲス」(〜18390131)  
1834年9月16日 06:00|グアテマラ/ニカラガ/ホンジュラス/エルサルバドル/コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国大統領代行「ホセ・グレゴリオ・サザール」(〜18350214)  
1834年9月23日-09:00|日本|宮城県延岡市|天保5年8月21日|<死去>日向延岡7万石「内藤政順」(39歳)⇒10月13日、義弟「内藤政義」が継ぐ(⇒文久2(1862)年10月24日、隠居)  
1834年9月24日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国初代首相「パルメラ公ペドロ・テオソサ・ホルステイン」(1期目〜18350504)  
1834年9月24日 03:00|ブラジル/ポルトガル| |||<死去>前ブラジル皇帝「ペドロ1世」兼ポルトガル王「ペドロ4世」35歳(誕生17981012)  
1834年9月30日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「ホセ・エスコロン・イ・ハラリア」(〜10.14)  
1834年10月-02:00|ギリシャ| |||ギリシャ王国はアテネを首都に定める  
1834年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・マルベリ」「ヒエロニムス」  
1834年10月1日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス総督代行「マヌエル・ヒセーロ・ラ・マサ・ブランチ」(〜18350413)  
1834年10月3日-09:00|日本| ||天保5年9月|<出版>池田東籬亭(京都の浮世絵師菱川清春の挿画)、料理書「早見献立帳」  
1834年10月6日-09:00|日本|兵庫県豊岡市|天保5年9月4日|<死去>仙石久道(61歳)元但馬出石藩主  
1834年10月9日-04:00|ロシア| |||<就任>ダゲスタンとチェチンのイマム「シャミル・ブン・ムハンマド・アルキムラヴィー」(18400319までダゲスタンのみ〜18590906)  
1834年10月10日-02:00|サンビーク/ポルトガル| |||<就任>サンビーク総督・総司令官「ホセ・グレゴリー・ペガト」(軍事知事)(〜18360303)  
1834年10月14日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「ホセ・マリア・シルバ」(1回目〜18350410)  
1834年10月15日-09:00|日本| ||天保5年9月13日|<死去>大石千引(65歳)歌人、国学者  
1834年10月18日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「フオンテ・モルテ」》

1840迄 (2602件)

- 1834年10月19日-09:00|日本| ||天保5年9月17日|<死去>楽了入(79歳)陶工
- 1834年10月21日 00:00|イギリス| ||<死去>ダニエル・バーン「エドワード・スミス・スタンレー」
- 1834年10月21日 00:00|イギリス| ||<就任>ダニエル・バーン「エドワード・スミス・スタンレー」(~18510630死去)
- 1834年10月24日-09:30|オーストラリア| |||ピンヅヤラの虐殺起こる。総督スターリング、西オーストラリアのピンヅヤラで多数のアボリジナルの生命を奪う
- 1834年10月24日-03:30|イラン| |||<死去>ガゼル朝シャー「ファト・アリ・ガゼル」
- 1834年10月24日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国大統領代理「カルロス・アナヤ」上院社長。コロト党(~18350301)
- 1834年10月29日-05:30|インド| |||<就任>レク国ラジャ「ウイシュワート・シン」(~18541012没)
- 1834年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノス・グロフ・コルニス・ゴツツルシュカイ」(18370930まで政府議長~18400815没)
- 1834年11月1日-09:30|オーストラリア| |||シドニー商業銀行設立
- 1834年11月2日-05:30|インド| |||<就任>トク国支配者(ナワブ)「ワジール・アト・ダウラ・モハマト・カーン」(~18640618没)
- 1834年11月4日-05:30|インド| |||<就任>シンド国摂政「ラニ・マイ・サセブ・カウル」(2回目~18370308)
- 1834年11月9日-03:30|イラン| |||<即位>ガゼル朝シャー「モハンマド・ガゼル」(~18480905没)
- 1834年11月10日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第14代首相「ユグ・ベールナル・マリ」無党派派(~18341118)
- 1834年11月10日 00:00|イギリス| |||<死去>2代スペンサー伯「ジョージ・ジョン・スペンサー」
- 1834年11月10日-09:00|日本|滋賀県東近江市|天保5年10月10日|<交替>近江山上藩13000石「稲垣定成」隠居⇒長男「稲垣太篤」が継ぐ(⇒万延元(1860)年8月6日、隠居)
- 1834年11月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン＝ローテンブルク方伯「ウイクトル・アマデウス」断絶し、本家のヘッセン選帝侯領に回収
- 1834年11月14日-03:30|イラン| |||<即位>ガゼル朝シャー「アリ・ガゼル」反乱中(テヘラン~12.16)
- 1834年11月17日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第28代首相「初代ウエリントン公爵アーサー・ウェルズリー」トリー党(第2期~12.10)
- 1834年11月18日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第15代首相「エドゥアール・モルティエ」無党派軍人(~18350312在職中に暗殺)
- 1834年11月18日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ハートウィック伯「フィリップ・ヨーク」
- 1834年11月18日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ハートウィック伯「チャールズ・フィリップ・ヨーク」先代の甥(~18730917死去)
- 1834年11月21日-09:00|日本|群馬県伊勢崎市|天保5年10月21日|<死去>酒井忠良(27歳)前上野伊勢崎藩主
- 1834年11月25日-09:00|日本|東京都墨田区|天保5年10月25日|<大相撲>天保5年10月場所「江戸本所回向院」(10日間)幕内優勝:(東小結)黒岩、7勝0敗1分2休
- 1834年11月29日-05:00|パキスタン/イギリス| |||<制定>イギリスの保護領ソンド
- 1834年11月30日 00:00|イギリス| |||<死去>グロスター＝エディンバラ公「ウィリアム・フレデリック」
- 1834年11月30日 00:00|イギリス| |||<就任>3代スペンサー伯「ジョン・チャールズ・スペンサー」先代の息子(~18451001死去)
- 1834年12月-07:00|カンボジア| |||<死去>カンボジア王国国王「アンチャン2世」
- 1834年12月1日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア総督「アロイス・グラーフ・フォン・ウント・ス・ウァルター」(~18450425没)
- 1834年12月5日-03:30|イラン| |||<即位>ガゼル朝シャー「フセイン・アリ・シャー・ガゼル」反乱中(シラス~18350329)
- 1834年12月6日-09:00|日本|福岡県福岡市|天保5年11月6日|<交替>筑前福岡藩473100石「黒田斉清」隠居⇒養子「黒田斉溥」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年2月29日、「黒田長溥」に改名)
- 1834年12月10日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第29代首相「サー・ロバート・ピール」保守党(1期目~18350418)
- 1834年12月13日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国摂政「ミン・ギョン女王」(~1841年1月)
- 1834年12月13日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光14年11月13日|<死去>李氏朝鮮国王「純祖」
- 1834年12月17日-05:30|インド| |||<就任>パトリ国ラジャ「カリヤン・パール」(~1836年6月)
- 1834年12月18日-02:00|フィンランド| |||<就任>フィンランド大公国国務大臣(サクトペテルブルク)「ロバート・ヘンリック グラーフ・レービンタネ」(~18410308)
- 1834年12月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光14年11月18日|<即位>李氏朝鮮国王「憲宗」8歳で(~18490725死去)大王大妃(金祖淳の娘、純祖妃)・純元王后、垂簾聴政
- 1834年12月23日-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・エクトル・ベルリオーズ《交響曲「イタリアのホルド」》
- 1834年12月23日 00:00|イギリス| |||<死去>ギリスの経済学者マルサス/68歳(誕生17660217)
- 1834年12月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「ジエンマ・テ・ウエルゼー」》
- 1834年12月26日 00:00|ガーナ/デンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド＝コースト総督「フレデリック・ジークフリート・モルヒ」(18370819まで代行~18390318)
- 1834年12月27日-09:00|日本|兵庫県宍粟市|天保5年11月27日|<交替>播磨山崎藩1万石「本多忠敬」隠居⇒弟「本多忠鄰」が継ぐ(⇒明治2(1869)年正月晦日、隠居)
- 1834年12月30日-09:00|日本|千葉県木更津市|天保5年12月|<加増>上総貝淵藩1万石「林忠英」+3000石⇒13000石(⇒天保10(1839)年3月、5000石加増され18000石)
- 1835年-08:00|インドネシア| |||<即位>マンクガラン君主「Mangkunegara3世」(~1853年)
- 1835年-07:00|ベトナム| |||<死去>パントランガ王「Po War Palei (Ba Hoa Bai-lai)」
- 1835年-07:00|タイ| |||<即位>ラムハーン国王「プロマ・ピボン」(~1887年)
- 1835年-07:00|ラオス/タイ| |||シェンクアーンはタイに併合
- 1835年-06:00|プータン| |||<就任>プータン摂政「チョキ・ギヤルツェン」(2回目~1838年)
- 1835年-05:30|インド| |||<就任>アフマドガール国ラジャ「プリウ・イ・シン」(~18391206没)

1840迄 (2602件)

- 1835年-05:30|インド| |||<就任>アリアラ国統治者(ラオ)「ハンチャム・シン」(~1840年)
- 1835年-05:30|インド| |||<就任>サト国統治者(ラナ)「ハ・ワンシン・カリヤンシン」(~1872年没)
- 1835年-05:30|インド| |||<就任>シヤンヤル国支配者(ナワ)「アブドゥ・アル・ラーマン・カーン」(~18571018没)
- 1835年-05:30|インド| |||<就任>シヤンシ-国統治者(ラシヤ)「ラウナート・ラオ2世」(~1838年没)
- 1835年-05:30|インド| |||<就任>ラクタール国統治者(タクル・サーヒブ)「ウ・アズラージ2世フ・リテイラー」(~18460615没)
- 1835年-05:30|インド| |||<即位>シヤイフール国マハラジャ「サウイ・ラム・シン2世」(~18800919没)、摂政「チャントラウジ・マハラニ」(~1839年)
- 1835年-05:30|インド/イギリス| |||サチ国はイギリス民政下(~1864年)
- 1835年-05:00|パキスタン| |||<死去>カン統治者(ミール)「アッハス・カーン3世」
- 1835年-05:00|パキスタン| |||<就任>カン統治者(ミール)「アサド・カーン」(~1886年没)
- 1835年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>アラ王朝スルタン「Muhammad Imaaduddeen4世Kula Sudha Ira Siyaaka Saasthura Audha Keerithi Katthiri Bovana」(~1882年)
- 1835年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アンカイ汗国ハン「シャフリカーン」(~1844年)
- 1835年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ブニヨロキタ王「Kyebambe3世 Nyamutukura」
- 1835年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「Ali Khurshid Pasha」(~1838. 6)
- 1835年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのメフサル「メフメト・アガ」(~1836年)
- 1835年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ国王(ウスター)「アフマト・ワト・アビ・ハクル」(~1840年)
- 1835年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ブニヨロキタ王「Nyabongo2世 Mugenyi」(~1848年死去)
- 1835年-03:00|イェメン| |||<即位>マラー国サリフ「Amr ibn Sa`d」(~1845年)
- 1835年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフホムルタフ・アチェルニコフ総督「Graf Vasiliy Vasilyevich Levashov」(~1836年)
- 1835年-01:00|ニジェール| |||<就任>アイル国統治者(アメリカ)「アブド・アル・カデール・イブン・ムハンマド・アル・バキリ」(~1853年)
- 1835年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュトラのワリス「ハイルム・ベグ」(~1838年)
- 1835年-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリホリタニア・ベイルベイル「メフメト・イブン・アリー」反乱(2回目)
- 1835年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウラ暫定総督「Pablo Valinan」(同年)⇒暫定総督「Carlos Espinosa」(同年)⇒暫定総督「Jose Villamil」(同年)⇒総督「Joaquin Gomez y Ansa」(~1836年)
- 1835年-01:00|ニジェール| |||<就任>マラー国統治者(サルキン・カフナ)「ウマル・タン・マリ・タン・グ・ウゾ」(~1842年)
- 1835年-01:00|リビア/トルコ| |||<即位>オスマン帝国フェザン・スルタン「ジュー・イブン・ハリファ」反乱(1回目~1842年)
- 1835年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<死去>ラ・コメロ伯「Juan de la Cruz Belvis de Moncada y Pizarro」
- 1835年 00:00|トルコ| |||<就任>アグハ・ナキン統治者(メ)「アリファ」(~1837年)
- 1835年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー(ビサウ配下)総督「ホセ・アントニオ・フェレイラ」(~1837年)
- 1835年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ司令官「ジョアン・ホセ・アントニオ・フレリコ(ビサウ副総督)」⇒ビサウ総督「ジョアキン・アントニオ・デ・マリス」(4回目、12月から代行~1836年)
- 1835年 00:00|セネガル| |||<就任>ワタ・ト・ロ統治者統治者(アルマニ)「ユスフ・サイア・リ」(13回目)⇒「ヒラン・イブラー・ワシ」(6回目~1836年)
- 1835年 00:00|セネガル| |||<就任>ブントウ統治者(アルマニ)「マリク・クンバ・シ」(~1837年)
- 1835年 00:00|モロッコ| |||<就任>モロッコ大宰相「アブ・アブド・アッラー・モハメド・ヒン・イトリス・ヒン・モハメド・アル・アザムリ・アル・アムラニ・アル・フアン」(2回目~1847年)
- 1835年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>ラ・コメロ伯「Antonio Belvis de Moncada y Alvarez de Toledo」(~1842年死去)
- 1835年 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ統治者(アラ)「アラ・ペンタ・アダム・サル・ムホジ」(3回目~18401030)
- 1835年 00:00|イギリス| |||イギリスでマダム・タッサー蠟人形館開館(ロンドン)
- 1835年 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ主任判事「トマス・Egar」(~1841年)
- 1835年 06:00|カタラ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カタラ総督「コズフォート伯爵アーチルド・アチソン」(~1837年)
- 1835年 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガア| |||コスタリカのブラウリオ・カリーヨ、保守党独裁政権を樹立
- 1835年1月-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「ミザ・アブル・カシム・カエム・マカム2世」(~6. 26)
- 1835年1月 03:00|ブラジル| |||アグア・ミニニョスの戦いで、100名が死亡、281人が捕らえられる
- 1835年1月1日-09:30|オーストラリア| |||ジョン・ダンモア・ラング牧師、新聞『コロニスト』を創刊
- 1835年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「フランツ・カール・フォン・タベル」Lib(~12. 31)
- 1835年1月2日 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ副総督代行「ジェームズ・ホッター・ロックハート」(~1837年)
- 1835年1月2日-09:00|日本| 広島県安芸郡海田町| 天保5年12月4日| 安芸郡海田市火災により、町家205軒(竈数226軒)焼失
- 1835年1月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ヘディントン伯爵トマス・ハミルトン」(~5. 11)
- 1835年1月7日 03:00|ブラジル| |||パラ州ペレンで広範な市民が参加する反乱が成功/ポルトガル人支配勢力を駆逐
- 1835年1月11日-09:00|日本| 福島県福島市| 天保5年12月13日| <隠居>陸奥福島藩3万石「板倉勝俊」隠居⇒長男「板倉勝頭」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年5月2日、隠居)
- 1835年1月13日-02:00|ブルガリア| |||ブルガリア人初の学校が誕生
- 1835年1月14日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「ペルナルト・ペレス・ダ・シルバ」(~31日)
- 1835年1月16日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「マヌエル・トナメント・カストロ・エシルバ」(~20日)
- 1835年1月17日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア最初のオペラ、「フェア・メイド・オブ・ハース」、シドニーのシアター・ロイヤルで上演
- 1835年1月18日 05:00|コロンビア/エクアドル| |||コロレス軍、アンボト近郊ミナカの戦いでコロンビア軍を打ち破る/コロンビア軍は撤退

1840迄 (2602件)

- 1835年1月19日-09:30|オーストラリア| |||シドニー・カレッジ、シドニー・パブリック・グラマー・スクールを継承する、非教派学校として創立
- 1835年1月20日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ホアキン・ウイェイラ・ダ・シルヴァ・エ・ソウザ」(~10.14)
- 1835年1月20日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「アントレス・ナバルテ」(1期目~2.9)PC
- 1835年1月22日-05:00|モルティイグ| |||<即位>モルティイグ・スルタン「イマート・アッティン4世ムハンマド」(~18820110没)
- 1835年1月23日 06:00|アメリカ| |||トクヴィルが「アメリカの民主主義」を刊
- 1835年1月24日 03:00|ブラジル| |||ハイでイスラム教徒(マリス)が市街焼打ちと蜂起の計画。黒人奴隷千5百名が参加する予定であったが、事前に発覚し失敗(マリスの陰謀)
- 1835年1月25日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ウインチェンツォ・ベッリニ《歌劇「清教徒」》
- 1835年1月26日-08:00|マレーシア| |||<死去>クランタン・ラジャ「スルタン・ムハンマド1世・イブニ・アル=マフム・ロン・ユヌス」
- 1835年1月26日-08:00|マレーシア| |||<即位>クランタン・ラジャ「スルタン・ムハンマド2世・イブニ・アル=マフム・テムコングン・テンク・ロン・ラン」(~18861030没)、摂政「ロン・ツナル」(~1836年)
- 1835年1月26日-09:00|日本| 秋田県| 天保5年12月28日| 4月より出羽で疫病が流行。秋田藩では52464人が死亡
- 1835年1月28日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ミゲル・フランシスコ・バラカン・アントラテ」(~18360301)
- 1835年1月29日-09:00|日本| || 天保6年1月| <再版>葵岡北溪「狂歌東関駅路鈴」を「五十三次北斎道中画譜」と改題/北溪の画を北斎の名もて売る(浮世絵)
- 1835年1月29日-09:00|日本| || 天保6年1月| <出版>歌川国直・歌川国貞等「俳風狂句百人集」
- 1835年1月29日-09:00|日本| || 天保6年1月| <出版>葛飾北斎・歌川国貞等「俳優三十六花仙」
- 1835年1月31日-03:30|イラン| |||イランでモハンマド・シャーが即位
- 1835年2月1日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マヌエル・フランシスコ・ザカリアス・デ・ポルトガル・エ・カストロ」(~3日)
- 1835年2月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド州委員会議長「ホアキン・マヌエル・コレイラ・ダ・シルバ・エ・ガマ」(~3.3)
- 1835年2月3日-09:00|日本| || 天保6年1月6日| 東洋の江戸国友藤兵衛が、自作の望遠鏡で太陽の黒点を観測
- 1835年2月8日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの外科医「エドモン・トラン/57歳(誕生17771006)/新しい外科手術を次々に行った
- 1835年2月9日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領「ルチア・マリア・パルガス」(1期目~7.8)PC
- 1835年2月14日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ副総督「ハンリー・ダングラス・キャンベル」(~18370113)
- 1835年2月14日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「ハンリー・ダングラス・キャンベル」(~18370613)
- 1835年2月14日 06:00|グアテマラ/ニカラガ/ホンジュラス/エルサルバドル/コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国大統領「ルチア・フランシスコ・モラサン・カサタ」(3回目~18390201)
- 1835年2月15日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣「コカ・マルコウ・イチ」(~18360328)
- 1835年2月19日 05:00|ハマ/イギリス| |||<就任>ハマ植民地総督代行「ジョセフ・ハンター」(1回目~26日)
- 1835年2月19日-09:00|日本| || 天保6年1月22日| <死去>6代千宗守(41歳)茶人、武者小路千家家元
- 1835年2月19日-09:00|日本| 東京都墨田区| 天保6年1月22日| <大相撲>天保6年1月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関(横綱))阿武松、7勝0敗2分1休
- 1835年2月20日 24:00|刊| |||刊、コンチネンツォン沖で地震(M8.4)死者500人
- 1835年2月21日 00:00|イギリス| |||<死去>7代スカハラ伯「ジョン・ラムリー=サウエル」
- 1835年2月21日 00:00|イギリス| |||<就任>8代スカハラ伯「ジョン・ラムリー=サウエル」(~18561029死去)
- 1835年2月21日 03:00|ブラジル| |||政府軍がベレンを制圧
- 1835年2月21日-09:00|日本| 東京都中央区| 天保6年1月24日| 子の中刻、吉原角町より出火、廓中残らず焼亡
- 1835年2月22日-09:00|日本| 三重県三重郡菟野町| 天保6年1月25日| <隠居>伊勢菟野藩11000石「土方義苗」隠居⇒長男「土方雄興」が継ぐ(⇒天保9(1838)年7月2日、死去)
- 1835年2月23日 05:00|ペルー| |||自由党のリス・ルチア・デ・オルベゴソ大統領、ガマにより放逐される
- 1835年2月25日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国最高首長「フィリップ・サンティアゴ・デ・サラウエリ・テルソラー」(反乱中~18360209)
- 1835年2月26日 05:00|ハマ/イギリス| |||<就任>ハマ植民地総督「ウィリアム・マクヒンソン・ジョージ・コルブルック」(~1837年2月)
- 1835年2月28日-02:00|フィンランド| |||フィンランドの民族叙事詩「古カワラ」が、巡回医師エリアス・リョンロト(33)によって出版
- 1835年2月28日-01:00|ジブチ/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブチ知事代理「サー・アレクザンダー・ウッドフォード」(⇒18360901知事~18421031)
- 1835年2月28日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ネッソン伯「ウィリアム・ネッソン」
- 1835年2月28日 00:00|イギリス| |||<就任>2代ネッソン伯「トマス・ネッソン」(~18351101死去)
- 1835年3月 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ総督代行「アントニオ・カルロス・コウチニョ」(~9.12)
- 1835年3月 06:00|アメリカ| |||フロリダのセミノール族に対し移住命令。これを拒否するセミノール族が武装蜂起。フランス・テート少佐の率いる二個小隊が、待ち伏せ攻撃を受け虐殺される「第二次セミノール戦争」
- 1835年3月1日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィピン総督「ガブリエル・デ・トリス」(~4.23死去)
- 1835年3月1日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国第2回憲法大統領「マヌエル・オリベ」国民党(~18381024)
- 1835年3月1日-09:00|日本| || 天保6年2月3日| <死去>高橋草平(32歳)画家
- 1835年3月2日-01:00|オーストリア/チェコ/ハンガリー/クロアチア/ベルギー/オランダ/フランス/イタリヤ| |||<死去>神聖ローマ皇帝「フランツ2世」兼オーストリア皇帝「フランツ1世」(オーストリア大公「フランツ2世」)兼ハンガリー国王「フェレンツ1世」兼クロアチア王「フランシス1世」兼ボヘミア王「フランティシク1世」兼ロンバルド=ヴェネツィア王「フランチェスコ1世」兼アルトワ伯・フランドル伯「フランソワ2世」67歳(誕生17680212)

1840迄 (2602件)

- 1835年3月2日-01:00|フランス| |||<死去>フランドル伯「フランツ2世」
- 1835年3月2日-01:00|オーストリア/チェコ/ハンガリー/イタリア/フランス/トイ | |||<即位>オーストリア皇帝「フェルディナント1世」兼ホーミア王・ハンガリー王国国王「フェルディナント5世善良王」兼ロンバルド＝ヴェネチア王「フェルディナント1世」兼アルトワ伯「フェルディナント」フランツ1世(フェルツ1世)の息子(〜18481202廃位〜18750629死去82歳)兼トイ連邦元首「フェルディナント1世」(〜18480712)
- 1835年3月3日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド臨時政府議長「シヨアン・カシロ・ペレラ・ダ・ロイヤ・テ・ガファスコネロス/マニエル・ホセ・リベロ/フレイ・コンスタンティーノ・デ・サンタ・リタ」(〜1836年12月)
- 1835年3月4日-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国女王「アン・メイ」(1回目〜1840年6月)
- 1835年3月4日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア摂政「ルトヴヒ・エルツェルツォーク・フォン・コンステルライヒ(州会議議長)」(〜18480404)
- 1835年3月4日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ暫定高責任者「ファン・ホセ・テ・ラ・イ・アリアス・デ・サラマンカ」(〜18日)
- 1835年3月6日-09:00|日本|東京都台東区|天保6年2月8日|谷中茶屋町出火(いろは茶屋一円焼亡)
- 1835年3月12日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第16代首相「アシル＝ヴィクトル＝シャルル・ド・フォー」オルリアニスト(〜18360222)
- 1835年3月12日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「マリノ・フェリエロ」》
- 1835年3月15日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>ジャイントピア国はイギリス領インド(ベンガルの一部、1874年からアッサム州)に併合
- 1835年3月18日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者代行「マニエル・ホセ・フェルナンデス・チャコン」(〜5.5)
- 1835年3月20日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督代行(イギリス東インド会社)「チャールズ・テオフィロス・メカーフ卿」(〜18360304)
- 1835年3月28日-01:00|トイ | |||<就任>ロイヘンベルク公「マクシミリアン」(〜18521101)
- 1835年3月29日-09:00|日本| ||天保6年3月|<出版>歌川貞広「銀鷄一睡南柯夢」
- 1835年3月29日-09:00|日本| ||天保6年3月|<出版>葛飾北斎「富嶽百景」二編
- 1835年3月29日-08:00|中国| ||清・道光15年3月|清の山西趙城県で先天教主の曹順が反乱をおこす
- 1835年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピエトロ・ゾーリ」フランチェスコ・マリア・ベルツィ(在職中死去)⇒ラッファエロ・ゴッジ
- 1835年4月4日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>パナマ国ラジャ「イシュヴァリ・フラス・ナヤン・シン」(〜18890613没)
- 1835年4月4日-09:00|日本|福島県相馬市|天保6年3月7日|<交替>陸奥中村藩6万石「相馬益胤」隠居⇒長男「相馬充胤」が継ぐ(⇒慶応元(1865)年4月24日、隠居)
- 1835年4月8日-09:00|日本|石川県金沢市|天保6年3月11日|<金沢天保6年の大火>暁の七つ時(午前4時ごろ)、横安江町にある西末寺の門前に居を構える青木八郎左衛門宅から出火し、上級武家屋敷や寺院が集まる一帯をなめた/炎は両末寺に移り、溝口頼母宅、荒木津大夫宅、杉江空左衛門宅など武家屋敷に次々と延焼、34軒をことごとく灰にした/そのほか伴源左衛門宅の長屋門(家臣の居住間を左右に備えた門)、伴八矢、前田将監、寺西蔵人などでは本宅と屋敷内の家臣の居宅10軒も同じように灰となった/一方、周辺の寺院、火元と接する西末寺を始め東末寺、照圓寺、西勝寺など11か所も全焼し辺り一面が廃墟と化した/炎は町家の方にも舌を伸ばし、横安江町の町家を始め、東末寺町の町家、西御坊町、中嶋町、堀川笠市町、塩屋町などの797軒を全焼、浅野川下流の乙丸村24軒など郡地113軒も焼失/そのほか、非人(当時の最下層民)小屋77軒、熊坂橋と極楽橋の番小屋3軒も焼けている。昼九つ時(午前12時ごろ)鎮火
- 1835年4月10日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首「ニコラ・エスピノーザ」(〜11.15)
- 1835年4月12日-09:30|オーストリア| |||タマニア沖で、ジョージ3世号沈没、134人の囚人が死亡
- 1835年4月13日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>外交関係委任ブエノスアイレス総督「ファン・マニエル・ホセ・ド・ミンコ・オルティス・デ・ロサ・イ・ロハス・デ・オルネオ」(2回目〜18510920)
- 1835年4月18日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第30代首相「第2代メルバートン子爵ウィリアム・ラムホイック」党(2期目〜18410830)
- 1835年4月21日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ポート・ナタル特別治安判事「アレクサンダー・ガートナー・ラントロスト」(〜1838年)
- 1835年4月23日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督代理「Joaquin de Cramer」(〜9.9)
- 1835年4月23日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ヘンリー・G. ハント」(〜9.17)
- 1835年4月23日 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長「ホセ・セペタ」(〜18370125)
- 1835年4月26日-01:00|ポランド| |||<初演>フレデリック・フランソワ・ショパン《アンタニテ・スピナートと華麗なる大ホロネズ変奏長調》
- 1835年4月28日-08:00|中国| ||清・道光15年4月|清の山西趙城県で反乱をおこした先天教主の曹順が逮捕され刑死
- 1835年5月-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督代理「ジョージ・カテュー」(〜18360704)
- 1835年5月3日-05:30|インド/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「サンシモン侯爵アンリ・ジャン・ヴィクトル」(〜1840年4月)
- 1835年5月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第2代首相「リニャレス伯ビクトリア・テ・スザ・コウチニョ」(〜27日)
- 1835年5月5日-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Johann Nepomuk von Tschiderer zu Gleifheim」(〜18601203)
- 1835年5月5日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア総督「Louis Jean-Guillaume Jubelin」(2期目〜18360411)
- 1835年5月5日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者「ブラウリオ・エウアリスト・カリョ・コリーナ」(1回目〜18370301)
- 1835年5月6日-02:00|南アフリカ| |||<再設>イギリス植民地ポート・ナタル(〜18391224)

1840迄 (2602件)

- 1835年5月6日 06:00|アメリカ| |||新聞記者のジェームズ・ヘネット(40)が、1セントの日刊紙「ニューヨーク・ヘラルド」の発行を開始
- 1835年5月10日-02:00|南アフリカ| |||ブリテン・カプリアをクイン・アテレード州としてケープ植民地に併合
- 1835年5月10日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>リベリア植民地代理人代行「サニエル・ブランダー」(~8.12)
- 1835年5月11日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「マルグレイブ伯爵(18380623からノーマンビー侯爵)コンスタンティン・ヘンリー・フィッポス」(~18390403)
- 1835年5月12日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリタ暫定総督「Lazaro Garcia del Real」(~1836年)
- 1835年5月14日-09:30|オーストラリア| |||衾ア号、キング・アイランド付近で沈没/225人が死亡
- 1835年5月20日-01:00|チュニジア| |||<死去>サイン朝ヘイ「アル=サイン2世」51歳
- 1835年5月20日-01:00|チュニジア| |||<即位>サイン朝ヘイ「ムスタファ・イブン・マフムド」マフムド・イブン・ムハンマドの息子(~18371010死去51歳)
- 1835年5月22日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ヘンリー・Balnevis」(2期目~7.8)
- 1835年5月24日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天保6年4月27日|<交替>播磨姫路藩15万石「酒井忠実」隠居⇒甥「酒井忠学」が継ぐ(⇒天保15(1844)年10月10日、死去)
- 1835年5月25日 00:00|イギリス| |||ロンドン動物園に初チンパンジー
- 1835年5月26日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリタニア・ワリス(総督)「ムスタファ・ネギブ・パシャ」(~9.7)
- 1835年5月26日-01:00|リビア/トルコ| |||オスマン朝がリビアを再征服
- 1835年5月26日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴォン伯「ウィリアム・コートニー」
- 1835年5月26日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴォン伯「ウィリアム・コートニー」(~18590319死去)
- 1835年5月27日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第3代首相「ジョアン・カルロス・グレゴリオ・ド・ミンゲス・ビセンテ・フランシスコ・デ・サルタニャ・オリベイラ・エ・ダウ」(1期目~11.18)
- 1835年5月27日-09:00|日本| ||天保6年5月|<出版>大阪の暁鐘成「天保山名所図会」
- 1835年5月27日-09:00|日本|東京都台東区|天保6年5月|江戸浅草茅町二丁目に、人形店「久月」開業
- 1835年5月28日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ギアナ総督代行「ライオネル・ミス卿」(~6.17)
- 1835年5月29日-09:00|日本|京都府京丹後市|天保6年5月3日|<死去>京極高備(79歳)前丹後峰山藩主
- 1835年6月1日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「コス・イオソ・ラウトウイコス・アルマンサペルグ」(国務長官)「(~18370214)
- 1835年6月1日-09:00|日本|東京都千代田区|天保6年5月6日|<解任>老中「青山忠裕」
- 1835年6月7日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Jose Maria Queipo de Llano」穏和党(~9.14)
- 1835年6月7日-09:00|日本|青森県八戸市|天保6年5月12日|<死去>南部信房(71歳)前陸奥八戸藩主
- 1835年6月15日 00:00|イギリス| |||<死去>3代コータウン伯「ジェームズ・ジョージ・ストップフォード」
- 1835年6月15日 00:00|イギリス| |||<就任>4代コータウン伯「ジェームズ・トマス・ストップフォード」(~18581120死去)
- 1835年6月15日 04:00|ホルヘリア/ペルー| |||ペルー・ホルヘリア連邦成立
- 1835年6月16日-09:00|日本|茨城県結城市|天保6年5月21日|<交替>下総結城藩18000石「水野勝愛」隠居⇒四男「水野勝進」が継ぐ(⇒安政6(1859)年5月6日、隠居)
- 1835年6月17日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア愛国者協会が設立される
- 1835年6月19日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天保6年5月24日|<交替>三河岡崎藩5万石「本多忠考」隠居⇒婿養子「本多忠民」が継ぐ(⇒明治2(1869)年2月20日、隠居)
- 1835年6月21日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ホジリヤウホルィニ総督「Graf Aleksandr Dmitriyevich Gurjev」(~18371127)
- 1835年6月24日-09:00|日本|愛媛県松山市|天保6年5月29日|<死去>伊予松山藩15万「松平定通」脚気のため(32歳)⇒養子「松平勝善」が継ぐ(⇒安政3(1856)年8月11日、死去)
- 1835年6月25日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの画家グロ/64歳(誕生17710316)「エイワ戦場の林レオン」などを描いた
- 1835年6月26日-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「ハジ・ミルザ・アガシ・イヴァニ」(~18481020)
- 1835年6月26日-09:00|日本| ||天保6年6月|<出版>葛飾戴斗「万職図考」二・三編
- 1835年6月26日-09:00|日本| ||天保6年6月|<出版>京都の浮世絵師・菱川清春「銀河草紙」
- 1835年6月29日-01:00|オーストリア| |||フェルディナント帝の叔父ヨハン大公摂政に就任
- 1835年6月30日 06:00|アメリカ| |||テキサスのアメリカ人入植者、武装蜂起
- 1835年7月-01:00|スペイン| |||スペインのバルセロナで蜂起開始
- 1835年7月 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Albino Perez」(~18370808暗殺される)
- 1835年7月1日-09:00|日本|東京都千代田区|天保6年6月6日|<就任>老中「本荘宗亮」(~天保7年9月4日)
- 1835年7月3日 10:00|ポリネシア| |||<就任>タイハイ統治者「Charles Philippe Hippolyte de Thierry」(~26日)
- 1835年7月5日 04:00|グレタ/イギリス| |||<就任>グレタ副総督「ジョン・ヘイティングス・マ」(~18360321)
- 1835年7月8日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ジョージ・Cardew」(~18360704)
- 1835年7月8日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「クラゼル伯爵ベルラン」(~18370212)
- 1835年7月8日 04:30|ペルセポリス| |||<就任>ペルセポリス共和国暫定大統領「ヘドロ・ブリエノ・メンデス」(~7.13死去)PC
- 1835年7月13日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア・ヘルツェゴビナ総督「マフムド・ガエシビ・パシャ」(~18400928)
- 1835年7月13日 04:30|ペルセポリス| |||<死去>ペルセポリス共和国暫定大統領「ヘドロ・ブリエノ・メンデス」
- 1835年7月13日 04:30|ペルセポリス| |||<就任>ペルセポリス共和国大統領「サンティアゴ・マリニコ・カリゲ」(~28日)PC
- 1835年7月18日 00:00|ポルトガル| |||<設立>ポルトガルの海外地区(フンシャル地区)
- 1835年7月18日-09:00|日本|京都府京丹後市|天保6年6月23日|<死去>丹後峰山藩11100石「京極高鎮」⇒養子「京極高景」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年3月7日、隠居)

1840迄 (2602件)

- 1835年7月20日-09:00|日本|宮城県|天保6年6月25日|仙台地震/M7、津波あり。流出家屋、死者多数
- 1835年7月28日-01:00|フランス| |||フランス革命記念日、閱兵式に向かうレイ・フィリップが、コルシカ人ファイエスキのしかけた爆弾にみまわれる/死者18人、負傷者40人を出す王は難をまぬがれる
- 1835年7月28日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「セ・マリア・カレニョ・ブランコ」(1期目~8. 20)
- 1835年7月29日 06:00|アメリカ| |||チャールストンの暴徒、郵便局から奴隷制度廃止論者の郵便物を強奪して焼却
- 1835年7月31日 00:00|イギリス| |||<死去>6代ウォルト・グレイヴ 伯「ジョン・ジェームズ・ウォルト・グレイヴ」
- 1835年7月31日 00:00|イギリス| |||<就任>7代ウォルト・グレイヴ 伯「ジョン・エドワード・ウォルト・グレイヴ」先代の息子(~184609 28死去)
- 1835年8月-05:30|インド/イギリス| |||<就任>インド国統治者(デシュク)「バギラティ・ハイ」(~18460729没)
- 1835年8月10日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天保6年7月16日|<交替>丹波篠山藩6万石「青山忠裕」隠居⇒四男「青山忠良」が継ぐ(⇒文久2(1862)年2月29日、隠居)
- 1835年8月12日 00:00|リベリア/アメリカ| |||<就任>リベリア植民地代理人「エドワード・スカー」(~18360925)
- 1835年8月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>シュヴァルツブルク＝ゾーランド＝スハゼン侯「ギュンター・フリートリヒ・カール1世」
- 1835年8月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>シュヴァルツブルク＝ゾーランド＝スハゼン侯「ギュンター・フリートリヒ・カール2世」(~18800717死去)
- 1835年8月20日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領「セ・マリア・テ・ロスト・ロレス・バルガス・ポント」(2期目~18360424)PC
- 1835年8月25日-09:00|日本|福井県福井市|天保6年閏7月2日|<死去>越前福井藩32万石「松平齊承」痲病のため(25歳)⇒8月28日、養子「松平齊善」が継ぐ(⇒天保9(1838)年7月27日、19歳で急死)
- 1835年8月29日-09:30|オーストラリア| |||ジョン・バスコ・フォーカーのエンブレフ・ライズ号、ジョン・バットマンの主張する土地のヤラ川対岸に到着/メルボルンの始まり
- 1835年8月29日 03:00|日本|香川県|天保6年閏7月6日|宇足津・坂出村打ちこわし騒動の首謀者6名、宇足津村平山で4名、坂出村内浜で2名それぞれ処刑
- 1835年8月29日 03:00|日本|宮城県仙台市|天保6年閏7月6日|<天保6年仙台藩領大洪水>屋ごろから大風雨が仙台藩領を襲った/仙台城下では広瀬川が増水して15mも水が上がった/川沿いの殿町などで家屋が流され、城下と仙台城の行き来が3日間できなかった/町家2416軒が流失し27人が死亡
- 1835年8月30日 00:00|日本|宮城県仙台市|天保6年閏7月7日|<天保6年仙台藩領大洪水>午前9時、石巻湾に注ぐ鳴瀬川支流の多田川氾濫、大洪水となった/鳴瀬川本流付近では、午前10時ごろ、左岸(北側)の四日市場村御蔵の水除け土手、志田郡堤根村の土手が60間(110m)余、中沢村牛頭西で30間(55m)余り、若宮より西で60間余り、新沼村と南谷地村境の熊の越で30間余りなど数か所で濁流が堤を超え、田畑一面が泥水で押し流された。一方右岸(南側)の下高城村、四釜村、一ノ関村などでは、田畑が洪水で押し流されるだけでなく住家や土蔵の中にも浸水。高城村、往生寺(王城寺)村の川筋の田畑は水に流され大きな被害となった
- 1835年9月5日-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・ダル・タジム占領地域・植民地スルタン「フェイン・ムアッサム・シャー・イブニ・アル＝マルフム・スルタン・マフムド・シャー」
- 1835年9月5日-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・ダル・タジム占領地域・植民地スルタン「アリ・イスクンダール・シャー・イブニ・アル＝マルフム・スルタン・フサイン・ムアッサム・シャー」(~18550310)
- 1835年9月7日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ウリス(総督)「マフムド・ライフ・ハシャ」(~18370506)
- 1835年9月9日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「Pedro Antonio Salazar Castillo y Varona」(~18370827)
- 1835年9月9日 00:00|イギリス| |||イギリスで都市自治体法が制定される
- 1835年9月12日-02:00|南アフリカ| |||<就任>フィリピン暫定酋長(カプティン)「アダム・コック3世」(1回目~1836年)
- 1835年9月12日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ 総督「ホアキン・ペレイラ・マリニョ」(1回目~18360724)
- 1835年9月12日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長「アグスティン・ガマ・イ・メンサ」(~10. 10)
- 1835年9月14日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Miguel Ricardo de Alava」進歩党(~25日)
- 1835年9月17日 04:00|バミュダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミュダ 総督代理「ロバート・ケネディ」(3期目~18360122)
- 1835年9月20日 03:00|ブラジル| |||ファルペーラの反乱/南リオグランデ州で急進派の反乱。州都ポルトアレグレを制圧
- 1835年9月22日-09:00|日本| |||天保6年8月1日|奥州で台風被害がひろがり、再び凶作となる(天保の大飢饉Ⅱ)
- 1835年9月24日-01:00|ジブチ/イギリス| |||<死去>イギリス領ジブチ知事「ジョン・ピット」
- 1835年9月24日 00:00|イギリス| |||<死去>2代チャムバ 伯「ジョン・ピット」
- 1835年9月25日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Juan Alvarez Mendizabal」進歩党(~18360515)
- 1835年9月26日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「ランメルモールのルチア」》
- 1835年9月30日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ファンチャル地区民政知事「Joao Jose Xavier do Carvalho Esmeraldo」(~18360206)
- 1835年10月-09:30|オーストラリア| |||オーストラリアで最初に著された戯曲、エヴァン・ハンリー・トマスの『ラインの盗賊』出版
- 1835年10月-05:30|インド/イギリス| |||バングラ国はイギリス領インド(マドラスの一部)に併合(~18480712)
- 1835年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバティスタ・ボネリ」「バルトロメオ・バルトロッティ」
- 1835年10月2日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||独立を求めるテキサスの米国人、コンサレスで蜂起開始
- 1835年10月7日-01:00|スペイン| |||<死去>第14代アルバ公・オリバーレス公「カルロス・ミゲル・フィツ＝ハメス・ストゥアルト・イ・シルバ」
- 1835年10月7日-01:00|スペイン| |||<就任>第15代アルバ公・オリバーレス公「ハコボ・フィツ＝ハメス・ストゥアルト・イ・ベントイミーリア」(~18810710死去)先代の子

1840迄 (2602件)

- 1835年10月7日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官兼管理者「Francois Julien Guy Paris」(2期目~18360614)
- 1835年10月10日 05:00|ペル| |||<就任>ペル共和国閣僚評議会議長「ファン・バウティスタ・デ・ラバジェズガスティ」(~12.28)
- 1835年10月12日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国摂政「テオゴアントニオ・フェイジョ」(~18370919)
- 1835年10月14日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「アントニオ・パウリーノ・リボン・デ・アブレウ」(1回目~18360205)
- 1835年10月14日 03:00|ブラジル| |||リオ=ニトロイ間の蒸気船航路が営業開始
- 1835年10月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保6年8月29日|<死去>田能村竹田(59歳、安永6(1777)0610生)文人画家
- 1835年10月21日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ホストンの暴徒、奴隷制度廃止論者に暴行
- 1835年10月23日-09:00|日本| ||天保6年9月2日|百文銭(天保通宝)通用始まる
- 1835年10月25日-12:00|ニューゼーランド/イギリス| |||マオリが英国のもとでニューゼーランド北部にニューゼーランド部族連合国独立を宣言
- 1835年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>3代アントリム女伯「シャーロット・カー」
- 1835年10月25日 00:00|イギリス| |||<就任>4代アントリム伯「ヒュー・シーモア・マクトル」(~18550719死去)
- 1835年10月29日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保6年9月8日|長崎村片淵郷の塩硝調査場で爆発事故し出火. 8人が即死
- 1835年11月1日 00:00|イギリス| |||<死去>2代礼ソン伯「トマス・礼ソン」
- 1835年11月1日 00:00|イギリス| |||<就任>3代礼ソン伯「ホレーショ・礼ソン」(~19130225死去)
- 1835年11月2日 06:00|アメリカ| |||フロリダで逃亡黒人奴隷と同盟した第2次セミノール族戦争が始まる
- 1835年11月12日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国國務長官「ゲリット・ゲラフ・シムメル・ニク」(~18361201)
- 1835年11月15日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首代行「フランシスコ・ゴメス・テ・アルタミラノ・イ・エリソント」(~18360307)
- 1835年11月15日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス臨時政府総裁「Henry Smith」(~18360301)
- 1835年11月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第4代首相「ルイス・ド・ロレイロ」(~18360420)
- 1835年11月19日-03:00|マヨット| |||<就任>マヨット総督(カテイス)「カマル・ヌス・ワニ(アング・ユアン)」によって征服(~1836年)
- 1835年11月19日-03:00|マヨット| |||マヨットはヌス・ワニに征服される
- 1835年11月19日-09:00|日本|東京都千代田区|天保6年9月29日|<解任>老中「松平康任」
- 1835年11月21日-09:00|日本|和歌山県|天保6年10月2日|<死去>華岡青州(76歳、宝暦10(1760)1023生)日本最初の麻酔手術を行った外科医
- 1835年11月23日 00:00|イギリス| |||<死去>ホーフォート公「ヘンリー・サマセット」
- 1835年11月23日 00:00|イギリス| |||<就任>ホーフォート公「ヘンリー・サマセット」先代の子(~18531117死去)
- 1835年11月28日-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アルマフディ・アフダラー」
- 1835年11月28日-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマンスール・アリ2世」アルマフディ・アフダラーの息子(1期目~1837.2)
- 1835年11月28日-09:00|日本|香川県仲多度郡琴平町|天保6年10月9日|金丸座で初めて芝居興行<日本最古の芝居小屋>
- 1835年12月-12:00|ニューゼーランド| |||マオリ族がチャム島のモリオリ族を虐殺
- 1835年12月1日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントデルガダ暫定民政知事「Joao Antonio Ferreira de Mouraj」(~18360608)2期目~1836年)
- 1835年12月7日-01:00|ドイツ| |||ニュルンベルクからフルトまでのドイツで初めての鉄道が開通
- 1835年12月8日-09:00|日本|東京都墨田区|天保6年10月19日|<大相撲>天保6年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東小結)黒岩, 6勝0敗2分2休
- 1835年12月8日-09:00|日本|富山県富山市|天保6年10月19日|<交替>越中富山藩10万石「前田利幹」隠居⇒養子「前田利保」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年10月20日、隠居)
- 1835年12月10日-02:00|南アフリカ| |||クイーン・アデレード州⇒クイーン・アデレード・ランド地区(ケープ植民地)に改称
- 1835年12月12日-09:00|日本|熊本県|天保6年10月23日|<死去>細川齊茲(細川立礼)(81歳)前肥後熊本藩主
- 1835年12月16日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ニューヨーク市で大火, 374戸もの家屋を焼き尽くす
- 1835年12月20日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||テキサスの米国人, メキシコからの分離と自治の権利を宣言/テキサス独立戦争が始まる
- 1835年12月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光15年11月|李朝朝鮮で幼帝の憲宗が即位し、純祖妃の垂簾聴政がはじまる
- 1835年12月21日-09:00|日本|東京都文京区|天保6年11月2日|<死去>浮世絵師・本郷豊国/59歳(初代豊国の門人にして、二代目豊国)
- 1835年12月23日-09:00|日本| ||天保6年11月4日|<死去>初代實川額十郎(54歳)歌舞伎役者
- 1835年12月28日 05:00|ペル| |||<就任>ペル共和国閣僚評議会議長「マヌエル・バルトロメ・フェレイロス・イ・デ・ラ・マタ」(~1836年)
- 1835年12月29日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、チェキ族とニュー・エコタ条約締結
- 1835年12月30日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「マリア・ストウアルタ」》
- 1836年-08:00|マレーシア| |||<就任>ヌグリ・スンビラン統治者(ヤン・デ・イ・ヘルトウアン・ベ・サル)「ラジヤ・ラティン・イブ・ニラジヤ・レンガン・ラウト」(3度目~1861年)
- 1836年-07:00|タイ| |||<就任>ナ国主(チャオ)「アシタワン」(~1838年)

1840迄 (2602件)

- 1836年-05:30|インド| |||<就任>コホ・ビ・ハル国摂政「ハジェンドラ・ナヤン」(1回目~1839年)
- 1836年-05:30|インド| |||<就任>シヤム-首席大臣(デワン)「ジュワ・サハイ」(~18460315)
- 1836年-05:30|インド| |||<即位>トルコ-ル国支配者(マハラジャ・ラ)「ホ・ハフ・シン」(~12月没)
- 1836年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン首長国エミール「ト・スト・モハト・カン」(1回目~18390802)
- 1836年-04:00|UAE| |||<死去>トバイ首長「Obeid bin Said bin Rashid al-Falasi」
- 1836年-03:00|カンタ| |||<死去>ブガタ王国国王「Kamaanya Kadduwamala Mukasa」
- 1836年-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「アリ・クルシット・パシヤ」(~1839年5月)
- 1836年-03:00|カンタ| |||<就任>カトル統治者(オムカマ)「コンザ・ハト」(~1884年)
- 1836年-03:00|サウジアラビア| |||<就任>シヤル・シヤマル首長「アブ・ツラー1世イブン・アリー・アル・ラシド」(~1847年4月没)
- 1836年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハスラのムッカリフ「ア・メト・セレビ」(~1838年)
- 1836年-03:00|サウジアラビア/エジプト| |||<就任>メッカ・エジプト軍司令官「ムハンマド・ブン・アブドゥル・ムイン」(~1840年)
- 1836年-03:00|カンタ| |||<即位>ブガタ王国国王「Ssuuna2世 Kalema Migeekyamyee」(~1856.10死去)
- 1836年-03:00|マヨット| |||<即位>マロ・スルタン国スルタン「アントリアンソリ」独立(2回目~18410325フランスに併合される)
- 1836年-03:00|コモロ| |||<即位>ンス・スルタン国スルタン「サイティ・アラウイ・ヒン・アブ・ダラ」(~1837年)
- 1836年-03:00|マヨット| |||マヨット独立
- 1836年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ=ホルタウ=フェルニコフ総督「Graf Aleksandr Grigoryevich Stroganov」(~1839年)
- 1836年-01:00|ペナン| |||<死去>アジャチ・イェのファン王国国王「トヨ」
- 1836年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督「Francisco Sanjuanena Gaitan」(~1837年)
- 1836年-01:00|ペナン| |||<即位>アジャチ・イェのファン王国国王「メイ」(~18480908没)
- 1836年 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ初代総督「George Middlemore少将」
- 1836年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督代理「Fernando Jose Correia Henriques de Noronha」(~1837年)
- 1836年 00:00|モリタニア| |||<就任>カニト連邦エミール(アハカ系)「ハッカル・イブン・スウエイデ・イ・アハマド」(~19050401没)
- 1836年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>トンコ・リンバ 統治者「ホ・ンク・ラハイ」
- 1836年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督「ジョアン・エルテリオ・ダ・ロジャ・グアイラ」(~18370108)
- 1836年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ト・ロイス 民政知事「Luis Pinto de Mendonca Arrais」Mil (~3.3)
- 1836年 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地セントクリストファース 副総督代行「ウィリアム・グレイシット・クルック」(~1837年)
- 1836年 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領「Henry Hamilton」(~1840.3死去)
- 1836年 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード 諸島総督「Sir Evan John Murray MacGregor」(~1841年)
- 1836年 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ総督「アントニオ・デ・ホセ・パリア」(~1840年)
- 1836年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「カール・フリードリヒ・ツツァルナ」Lib(1期目~12.31)
- 1836年1月11日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスティウス島暫定副知事「Theophilus George Groebe」(~18370715)
- 1836年1月11日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス臨時政府総裁代理「James W. Robinson」(~3.1)
- 1836年1月12日-01:00|パチカン| |||<就任>パチカン枢機卿国務長官「ルイジ・ランブルスキニ」(~18460601)
- 1836年1月14日 04:00|米領ヴァージン諸島/デンマーク| |||<就任>セントクロア総督「Peter Carl Frederik von Scholten」(2期目~18480706)
- 1836年1月18日-09:00|日本| ||天保6年12月|<出版>葛飾北斎「画本千字文」
- 1836年1月18日-07:00|ベトナム| ||越南・明命16年12月|越南の明命帝、キリスト教宣教師の布教活動禁止
- 1836年1月22日-09:30|オーストラリア| |||南オーストラリア会社設立
- 1836年1月22日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ステファン・レムナント・チャップマン卿」(2期目~18390412)
- 1836年1月26日-09:30|オーストラリア| |||ランス・ダウン橋、30メートルのアーチ橋、リヴァプール郊外に開通
- 1836年1月26日-09:00|日本|東京都品川区|天保6年12月9日|<仙石騒動>幕府、但馬出石藩筆頭家老・仙石左京を獄門に処す
- 1836年1月26日-09:00|日本|兵庫県朝来市|天保6年12月9日|<滅封>但馬出石藩58000石「仙石久利」家中混乱⇒3万石(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1836年1月26日-09:00|日本|島根県浜田市|天保6年12月9日|<交替>石見浜田藩6万石「松平康任」強制隠居⇒次男「松平康爵」が継ぐ(⇒翌年3月12日、陸奥棚倉藩6万石に移封)
- 1836年1月30日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保6年12月13日|取り締まりの強化を不満として唐人が暴動をおこす。唐館内の役所をこわし門を破る。唐人騒擾/肥前、大村、筑前浜が唐館内に入り鎮圧する。185人を逮捕し、うち75人を大村に禁固。他は許す→のち船主らの哀訴により18人を残して他は放免
- 1836年2月-02:00|南アフリカ| |||<就任>フィリリス酋長(カフティン)「アブラハム・コック」(~1837年7月)
- 1836年2月3日-01:00|スペイン| |||スペイン、メデヤカハル蔵相、永代所有財産解放令を布告
- 1836年2月4日-01:00|イタリヤ| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「ペリザーリョ」》
- 1836年2月5日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「セルゲ・ナチオ・ホルヘス」(~6.7)
- 1836年2月6日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Joao Agostinho Gervis de Athoquia」(~5.14)

1840迄 (2602件)

- 1836年2月7日 05:00|ベル| |||<就任>ベル共和国大統領「ルイス・セ・テ・オルゴソ」(~8.11)
- 1836年2月14日-09:00|日本|東京都千代田区|天保6年12月28日|<就任>大老「井伊直亮」(~天保12年5月13日)
- 1836年2月17日-09:00|日本| ||天保7年|<天保の大飢饉>この年、各地で飢饉/特に奥羽では死者十万人に及ぶ
- 1836年2月17日-09:00|日本| ||天保7年1月|<死去>3代浅尾為十郎(57歳)歌舞伎役者
- 1836年2月17日-09:00|日本| ||天保7年1月|<出版>葛飾北斎「絵本魁」「諸職絵本新雛形」
- 1836年2月17日-09:00|日本| ||天保7年1月|<出版>京都の菱川清春「一休諸国物語図会」
- 1836年2月17日-09:00|日本| ||天保7年1月|<出版>長谷川雪旦「江戸名所図会」四巻より七巻
- 1836年2月20日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「トミンゴス・ステ・サルダニャ・オリベイラ・エ・ダウ」(~8.21没)
- 1836年2月22日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第17代首相「アドルフ・ティエール」オルアニスト(~9.6)
- 1836年2月24日 00:00|アイルランド/デンマーク| |||<就任>アイルランド総督代行「トルドゥル・スヴェンビヤルソン」(~5.25)
- 1836年2月25日 06:00|アメリカ| |||コルトが6発装填のリボルバー拳銃を発明し特許を取得
- 1836年2月27日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ共和国暫定大統領「セ・フスト・コロシハ」(18370401まで代行~18370419)
- 1836年2月29日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Dominique Jacques de Eerens」(~18400530死去)
- 1836年3月2日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス共和国会議議長「Richard Ellis」(~17日)
- 1836年3月2日 06:00|ベリーズ/イギリス| |||<就任>ベリーズ居留地管理者代行(ジャマイカの知事に従属)「ジョン・クラント・アンダーソン」(~1837年1月)
- 1836年3月2日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||メキシコ領テキサスの住民が、メキシコからの独立宣言を採択し、テキサス共和国となる/「ヘット・G.ハートネット」を暫定大統領に選出
- 1836年3月3日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「ハドレ・カステイアノ・ホセ・アス」(~18370312)
- 1836年3月4日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド総督(イギリス東インド会社)「オーランド・男爵(18391211よりオーランド・伯爵)ジョージ・エテン」(~18420228)
- 1836年3月5日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>イギリス領セントヘレナ総督「ジョージ・ミドルトン」(~18420106)
- 1836年3月6日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Ange Rene Armand, baron de Mackau」(~1838.1)
- 1836年3月6日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||「デ・ビークロケット」に率いられた182名のフロンティアたちが、アラモ砦で3000人のメキシコ正規軍を相手に戦い全滅する(アラモ砦の戦い)クロケット49歳(誕生:17860817)
- 1836年3月7日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「デ・イゴ・フェルナンデス・ガイジェル・イ・コナ」(~1838年5月)
- 1836年3月17日 04:00|ホリビア/ベル| |||サンタクルス将軍、ベルに侵入しこれを併合/2つの自治州(北ベル[オルゴソ大統領]と南ベル[ラモン・エレラ大統領])に再編成/ベル・ホリビア連合を結成/ホリビア大統領にホセ・ミゲル・デ・ベラスコ将軍が就任
- 1836年3月17日 05:00|ベル| |||<就任>南ベル議会議長代行「ホセ・ニコラス・フェルナンデス・デ・ビエラ・イ・フロレス・テル・カンボ」(~19日)
- 1836年3月17日 05:00|ベル| |||<就任>南ベル国家最高保護者「ホセ・アントレス・デ・サンタクルス・ビシヤビセンシオ・イ・カラマナ」(⇒18361028、ベル・ホリビア連邦最高保護者~18390220)
- 1836年3月17日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス共和国大統領「David Gouverneur Burnet」(~10.22)
- 1836年3月19日 05:00|ベル| |||<就任>南ベル国閣僚評議会議長「ファン・ピオ・デ・トリスタン・イ・モスコ・カラサ・イ・ムスキ」(~1837年)
- 1836年3月22日 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ副総督代行「ジョン・パーカー」(~8.31)
- 1836年3月22日-09:00|日本|東京都墨田区|天保7年2月6日|<大相撲>天保7年2月場所[江戸本所回向院](6日間)幕内優勝:(東前1)鰐石,5勝0敗1休
- 1836年3月22日-08:00|中国| ||清・道光16年2月6日|湖南で瑶族の藍正樟が反乱を起こす
- 1836年3月23日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラド・ロイス民政知事「Teotonio de Ornelas Bruges Paim da Camara」(1期目~5.4)
- 1836年3月27日 07:00|メキシコ/アメリカ| |||メキシコ軍のゴリアド虐殺,多くのテキサス軍戦争捕虜を虐殺
- 1836年3月28日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣代行「ステファン・ステファノヴィ」(~18390226)
- 1836年3月29日-01:00|ドイツ| |||<初演>グイヘルム・リヒャルト・ワーグナー《歌劇「恋愛禁制、またはパレルモの修道女」》
- 1836年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・ベネデット・ベルツツィ」「ピエール・アントニオ・ダ・ミアニ」
- 1836年4月1日-09:00|日本|東京都千代田区|天保7年2月16日|<就任>老中「脇坂安薫」(~天保12年2月24日)
- 1836年4月11日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ総督「Francois Dominique Laurens de Choisy」(~18371027)
- 1836年4月11日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天保7年2月26日|<死去>肥前唐津藩6万石「小笠原長会」(27歳)⇒養子「小笠原長和」が継ぐ(⇒天保10(1839)年10月23日、20歳で死去)
- 1836年4月13日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス| |||<就任>アンティグア総督代行「ハリー・ライト」(~1837年)
- 1836年4月19日-04:00|ロシア| ||ロシア暦4月7日|ニコライ・ゴゴリの喜劇「検察官」が、アレクサンドル劇場で上演される
- 1836年4月20日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<死去>リヒテンシュタイン公「ヨハン1世・ヨーゼフ」
- 1836年4月20日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン公「アロイス2世」(~18581112没)
- 1836年4月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第5代首相「アントニオ・セ・サ・マヌエル・エ・メネズ・セウ・エリム・デ・ノニャ」(1期目~9.10)

1840迄 (2602件)

- 1836年4月20日-09:00|日本| ||天保7年3月5日|<死去>桂宮節仁親王(4歳) 皇族
- 1836年4月21日 06:00|アメリカ/テキサス| ||サン・ハント(現ヒューストン近郊)の戦い/ヒューストン将軍指揮下のテキサス軍が奇襲攻撃/メキシコ軍は殲滅
- 1836年4月21日-09:00|日本| ||天保7年3月6日|<死去>初代津山検校(不明) 地歌三味線家
- 1836年4月24日 04:30|ベネズエラ| ||<就任>ベネズエラ共和国大統領代理「アントニオ・ナバルテ・ビメンテル」(2期目~18370120) PC
- 1836年4月25日-09:00|日本|愛媛県宇和島市|天保7年3月10日|<死去>伊達村寿(74歳) 前伊予宇和島藩主
- 1836年4月27日-09:00|日本|群馬県館林市|天保7年3月12日|<移封>陸奥棚倉藩6万石「井上正春」⇒上野館林藩6万石(⇒弘化2(1845)年11月晦日、遠江浜松藩に移封)
- 1836年4月27日-09:00|日本|島根県浜田市|天保7年3月12日|<移封>上野国館林藩61000石「松平斉厚」⇒石見浜田藩61000石(⇒天保10(1839)年11月5日、死去)
- 1836年4月27日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|天保7年3月12日|<移封>石見浜田藩6万石「松平康爵」⇒陸奥棚倉藩6万石(嘉永7(1854)年9月16日、隠居)
- 1836年4月30日 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリブ諸島州暫定市民知事「Mariano Cadenas」(~同年)
- 1836年5月2日 05:00|ベルギー| ||<就任>北ベルギー国閣僚評議会議長「セルマリア・ガルト・アーノ・イ・メント・サ」(~8.17)
- 1836年5月4日 01:00|アンリス諸島/ポルトガル| ||<就任>アングラ・ラ・ロイスモ民政知事「Antonio Pedro de Brito Vila Lobos」Mil(~9.14)
- 1836年5月7日-01:00|ドイツ| ||<死去>ドイツの作曲家ブルクムラー/26歳(誕生18100208)
- 1836年5月8日-09:00|日本|千葉県富津市|天保7年3月23日|<交替>上総佐貫藩16000石「阿部正嵩」隠居⇒養子「阿部正身」が継ぐ(⇒嘉永7(1854)年閏7月25日、隠居)
- 1836年5月12日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|天保7年3月27日|<死去>青山忠裕(69歳) 前丹波篠山藩主、元寺社奉行・若年寄・大坂城代・京都所司代・老中首座
- 1836年5月14日 00:00|ポルトガル| ||<就任>フンチャル地区民政知事「Antonio de Gamboa e Liz」(~18380913)
- 1836年5月14日 07:00|テキサス/アメリカ| ||テキサス共和国政府とテキサス総督サタ・アナ、ヴェラスコ条約に調印
- 1836年5月15日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Francisco Javier Isturiz[穏和党](~18360814)
- 1836年5月15日-09:00|日本| ||天保7年4月|<出版>歌川国貞・歌川国直・蹄齋北馬・歌川国芳・柳川重信・葵岡北溪・喜多武清等の挿画絵本「とふの菅薦」
- 1836年5月15日-09:00|日本|山口県周南市|天保7年4月|<石直し>周防徳山「毛利広鎮」40010石城主格に高直し
- 1836年5月15日-09:00|日本|福井県大飯郡高浜町|天保7年4月1日|大飯郡高浜で火事, 180軒焼失
- 1836年5月22日-03:00|ベラルーシ/ロシア| ||<就任>ウイテプスク、モクシヨフ、スモレンスクのロシア総督「ピョートル・ニコラエヴィッチ・テ・イワコフ」(~1846年)
- 1836年5月22日-09:00|日本| ||天保7年4月8日|<死去>6代岩井半四郎(38歳) 歌舞伎役者
- 1836年5月22日-09:00|日本|東京都|天保7年4月8日|<死去>六代目・岩井半四郎/38才
- 1836年5月28日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ゴードン公・8代ハントリー侯・ノーリッチ伯・ハントリー=インジャー伯「ジョージ・ダンカン・ゴードン」
- 1836年5月28日 00:00|イギリス| ||<就任>9代ハントリー侯「ジョージ・ゴードン」(~18530617死去)
- 1836年6月-05:30|インド| ||バングラ国はジャムに統合
- 1836年6月1日-01:00|イタリヤ| ||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「夜の呼び鈴」》
- 1836年6月4日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天保7年4月21日|<交替>遠江相良藩1万石「田沼意正」隠居⇒長男「田沼意留」が継ぐ(⇒天保11(1840)年7月20日、隠居)
- 1836年6月6日-01:00|ドイツ| ||<死去>ザクセン王「アントン」
- 1836年6月6日-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン王「フリードリヒ・アウグスト2世」(~18540809死去)
- 1836年6月7日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大代行臣「アントニオ・パウリーニョ・デ・アブレウ」(2回目~9.29)
- 1836年6月8日 01:00|アンリス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポンタレガダ民政知事「Jose Joaquim Lopes de Lima」(~9.13)
- 1836年6月10日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの物理学者・数学者アントレ・マリー・アンペール/61歳(誕生17750122)/アンペールの法則を発見し、電流の単位にその名を残した
- 1836年6月11日 04:00|BES諸島/オランダ| ||<就任>ガバ島司令官代理「Edward Beaks, Jr.」(⇒1838.9、司令官~18480127)
- 1836年6月14日-09:00|日本| ||天保7年5月|<出版>一立齋広重「百人一首鐘聲抄」
- 1836年6月14日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保7年5月1日|<死去>橋本宗吉(74歳) 蘭方医、蘭学者/日本の電気学の学術的研究の祖
- 1836年6月15日 06:00|アメリカ| ||<加盟>アカンソ州⇒アメリカ合衆国アカンソ州(25番目)
- 1836年6月16日 00:00|イギリス| ||普通選挙を目指してロンドン労働者協会結成
- 1836年6月23日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランドの哲学者で経済学者ジェームズ・ミル/63歳(誕生17730406)
- 1836年6月23日 06:00|アメリカ| ||ジャクソン、連邦歳入分与法案に署名
- 1836年6月27日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|天保7年5月14日|<交替>駿河小島藩1万石「松平信友」隠居⇒養子「松平信賢」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年4月27日、隠居)
- 1836年6月27日-09:00|日本|山口県|天保7年5月14日|<死去>毛利斉熙(54歳) 前長州藩主
- 1836年6月28日 06:00|アメリカ| ||<死去>アメリカの第4代大統領マーティン/85歳(誕生17510316)

1840迄 (2602件)

- 1836年7月 03:00|ウグアイ| ||ウグアイ前大統領レラによる武装反乱  
1836年7月1日 00:00|セカール/フランス| ||<就任>フランス領セカール総督「ルイ・オーギュスタン・デリック・マラゴワ」(~12.2没)  
1836年7月2日 06:00|アメリカ| ||シヤクソ、郵政省再編法案に署名  
1836年7月4日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「トマス・エヴァンス」(~11.18)  
1836年7月4日 06:00|アメリカ| ||<発足>アメリカ、ウイスコンシン準州、設置  
1836年7月11日-09:00|日本|京都府福知山市|天保7年5月28日|<死去>丹波福知山藩32000石「朽木綱条」(36歳)⇒7月29日、養子「朽木綱張」(⇒慶応3(1867)年2月25日、死去)  
1836年7月24日 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| ||<就任>カーボベルテ 総督「ドミンゴス・コレア・アウカ」(~18370113)  
1836年7月26日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メラ総督「Rafael Delgado y Moreno」(~18381220)  
1836年7月28日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの資産家サウ・ロスチャイルド/58歳(誕生17770916)  
1836年7月29日-01:00|フランス| ||パリのエワール広場に凱旋門が完成  
1836年8月8日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポルトガルの民政知事「Antonio Jose Joaquim de Miranda」(~9.13)  
1836年8月11日 04:00|ボリビア/ペルー| ||ペルー北部もサンタクルスが制圧「北ペルー共和国」を宣言/大統領にホルヘ・コソが就任/刊の保守党政府、ガマ將軍らのペルー亡命政府をうけいれる  
1836年8月11日 05:00|ペルー| ||<就任>北ペルー国家暫定大統領「ルイス・ホセ・デ・ラス・メルテス・デ・ホルヘ・コソ・イ・モンタ・ガリント」(サンタクルス代役) (~16日)  
1836年8月11日 05:00|ペルー| ||<就任>北ペルー閣僚評議会議長「マリア・ノ・テ・シエラ・イ・ベラルテ」(~1837年)  
1836年8月13日 00:00|カリブ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王国カリブ諸島州総司令官「Juan Manuel Pereira y Soto-Sanchez」(~18400117)  
1836年8月14日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Jose Maria Calatrava」進歩党(~18370818)  
1836年8月16日 05:00|ペルー| ||<就任>北ペルー国家最高保護者「ホセ・アントニオ・デ・サンタクルス・ビシヤビセンソ・イ・カラマナ」(⇒18361028ペルー・ボリビア連邦最高保護者~18390217)  
1836年8月20日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官代理「John Alleyne Beckles」(~10.17)  
1836年8月21日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「統治評議会:レオナルド・ホセ・ビレラ/アン・オ・ニョ・カルロス・コウチニョ/フランス子爵フェルナント・ダ・フォンセカ・メスキタラ」(~1837年8月)  
1836年8月23日-01:00|フランス| ||<死去>パリ理工科大教授ナグ・イ/51歳(誕生17850215)/ナグ・イ・ストークスの方程式の力学研究を行った工学者  
1836年8月24日-01:00|イタリア| ||<初演>ガエターノ・ド・セッティ《歌劇「ペトリ、またはスイスの山小屋」》  
1836年8月27日-09:00|日本| ||天保7年7月16日|<死去>吉村孝敬(68歳)絵師  
1836年8月31日 04:00|グレタ/イギリス| ||<就任>グレタ 副総督「カルロ・ジョセフ・トイル」(1回目~1841年)  
1836年8月31日 06:00|アメリカ| ||フィデルムシアの海軍造船所、10時間労働制度獲得  
1836年8月31日-09:00|日本|富山県富山市|天保7年7月20日|<死去>前田利幹(66歳)前越中富山藩主  
1836年9月 03:00|ブラジル| ||ファルビーリヤス、ルヴァアに政府を樹立。ベント・ゴンサルベス・ダ・シルヴァが大統領に就任  
1836年9月2日 05:00|ジャマイカ/イギリス| ||<就任>英領サントピアゴ 総督「ライナルド・スミス卿」(~18390922)  
1836年9月5日-09:00|日本/ロシア|北海道|天保7年7月25日|ロシア船、漂流民を護送し、択捉島へ渡来  
1836年9月6日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第18代首相「ルイ・マティウ・モレ」オルレアニスト(~18390331)  
1836年9月8日 00:00|ポルトガル| ||ポルトガルで22年憲法の復活を要求する九月党のクーデター  
1836年9月10日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国第6代首相「ホセ・マヌエル・イグナシオ・ダ・クニャ・エ・メセス・ポルトガル・ダ・ガマ・エ・ヴァスコテロス・カルネイロ・デ・スザ・エ・ファロ」(~11.4)  
1836年9月10日 03:00|ブラジル| ||ファルビーリヤス、セイバルの戦いで政府軍を撃退  
1836年9月11日-09:00|日本| ||天保7年8月|<出版>葛飾北斎「絵本武蔵鑑」  
1836年9月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポルトガルの民政知事「Antonio Mariano de Lacerda」Mil(~18370715)  
1836年9月13日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポルトガルの暫定民政知事「Jacinto Inacio Rodrigues da Silveira」(~18370715)  
1836年9月14日-09:00|日本|山形県天童市|天保7年8月4日|<死去>出羽国天童藩2万石「織田信美」(44歳)⇒長男「織田信学」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年10月25日、2万3153石)  
1836年9月19日-01:00|ルウェー| ||<就任>ルウェー総督「ヨハン・キヤスパー・ハーマン、グレーブ・アウ・ヴェーデル・ヤルズバルク」(~18400827)  
1836年9月19日 03:00|ウグアイ| ||アルゼンチンの支援を受けたレラ、カリブ海の戦いでレラ軍を打ち破る  
1836年9月25日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>リベリア植民地代理人「アンソニー・デ・イット・ウィリアムズ・シニア」(2回目~18390404)  
1836年9月27日-09:00|日本|山梨県|天保7年8月17日|<天保騒動>甲斐国で起こった百姓一揆/夜半、都留郡上谷村の米穀商襲撃から始まった事件は甲州街道沿い22カ村の農民約2000人が行動を起こすに及んで本格化  
1836年9月29日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ゲスタフ・アドルフォ・デ・アギラール・パントハ」(~11.1)  
1836年10月 03:00|アルゼンチン/ボリビア/チリ/ペルー| ||刊政府、サンタクルスに対し宣戦布告/アルゼンチンもペルー・ボリビア連合に対し宣戦布告/サンタクルス軍、アルゼンチンの派遣軍を破る  
1836年10月1日-01:00|マルタ/イギリス| ||<就任>イギリス領マルタ総督「ヘンリー・ハウグ・イリ」(~1843年)  
1836年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・ゴジ」/「ピエール・マッテオ・ペルティ」  
1836年10月1日-09:00|日本|東京都千代田区|天保7年8月21日|<交替>田安德川家「徳川斉匡」隠居⇒養子「徳川斉荘」(第11代將軍「徳川家斉」の十二男)が継ぐ(⇒天保10(1839)年3月26日、尾張徳川家を相続)

1840迄 (2602件)

- 1836年10月1日-05:00|日本|山梨県|天保7年8月21日|<天保騒動>未明, 笹子峠を越えて国中に入ると本格的な打ちこわしに転じる
- 1836年10月2日-09:00|日本|山梨県|天保7年8月22日|<天保騒動>山梨郡熊野堂村の豪商奥右衛門を襲撃する時にはその数万に及び完全なる暴徒と化した
- 1836年10月3日-09:00|日本|福島県いわき市|天保7年8月23日|<死去>内藤政環(52歳)前陸奥湯長谷藩主
- 1836年10月4日 03:00|ブラジル | ||<死去>ペント・ゴンサレス, ファンファの戦いに敗れ囚われの身になる
- 1836年10月4日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天保7年8月24日|<死去>田沼意正(78歳)前遠江相良藩主、元若年寄・側用人
- 1836年10月6日-09:30|オーストラリア| ||『スワン・リヴァー・ガゼット』創刊。労働者の権利を主張する最初の新聞/政府の反対により、1838年廃刊
- 1836年10月6日-03:00|日本|山梨県|天保7年8月26日|<天保騒動>朝, 諏訪藩兵と御嶽山神主の出動によって漸く事件は鎮圧
- 1836年10月13日-09:00|日本|東京都千代田区|天保7年9月4日|<解任>老中「本荘宗発」
- 1836年10月14日-09:00|日本|東京都台東区|天保7年9月5日|<死去>最上徳内(83歳)探検家/蝦夷地調査など
- 1836年10月17日-09:00|日本|山口県萩市|天保7年9月8日|<死去>長州藩369000石「毛利斉元」(43歳)⇒12月10日、養子「毛利斉広」が継ぐ(⇒12月29日、23歳で死去)
- 1836年10月18日 04:00|バルバドス/イギリス| ||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「Evan John Murray Mac Gregor」(~18410614死去)
- 1836年10月20日-05:30|インド | ||<就任>カプurlラ国ラジャ「ニハル・シン」(~18520913没)
- 1836年10月22日 06:00|アメリカ | ||<就任>テキサス共和国大統領「Samuel "Sam" Houston」(1期目~18381210)
- 1836年10月22日 06:00|アメリカ | ||テキサス軍を率いたサム・ヒューストンが、テキサス共和国の大統領に選出される
- 1836年10月25日-01:00|フランス | ||ジャック=ニコラス=イットルフによって設計し直された「コンコルド 広場」(8区)に、現在の「オペラ座」が建てられる/1830年、エジプトの副王メフメト・アリから贈られた「ルクソール神殿」の「オペラ座」2基のうちの1基、220トン
- 1836年10月28日 00:00|カリブ諸島/スペイン | ||<就任>スペイン王国カリブ諸島州市民知事「Jose Manuel Diez Imbrechts」(~1838年)
- 1836年10月28日 04:00|ボリビア/ペルー | ||サンタクルス, リマ政府を追われたホルヘ・ゴーンとともにペルー=ボリビア連合を成立させる/米英仏三国はこれを承認/サンタクルスが、三人の「臨時大統領」の上に立つ「最高守護官」(グロリアトル)に指名され、その地位は終身および世襲
- 1836年10月30日-01:00|フランス | ||ルイ・フィリップが、7月王政に対する反乱を起こすが、失敗してアメリカに逃亡
- 1836年10月30日-09:00|日本|愛知県|天保7年9月21日|三河の加茂郡の農民が米価・諸物価引き下げを要求し蜂起
- 1836年10月31日-01:00|ドイツ | ||<死去>ロイス=グライツ侯「ハインリヒ19世」
- 1836年10月31日-01:00|ドイツ | ||<就任>ロイス=グライツ侯「ハインリヒ20世」(~18591108死去)
- 1836年11月-01:00|ポーランド | ||<初演>フレデリック・フランソワ・ショパン《前奏曲第6番Op. 28-6》
- 1836年11月 00:00|セネガル | ||<就任>フククトロ統治者統治者(アルマニ)「ハム・バリー」(1回目~1837年9月)
- 1836年11月1日 03:00|ブラジル | ||<就任>ブラジル帝国主席大臣「マヌエル・ダ・フォンセカ・リマ・エ・シルバ」(~18370318)
- 1836年11月1日 04:00|米領ヴァージン諸島/イギリス | ||<就任>セントトマス島・セントジョン島総督「Johannes Sobotker」(2期目~18480708)
- 1836年11月2日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保7年9月24日|大坂で米価が高騰し打ち壊しが起る
- 1836年11月2日-09:00|日本|新潟県胎内市|天保7年9月24日|<死去>越後黒川藩1万石「柳沢光被」(53歳)⇒養子「柳沢光昭」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年閏4月20日、隠居)
- 1836年11月4日 00:00|ポルトガル | ||<就任>ポルトガル王国首相「ホセ・ベナルテ・イノ・デ・ポルトガル・エ・カストロ・エ・テレス・ダ・シルバ」(~5日)
- 1836年11月5日 00:00|ポルトガル | ||<就任>ポルトガル王国第7代首相「ベナルト・デ・サ・ノゲイラ・デ・フィゲイロ」(1期目~18370601)
- 1836年11月5日-09:00|日本 | ||天保7年9月24日|<死去>二川松陰(70歳)書家、歌人、福岡藩士
- 1836年11月6日-01:00|フランス | ||<死去>元フランス国王シャルル10世[17571009生](享年79)アドリア海に近い保養地ゴリツア(現在はイタリア領)でコレラに罹り
- 1836年11月6日 03:00|ブラジル/ウルグアイ | ||南リオグランデ州とサンタカタリナ州のファルビーニャス, ウルグアイと共同しリオグランデ共和国成立を宣言
- 1836年11月6日 06:00|カナダ | ||モントリオールでトリー党の叛乱
- 1836年11月8日 00:00|イギリス | ||(7日~)チャールズ・グリンが気球「ロイヤル・ウオックスホルム号」でロンドンからドイツのヴァイルブルまでの770kmを飛行
- 1836年11月8日 06:00|アメリカ | ||ウアン・ヒューレン(54)がアメリカ第8代大統領に選出される
- 1836年11月10日-01:00|ノルウェー | ||<就任>ノルウェー首席国務長官「トマス・ファスティンク」(~18391017)
- 1836年11月11日 00:00|イギリス | ||<死去>5代ダンモア伯「ジョージ・マレイ」
- 1836年11月11日 00:00|イギリス | ||<就任>6代ダンモア伯「アレクサンダー・エドワード・マレイ」先代の息子(~18450715死去)
- 1836年11月11日 04:00|ボリビア/ペルー | ||刊の保守党政府, ガマラ将軍らのペルー亡命政府をうけいれサンタクルスに対し宣戦布告
- 1836年11月11日-09:00|日本|東京都墨田区|天保7年10月3日|<大相撲>天保7年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東小结)鰐石, 7勝0敗1分2休
- 1836年11月18日-08:00|マレーシア/シンガポール/イギリス | ||<就任>イギリス領海峡植民地総督「サミュエル・ジョージ・ボナム」(~1843

1840迄 (2602件)

年5月)

- 1836年11月18日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「ヘンリー・フレデリック・Bouverie卿」(~18430713)
- 1836年11月18日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラド・エロイス民政知事「Teotonio de Ornelas Bruges Paim da Camara」(2期目~18390927)
- 1836年11月19日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「カレーの包囲」》
- 1836年12月-05:30|インド| |||<死去>トルポル国支配者(マハラジャ)「ホ・ハブ・シン」
- 1836年12月-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド臨時政府議長「ジョアン・カブラル・デ・エステイフェイラ/アントニオ・マリア・デ・モロ/ホアキン・アントニオ・デ・モライス・カネイロ」(~1837年4月)
- 1836年12月-05:30|インド| |||<即位>トルポル国支配者(マハラジャ)「バグワント・シン」(~18730207没)
- 1836年12月-01:00|スペイン| |||ルチャナのたたかひ。エスパルtero將軍の率いる政府軍がカリスタに勝利
- 1836年12月 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルが奴隷貿易を禁止
- 1836年12月1日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国國務長官「エンドリック・ジェイクブ 男爵ファン・ドールン・ファン・ヴェストカペレ」(~18401231)
- 1836年12月2日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>リガース 司令官「アントニス・ヘントリック・ポトキータ」(~18370417)
- 1836年12月2日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト=コースト司令官代行「ヘントリクス・ヤコブ・ストン林・イジヤ」(~18371028没)
- 1836年12月5日-09:00|日本|福井県坂井市|天保7年10月27日|<死去>有馬蒼純(68歳)前越前丸岡藩主
- 1836年12月9日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1836/11/27|ロシアの作曲家ミハイル・イヴァーノウ・イチ・グリンカ(32)のオペラ「皇帝に捧げし命」が帝室大劇場で上演され、成功
- 1836年12月12日-09:00|日本|福島県いわき市|天保7年11月5日|<交替>陸奥泉藩2万石「本多忠知」隠居⇒三男「本多忠徳」が継ぐ(⇒万延元(1860)年6月12日、死去)
- 1836年12月22日 07:00|メキシコ/スペイン| |||スペイン、メキシコと平和友好条約を結び、メキシコの独立を承認
- 1836年12月28日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>南オーストラリア植民地総督「ジョン・ハインツ・マーシュ」(~18380716)
- 1836年12月28日-09:30|オーストラリア| |||南オーストラリアが自由移民植民地として成立
- 1836年12月28日 04:00|ホリビア/刊/ベル| |||刊議会、ヘル・ホリビア連合に対し宣戦布告
- 1836年12月29日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ルイ・ロラン・オギュスト・ギエ」(~18370914)
- 1836年12月29日-09:00|日本|広島県竹原市|天保7年11月22日|賀茂郡竹原町民1000余人、米商の打ちこわしに及ぶ
- 1836年12月30日 00:00|イギリス| |||<死去>3代モントローズ公「ジョージ・エイムズ・クラム」
- 1836年12月30日 00:00|イギリス| |||<就任>4代モントローズ公「ジョージ・エイムズ・クラム」(~18741230死去)
- 1836年12月30日-09:00|日本|長崎県大村市|天保7年11月23日|<交替>肥前大村藩24973石「大村純昌」隠居⇒四男「大村純顯」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年12月隠居)
- 1837年-12:00|ウオリス・ツツナ| |||<就任>ウエア総理大臣「Honorio」
- 1837年-07:00|タイ| |||<就任>ランハン国主(チャオ)「カティヤ」(~1838年)
- 1837年-07:00|タイ| |||<即位>ラムフン国主「カムタン」(~1840年)
- 1837年-05:45|ネーデル| |||<死去>マスタング王「ジャム・デハル・ダグララトス」
- 1837年-05:45|ネーデル| |||<即位>マスタング王「クントガ・ノルブ」(~1857年没)
- 1837年-05:30|インド| |||<死去>カラウリ国マハラジャ「ハルバクシュ・ハル」
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>アジヤカール国ラジャ「マト・シン」(~1849年没)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>アスガル国ラジャ「カラン・ブハネシュワル・ハワルタ・ハトナイク」(~1862年)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>コホ・ヒール国共同摂政「シグエン・ラ・ナヤン」(~1839年)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>セイロン統治者(ターケル)「シエンマリ2世マダルシンジ」(~1839年)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>セイラケラ国ラジャ「チャクラダル・シン」(~1883年没)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>ポール国統治者(パント・サチフ)「チムジ・ラオ3世・ラガナト・ラオ」(~18710212没)、摂政「シュリマント・ガンバ・イハブ」(~1839年没)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>ラックナウ国摂政「デインゴス・グラーブ・フスタン・ジン」(~1839年)
- 1837年-05:30|インド| |||<就任>リマディ国統治者(タクル・サーヒブ)「ハルハムジ2世ホーシラジ」(~18560108没)
- 1837年-05:30|インド| |||<即位>カラウリ国マハラジャ「フラタップ・ハル」(~1849年没)
- 1837年-05:00|パキスタン| |||<死去>ギルギット国摂政「カールのタヒル・カーン」
- 1837年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「エスカンダル・カーン」(1838年まで摂政~1840年没)
- 1837年-05:00|パキスタン| |||<就任>フトラル国統治者(ミフタル)「シャー・モハマト・アフサル2世」(~1853年没)
- 1837年-05:00|パキスタン| |||<就任>ナガル国ミル・タム「ラヒム・カーン2世」(~1839年没)
- 1837年-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官「アーサー・ウィルソン」(~1839年2月)
- 1837年-03:00|エチオピア| |||<即位>ソスワニ・スルタン国スルタン「サリム・ベーン・アラウイ」(~1852年)
- 1837年-03:00|エチオピア/エジプト| |||エジプトはエチオピアを占領(~同年)
- 1837年-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッシ「フスレフ・ハシヤ」(~12月)
- 1837年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>マリ統治者(マンボ)「チビ2世マツウェル」(~1865年)
- 1837年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>ルバ王国ムワウエ「ンダエム・ジンガ」篡奪⇒「イルカ・カペレ」(~1864年)
- 1837年-02:00|ジンバブエ| |||南部アフリカでンデベレ王国が建設
- 1837年-01:00|ベナン| |||<死去>ポルガのニッキ王国支配者「セロ・カエ3世タルハ・ラ・ヤマクワノ」
- 1837年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ暫定総督「Pedro Valinan」(~同年)⇒暫定総督「Bernardo Tacon y R

1840迄 (2602件)

- osique] (~同年) ⇒ 総督「Jose Maria Rodriguez de Vera」 (~1844年)
- 1837年-01:00 | イタリア | ||| <就任> ハンツッティ伯「Henri Francois Louis Gabriel Guisan de Felice」 (~1895年)
- 1837年-01:00 | チュニジア | ||| <就任> サイン朝大法官「ムスタファ・ハズ・ナタル」 (~18731022) 無所属
- 1837年-01:00 | ベナン | ||| <就任> ホルグのニッキ王国支配者「ケ・ラフィア2世セル・ヨロ」
- 1837年-01:00 | ナイジェリア | ||| <即位> ヲヨ王国「アティハ・アトバ・テレ、アラ・フィン」 (~1859年)
- 1837年 00:00 | トーゴ | ||| <就任> アグバナンキン摂政「ウォリー・ソツウ・アランゴ」 (~1841年)
- 1837年 00:00 | サントメ・プリンシペ / ホルトガル | ||| <就任> サントメ・プリンシペ 総督「Leandro Jose da Costa」 (1期目 ~1838年)
- 1837年 00:00 | セカール | ||| <就任> シン統治者 (ブール・シン) 「ニヤカント・フェン シラン・ジ ヨコイ・フェイ」 (?) ⇒ 「アマクンバ・ムホ・ジ」 (~1839年)
- 1837年 00:00 | フェロ諸島 / デンマーク | ||| <就任> フェロ諸島知事 (トスハウ) 「Christian Ployen」 (~18481231)
- 1837年 00:00 | セカール | ||| <就任> ブントゥ統治者 (アルマミ) 「サーダ・アマデ・イ・アイサー・タ・シ」 (~1851年)
- 1837年 04:00 | アルバ / オランダ | ||| <就任> アルバ 島指導者代理「Gerard Jan van Spall」 (~1839年)
- 1837年 04:00 | アンティグア・バボバ / イギリス | ||| <就任> アンティグア 総督「ウィリアム・マクヒーン・ジョージ・コルブ ルック卿」 (~18400730)
- 1837年 04:00 | セントクリストファー・ネイビス / イギリス | ||| <就任> イギリス植民地セントクリストファーズ 副総督代行「ヘンリー・ライト」 ⇒ 副総督「ヘンリー・ジョージ・マクラウド」 (~1839年)
- 1837年 04:00 | トミニカ国 / イギリス | ||| <就任> イギリス領トミニカ副総督「ヘンリー・ライト」 (~1838年)
- 1837年 04:00 | 英領ヴァージン諸島 / イギリス | ||| <就任> バージン諸島主席「William Rogers Isaacs」 (~1838. 4死去)
- 1837年 05:00 | ヘル | ||| <就任> 南ヘル国閣僚評議会議長「ホセ・ホキン・カシモ・オラニエタ・グエメス」 (~1838年)
- 1837年 06:00 | カタ / イギリス | ||| <就任> イギリス領両カタ 総督「ジョン・コルホーン卿」 (~1838年)
- 1837年1月 04:00 | 刊 / ヘル | ||| プランコ・エンカランダ 指揮下の刊軍2千8百名は、ヘル南部イスライに上陸、アレキアを占領
- 1837年1月 06:00 | ベリーズ / イギリス | ||| <就任> ベリーズ 居留地管理者 (ジャマイカの知事に従属) 「アチルト・アレクサンダー・マクトナルド」 (2回目 ~1843年6月)
- 1837年1月1日-02:00 | イスラエル / シリア・アラブ / レバノン | ||| イスラエル、シリア、レバノン、地震M7. 0津波、死者5700
- 1837年1月1日-01:00 | スイス | ||| <就任> スイス連合国会議長「ヨセフ・カール・ザバー・レオポルト・レオターガー・アムリン」 Lib (4期目 ~12. 31)
- 1837年1月1日 06:00 | ホンジュラス | ||| <就任> 中央アメリカ連邦共和国ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・マリア・マルティネス・サナス」 (1回目 ~5. 28)
- 1837年1月2日-09:00 | 日本 | 山口県岩国市 | 天保7年11月26日 | <死去> 周防岩国藩6万石「吉川経禮」 ⇒ 翌年1月19日、弟「吉川経章」が継ぐ (⇒ 天保14 (1843) 年11月19日、死去)
- 1837年1月7日-09:00 | 日本 | 香川県高松市 | 天保7年12月1日 | 高松城下の安養寺より出火、福田村・塩屋町に類焼して30軒を焼失
- 1837年1月8日 00:00 | キニアビヤ / ホルトガル | ||| <就任> ビヤ総督「ホセ・アントニオ・フェレイラ・デ・マルティンス」 (~3月)
- 1837年1月11日-09:00 | 日本 | 茨城県筑西市 | 天保7年12月5日 | <交替> 常陸下館藩2万石「石川総承」 隠居 ⇒ 長男「石川総貨」が継ぐ (⇒ 嘉永2年9月12日 (18491027)、死去)
- 1837年1月13日 01:00 | カボベルデ / ホルトガル | ||| <就任> カボベルデ 総督「ホセ・フェレイラ・マリニョ」 (2回目 ~1840年3月)
- 1837年1月14日-01:00 | ルウェー | ||| ルウェーで地方自治法が施行
- 1837年1月14日 04:00 | フエルトリコス / スペイン | ||| <就任> フエルトリコ知事兼提督「Francisco Javier de Moreda y Prieto」 (~1838. 3)
- 1837年1月16日-09:00 | 日本 | 石川県加賀市 | 天保7年12月10日 | <死去> 加賀大聖寺藩7万石「前田利之」 (52歳) ⇒ 翌年2月13日、次男「前田利極」が継ぐ (⇒ 天保9 (1838) 年9月12日、死去)
- 1837年1月17日-02:00 | 南アフリカ / イギリス | ||| <就任> ウィンブルク司令官・総督「アンドリー・ヘントリック・ポトギーター」 (1回目 ~18380901)
- 1837年1月17日-02:00 | 南アフリカ / イギリス | ||| ウィンブルクの町が設立される
- 1837年1月19日 00:00 | イギリス | ||| <死去> 7代フリマス伯「アンドリュー・ウィンザー」
- 1837年1月19日 00:00 | イギリス | ||| <就任> 8代フリマス伯「ヘンリー・ウィンザー」 (~18431208死去廃絶)
- 1837年1月20日 00:00 | イギリス | ||| <死去> 3代アラン伯「アーサー・サンダー・スゴア」
- 1837年1月20日 00:00 | イギリス | ||| <就任> 4代アラン伯「フィリップ・ヨークゴア」 (~18840625死去)
- 1837年1月20日 04:30 | ベネズエラ | ||| <就任> ベネズエラ共和国大統領代理「ホセ・マリア・カレニョ・ブランコ」 (2期目 ~3. 11) PC
- 1837年1月25日 06:00 | ニカラガア | ||| <就任> 中央アメリカ連邦共和国ニカラガア首長「ホセ・ヌニェス」 (2回目 ~18390105)
- 1837年1月26日 06:00 | アメリカ | ||| <加盟> ミシガン準州 (以前の北西部領土) ⇒ アメリカ合衆国ミシガン州 (26番目)
- 1837年1月27日 00:00 | イギリス | ||| <就任> 初代エフィンガム伯「ケネス・ハワード」 (~18450213死去)
- 1837年1月27日-09:00 | 日本 | 香川県丸亀市 | 天保7年12月21日 | 丸亀城下で火事、作事棟焼失
- 1837年1月31日-09:00 | 日本 | 広島県福山市 | 天保7年12月25日 | <交替> 備後福山藩10万石「阿部正寧」 隠居 ⇒ 弟「阿部正弘」が継ぐ (⇒ 安政4 (1857) 年6月17日、急死)
- 1837年2月-03:00 | イエメン | ||| <即位> ラッシー朝イマム「アンザール・アフタラー」アルマフディ・アッハスの曾孫 (~1840. 2死去)
- 1837年2月 00:00 | イギリス | ||| テイクス「オリバー・トウイスト」月刊分冊 (~1839年)
- 1837年2月 05:00 | ハマ / イギリス | ||| <就任> ハマ植民地総督代行「ジョセフ・ハンター」 (2回目 ~8. 15)
- 1837年2月1日-01:00 | ドイツ | ||| <死去> メクレンブルク・シュヴァーレン大公「フリートリヒ・フランツ1世」
- 1837年2月1日-01:00 | ドイツ | ||| <即位> メクレンブルク・シュヴァーレン大公「パウル・フリートリヒ」フリートリヒ・フランツ1世の孫息子 (~18420307死去)
- 1837年2月4日-09:00 | 日本 | 山口県萩市 | 天保7年12月29日 | <死去> 長州藩369000石「毛利齊広」 (23歳) ⇒ 翌年、養子「

1840迄 (2602件)

毛利敬親が継ぐ(⇒文久3(1863)年4月、藩庁を萩城から山口城に移転)

- 1837年2月6日 00:00|イギリス| |||<死去>2代ドモナド侯「チャールズ・ムーア」
- 1837年2月6日 00:00|イギリス| |||<就任>3代ドモナド侯「ヘンリー・フランシス・シーモア・ムーア」(~18920629死去廃絶)
- 1837年2月7日-01:00|スウェーデン| |||<死去>元スウェーデン王「グスタフ4世」58歳(誕生17781101)
- 1837年2月10日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1837/1/29|<死去>ロシアの詩人プーシキンが決闘によって/37歳(誕生17990606)
- 1837年2月12日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督「ダムレモン伯爵シャルル・マリ・ド・ネ」(~10.13没)
- 1837年2月14日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「イグナチオス・フォン・ルートヴィヒ」(~12.20)
- 1837年2月18日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ニゼッティ《歌劇「トロイのヒーロー(ヒーロー・トロイ)」》
- 1837年2月19日-09:00|日本|東京都墨田区|天保8年1月15日|<大相撲>天保8年1月場所[江戸本所回向院](10日間)  
幕内優勝:(西大関(横綱))稲妻,5勝0敗1分4休
- 1837年3月 06:00|グアテマラ| |||グアテマラで農民が反乱
- 1837年3月1日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ暫定最高責任者「ルネ・ホアキン・モラ・フェルナンデス」(~4.17)
- 1837年3月3日 06:00|アメリカ| |||米国,テキサス共和国承認
- 1837年3月4日-08:00|シンガポール/イギリス| |||<就任>イギリス領海峡植民地シンガポール駐在評議員「トマス・チャーチ」(~18560920)
- 1837年3月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第8代大統領「マーティン・ヴァン・ビューレン」民主党(~18410303)
- 1837年3月6日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ウクライナのロシア総督「Matvey Matveyevich Muromtsyov」(~18430131)
- 1837年3月6日 06:00|アメリカ| |||ジェサップ 将軍、セミノール族首長との条約締結
- 1837年3月7日-07:00|ラオス| |||<死去>ルアンパбан王国国王「マントウラート」
- 1837年3月7日-07:00|ラオス| |||<就任>ルアンパaban摂政「ウンクオー」(~1838年)
- 1837年3月8日-08:00|マレーシア| |||<死去>トンガヌ・スルタン「トゥアソク・マンスール・シャー2世、イブニ・アル=マルフム・スルタン・ザイナル=アビディン」
- 1837年3月8日-08:00|マレーシア| |||<即位>トンガヌ・スルタン「トゥアソク・ムハンマド・シャー1世、イブニ・アル=マルフム・スルタン・マンスール・シャー」(~18391104)
- 1837年3月8日-05:30|インド| |||<就任>シンド国ラジャ「サラフ・シン」(~18640126没)
- 1837年3月10日-09:00|日本|長野県松本市|天保8年2月4日|<死去>信濃松本藩6万石「松平光年」(57歳)⇒3月30日、甥「松平光庸」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年10月22日、隠居)
- 1837年3月11日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「カルロス・バレンティン・ルネ・ラ・ソルダット・アントニオ・テ・サラメント・スプレット・イ・ヘレス・デ・アリスキエタ」PC(1期目~18390201)
- 1837年3月12日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「アントニオ・ルネ・デ・メロ・デ・サルダニャ」(~18370801)
- 1837年3月13日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ暫定総督「オリア・ペレイラ・バレット」(1回目~18390727)
- 1837年3月17日 06:00|アメリカ| |||テキサス共和国、憲法採択
- 1837年3月17日-09:00|日本| |||天保8年2月11日|<死去>大窪詩仏(71歳)漢詩人
- 1837年3月18日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「アントニオ・パウリーノ・リネ・デ・アブレウ」(3回目~5.16)
- 1837年3月18日 03:00|ブラジル| |||摂政府、「出版の自由に関する犯罪」を罰する政令を布告
- 1837年3月23日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天保8年2月17日|重須本門寺庫裡焼失
- 1837年3月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年2月19日|<大塩平八郎の乱>大坂で大坂町奉行所の元与力大塩平八郎(中齋)とその門人らが江戸幕府に対し反乱/朝、大塩平八郎自らの屋敷に火をかけ決起/大塩一党は、難波橋を渡り、北船場で鴻池屋などの豪商を襲い、近郷の農民と引張り込まれた大坂町民とで総勢300人ほどの勢力となった/彼らは船場の豪商家に大砲や火矢を放ったが、いたずらに火災(大塩焼け)が大きくなるばかりで、奉行所の兵に半日で鎮圧された
- 1837年3月25日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年2月19日|<大坂天保8年の大火「大塩焼:大塩平八郎の乱」>砲撃された家からの炎はその後燃え上がり続け、鎮火したのは21日午前9時ごろ/天満天神宮をはじめ一帯の町家、および船場今橋1丁目から北浜にかけての町家が焼失。高麗橋筋、伏見町筋、道修町、平野町筋、淡路町筋などが残らず焼けた。東の方は谷町筋まで、南の方は本町通まで、西の方は中島筋までと商家が立ち並ぶ大坂の中心街が一面灰となった。町数で112町、家数で3389軒、世帯数で1万2578軒、空き家1306軒、土蔵411か所、納屋230か所、穴蔵103か所が焼失。社寺17か所のほか武家では奉行役宅が破損、代官宅が焼失、与力屋敷58軒、同心屋敷66軒が焼けている
- 1837年3月27日 00:00|イギリス| |||<死去>2代バース侯「トマス・シン」
- 1837年3月27日 00:00|イギリス| |||<就任>3代バース侯「ヘンリー・フレデリック・シン」先代の息子(~6.24死去)
- 1837年4月-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド臨時政府議長「ルネ・アントニオ・デ・レイス/アントニオ・マリア・ノ・デ・アゼベド」(~11.23)
- 1837年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・ベルツィ」「フィリッポ・フィリッピ」
- 1837年4月1日 05:00|コロンビア/パナマ/エクアドル/ペルー/ブラジル/コスタリカ/ベネチア/ニカラガア| |||<就任>ヌエバ・グранаダ共和国大統領「ルネ・イグナチオ・デ・マルクス・バレット」(2回目~18410401)
- 1837年4月3日-07:00|タイ| |||<即位>ナン王国第10代国主「アチットウオン」(~18380813)
- 1837年4月5日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「トマス・ハンバリー」(~1838年)
- 1837年4月5日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年3月1日|<死去>7代片岡仁左衛門(83歳)歌舞伎役者
- 1837年4月7日-09:00|日本|福井県敦賀市|天保8年3月3日|敦賀町で大火,471軒・土蔵74など焼失
- 1837年4月8日 03:00|ブラジル| |||SousaNetoの率いるリガランテ軍,カサウアの戦いで政府軍を撃破.540人を捕虜

1840迄 (2602件)

とする

- 1837年4月8日-09:00|日本|東京都|天保8年3月4日|前年からの天保の大飢饉の為、江戸幕府が江戸の各地に救米小屋を設置
- 1837年4月12日-09:00|日本|群馬県沼田市|天保8年3月8日|<死去>土岐頼布(63歳)前上野沼田藩主
- 1837年4月15日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ビルマ王「タラワ・イ・ミン」(~18461117没)
- 1837年4月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ユニテッド・リーガーズ 総督「ピーター・モリッツ・レイエフ」(~18380206)
- 1837年4月17日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者「マヌエル・デ・ヘスス・アギラル・チャコン」(~18380527)
- 1837年4月19日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「アヌスタン・フ・スタマンテ・イ・オセグーラ」(2回目~18411006)
- 1837年4月23日-09:00|日本|神奈川県小田原市|天保8年3月19日|<死去>相模小田原藩11万3000石(老中)「大久保忠真」(60歳)元寺社奉行・大坂城代・京都所司代・老中⇒家督を長男「大久保忠愨」が継ぐ(⇒安政6年11月30日(18591223)、31歳で死去)
- 1837年4月26日-09:00|日本|新潟県|天保8年3月22日|(~23日)魚沼郡田沢村など12か村約2000人の百姓、中深見・秋成村などの地主宅を打ちこわす
- 1837年5月-03:00|サウジアラビア| |||<就任>ネジュト 首長「ハリド 1世ブン・サウド」(~1841年1月)
- 1837年5月-01:00|アルゼンチン| |||アルゼンチンがタフ条約を締結
- 1837年5月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年3月27日|大塩平八郎が大坂市中の隠れ家にいるところを発見され、火薬を使って自決(45歳、寛政5(1793)0122生)
- 1837年5月6日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリリア・ワリス(総督)「フェシメリ・ハサン・ハシヤ」(~18380905)
- 1837年5月6日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年4月2日|<隠居>11代将軍徳川家斉/在位50年、子供55人
- 1837年5月6日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年4月2日|<就任>老中「太田資始」(~1841年6月3日)
- 1837年5月10日 06:00|アメリカ| |||ニューヨークで銀行の支払停止で恐慌がおこる
- 1837年5月16日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「マヌエル・アウグスト・ペレイラ」(1回目~9.19)
- 1837年5月18日-09:00|日本|福井県福井市|天保8年4月14日|福井城下で大火、町家495軒・寺10など焼失
- 1837年5月20日-09:00|日本|栃木県足利市|天保8年4月16日|<死去>戸田忠喬(74歳)前下野足利藩主
- 1837年5月22日-12:00|ニュージーランド| |||ウエイクフィールドがニュージーランド協会を設立
- 1837年5月28日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ共和国第(3)代国家元首「フランク・カリヨ」自由主義(~18420411)
- 1837年5月28日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス最高国家元首「フスト・ビセンテ・ホセ・エレラ・イ・ディアス・デル・バジェ」(~18380903)
- 1837年5月30日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの風景画家「ジョン・コンスタブル」60歳(誕生17760611)
- 1837年6月 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 総督「カール・エミール・デーソラス」(18380628まで代行~18410512)
- 1837年6月 04:00|刊| |||デューク・ホルタスの強権的政治に対する不満たかまる。マイク連隊は、閲兵にきたホルタスを捕らえる。反乱はまもなく鎮圧されるが、混乱の中でホルタスは射殺される
- 1837年6月1日-09:30|オーストラリア| |||西オーストラリア銀行営業開始
- 1837年6月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第8代首相「アントニオ・デ・アス・デ・オリベイラ」(~8.10)
- 1837年6月3日-09:30|オーストラリア| |||『サウス・オーストラリアン・ガゼット・アント・コロニアル・レジスター』の植民地での最初の号が発行される
- 1837年6月3日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事「Louis Jean Guillaume Jubelin」(~18410615)
- 1837年6月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<制定>南東アフリカのニューホランド 自由州(アフリカンス島のウリエブ・ロウ・インシー・ファン・ニューウェ・ホランド)
- 1837年6月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<設立>ナタル共和国(ナタリア(ホーア共和国) (~18430512)
- 1837年6月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天保8年5月5日|京都三十三間堂通矢「半堂百射」で、鈴木丈之進が88(総矢数100)を記録
- 1837年6月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年5月7日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川斉位」(20歳)⇒6月6日、養子「徳川慶昌」が継ぐ(⇒翌年5月14日、14歳で死去)
- 1837年6月12日 06:00|アメリカ| |||<発足>アイオワ準州、設置される
- 1837年6月13日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ副総督)「トマス・コール」(2回目~15日)
- 1837年6月15日 00:00|ガンビア/ガーナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「リチャード・ト・ハティ」(~18401216)
- 1837年6月18日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年5月16日|<就任>大坂城代「堀田備中守正篤」(~7.9)
- 1837年6月18日-09:00|日本|京都府京都市|天保8年5月16日|<就任>京都所司代「土井利位」(⇒翌年4月11日)
- 1837年6月18日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年5月16日|<就任>老中「松平信順」(~8月5日)
- 1837年6月20日-01:00|ドイツ| |||<即位>ノーヴァー国王兼カバールント公「エルスト・アウグスト」ウイヘルムの弟(~18511118死去80歳)
- 1837年6月20日 00:00|イギリス/ドイツ| |||<死去>グレートブリテン国王「ウィリアム4世」兼ノーヴァー国王「ウイヘルム」
- 1837年6月20日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「ヴィクトリア女王」18歳、ウィリアム4世の姪(~19010122死去)イギリスで5人目の女王
- 1837年6月24日 00:00|イギリス| |||<死去>3代バース侯「ヘンリー・フレデリック・シン」
- 1837年6月24日 00:00|イギリス| |||<就任>4代バース侯「ジョン・アレクサンダー・シン」先代の息子(~18960420死去)
- 1837年7月-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル首相「ラナ・ジャン・パンテ」(1回目~10月)
- 1837年7月-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>フリヘリス暫定酋長(カプティン)「フレッド・ルカス」(~9月)

1840迄 (2602件)

- 1837年7月-01:00|スペイン| |||スペインで協会財産国有化・売却令
- 1837年7月1日-09:30|オーストラリア| |||「グアンティームズランド」でオーストラリアで最初の乗客用の鉄道が開通。ロング・ベイとノーフォーク・ベイ間8キロ、木製のレールで囚人が動かす
- 1837年7月3日-09:00|日本|新潟県柏崎市|天保8年6月1日|<生田万の乱>越後柏崎で国学者生田万らが農民救済のため陣屋を襲撃するが、敗死
- 1837年7月5日-09:00|日本|京都府京都市|天保8年6月3日|<死去>一条忠良 (64歳) 元関白、左大臣
- 1837年7月7日-09:30|オーストラリア| |||「ユニオン・バンク・オブ・オーストラリア、リヴァプール」の資本家によりロンドンで創設
- 1837年7月7日-05:30|インド| |||<就任>「アト」国ラジャ (パト・シャー・エ・アト、シャー・エ・ザ・マン)「モイン・アト・デ・イン・アブル・フラス・モハド・アリ・シャー」(~18420517没)
- 1837年7月12日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルで、テレウとサルダニャがひきいる憲章党の反乱
- 1837年7月13日 00:00|イギリス| |||<死去>初代リスト-エル伯「ウィリアム・ヘア」
- 1837年7月13日 00:00|イギリス| |||<就任>2代リスト-エル伯「ウィリアム・ヘア」(~18560204死去)
- 1837年7月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントレカダ 民政知事「Joao Roiz de Pavia」(~18380827)
- 1837年7月15日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>セント・ユスタティウス島副知事「Johannes de Veer」(~18540505)
- 1837年7月15日-09:00|日本| ||天保8年6月13日|<死去>2代嵐璃寛 (50歳) 歌舞伎役者
- 1837年7月18日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルト民政知事「Antonio Joaquim Nunes de Vasconcelos」(~18391206)
- 1837年7月21日 00:00|イギリス| |||<死去>5代カーペン伯「ピーター・レホルト・ルイ・フランス・ナツリー=クレイヴアーリング」
- 1837年7月21日 00:00|イギリス| |||<就任>6代カーペン伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・カーペン」(~18560415死去)
- 1837年7月29日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、チワワ族との条約締結
- 1837年7月30日-09:00|日本/アメリカ|神奈川県横須賀市|天保8年6月28日|<モリソン号事件>浦賀に来航した米商船モリソン号を、浦賀奉行が砲撃
- 1837年8月-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「マヌエル・ベルナルト・ビダール」(~18390125)
- 1837年8月-01:00|スペイン| |||「ドン・カルロス」を「ザ・ベル」成人までの暫定王位に付ける/カールニャ人に自治権が認められ共和国となりスペイン南部アンダルシア地方を獲得
- 1837年8月1日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク総督・総司令官「臨時行政: ジョアキン・ダ・サンタ・ミランダ / アントニオ・フランチェスコ・カルドゾ / ジョアン・ダ・コスタ・シバエ」(~10.5)
- 1837年8月1日-09:00|日本|東京都中央区|天保8年7月|<初演>歌舞伎「由良湊千軒長者」、一場<三莊太夫>、二場<鶏娘>市村座
- 1837年8月8日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<死去>メキシコ領ニューメキシコ総督「Albino Perez」暗殺される
- 1837年8月8日 06:00|アメリカ/メキシコ| |||<就任>メキシコ領ニューメキシコ総督「Manuel Armijo」(2期目~1844.4)
- 1837年8月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年7月9日|<就任>老中「堀田正篤」(~天保14年閏9月8日)
- 1837年8月10日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第9代首相「ベルナルト・デ・サ・ノゲイラ・デ・フィゲイロ」(2期目~18390417)
- 1837年8月11日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天保8年7月11日|<死去>大岡忠移 (54歳) 前三河西大平藩主
- 1837年8月11日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|天保8年7月11日|<死去>上総大多喜藩2万石「松平正義」(32歳) =>甥「松平正和」が継ぐ(=>文久2(1862)年9月29日、40歳で死去)
- 1837年8月12日 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「トマス・クック」(~18420630死去)
- 1837年8月12日-09:00|日本| ||天保8年7月12日|<死去>渡辺如山 (22歳) 南画家
- 1837年8月12日-09:00|日本/アメリカ|鹿児島県鹿児島市|天保8年7月12日|薩摩の山川沖に碇泊したモリソン号、砲撃されて退去
- 1837年8月14日 00:00|イギリス| |||<死去>6代カーティン伯「ロバート・ブルデット」
- 1837年8月14日 00:00|イギリス| |||<就任>7代カーティン伯「ジェームズ・トマス・ブルデット」先代の息子(~18680328死去)
- 1837年8月15日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督「フランス・コックバーン」(1回目~18420519)
- 1837年8月16日-09:00|日本|愛媛県今治市|天保8年7月16日|<死去>伊予今治藩35000石「松平定芝」(47歳) =>9月12日、従弟「松平勝道」が継ぐ(=>文久2(1862)年11月21日、隠居)
- 1837年8月17日-09:00|日本|広島県呉市|天保8年7月17日|豊田郡御手洗町出火、役家86軒中25軒焼失
- 1837年8月18日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Baldomero Espartero」進歩党(~10.18)
- 1837年8月19日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|天保8年7月19日|<死去>森忠賛 (80歳) 前播磨赤穂藩主
- 1837年8月20日-09:00|日本| ||天保8年7月20日|幕府5両判金を新鑄
- 1837年8月20日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保8年7月20日|<就任>大坂城代「間部下総守詮勝」(~天保9.4.11)
- 1837年8月23日 05:00|ペルー| |||<就任>北ペルー-国行政権担当名誉議長「ルイス・ホセ・デ・ラス・メルセデス・デ・ホルヘ・ゴソイ・モンカダ・ガリト」(~18380730)
- 1837年8月23日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天保8年7月23日|<死去>酒井忠道 (61歳) 前播磨姫路藩主
- 1837年8月26日-01:00|フランス| |||「パリの「ウロップ」広場」(8区)に、ターミナル駅で一番古い「サン・ラザール駅」(8区)が開業/当時は「駅」ではなく「停車場」(1841年に現在地に移転)
- 1837年8月26日-09:00|日本| ||天保8年7月26日|歌舞伎役者、他国出稼ぎ禁止/幕府
- 1837年8月27日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「アントニオ・ガルシア・カンパ」(~18381229)
- 1837年9月-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>フィリピン館長(カプテン)「アダム・コック3世」(2度目~18611226)
- 1837年9月 00:00|セネガル| |||<就任>「ファクトル」統治者統治者(アルマニ)「アマト・ウ・バ・アハ・リ」(2回目~1838年10月)
- 1837年9月2日-09:00|日本| ||天保8年8月3日|<死去>富小路貞直 (77歳) 治部卿、歌人
- 1837年9月3日-09:00|日本|石川県金沢市|天保8年8月4日|斎藤の考案により、金沢兼六園の泉水成る

1840迄 (2602件)

- 1837年9月4日 06:00|アメリカ| |||画家で技術者のサミュエル・モリス (46) が有線電信機発明/特許を申請する
- 1837年9月8日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年8月9日|<解任>老中「松平信順」
- 1837年9月13日-09:00|日本|千葉県香取市|天保8年8月14日|<交替>下総小見川藩1万石「内田正容」強制隠居⇒長男「内田正道」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年5月7日、死去)
- 1837年9月15日 00:00|セカール/フランス| |||<就任>フランス領セカール総督「ジュリアン・アルマン・ソレ」(~18390411)
- 1837年9月16日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「フェルナント 2世」(~18531115~18851215死去) マリア2世の夫. 共同統治者
- 1837年9月17日 05:00|ペルー| |||<就任>南ペルー国家暫定大統領「モンテ・エレラ ロドリゴ」(~18381012)
- 1837年9月18日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ペドロ・テ・アラウジョ・オリマ」(3回目~19日)
- 1837年9月19日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「ペルナルト・ペレイラ テ・ウァスコゼロス」(1回目~18390416)
- 1837年9月19日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国摂政「ペドロ・テ・アラウジョ・オリマ」(18381007まで暫定~18400723)
- 1837年9月19日-09:00|日本|兵庫県佐用郡佐用町|天保8年8月20日|<死去>森長義 (51歳) 前播磨三日月藩主
- 1837年9月20日 00:00|カンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサースト副総督代行「アンソニー・クログ ストゥーン」(~1838年10月)
- 1837年9月20日 00:00|ポルトガル| |||憲章党の反乱, 敗北に終わる
- 1837年9月21日-01:00|ドイツ| |||<初演>フェリックス・メンデルスゾーン 《ピアノ協奏曲第2番ニ短調Op. 40》
- 1837年9月21日-09:00|日本|東京都|天保8年8月22日|<死去>宇摩郡川之江出身の儒者「長野豊山」
- 1837年9月28日-05:30|インド| |||<即位>ムガル帝国皇帝「ハートウルクシャー2世」(~18580329廃位、インド大反乱によりビールマへ追放, ムガル帝国滅亡~18621107死去)
- 1837年9月30日-08:00|中国| |||<死去>タライ・ラマ「10世ツルティム・ギヤツォ」
- 1837年9月30日-08:00|中国| |||<就任>チベット摂政「第2代ツェモンリン・ラマ」(2回目~18410929)
- 1837年9月30日-09:00|日本| ||天保8年9月|<刊行>「絵本暴風夢」(抄)
- 1837年10月 04:00|チリ| |||ブランコ・エンカータ 指揮下の刊軍2千8百名は、ペルー南部イスライに上陸. 困難な進軍の末アルキアを占領. 刊艦隊がガジャオとグアキルを封鎖
- 1837年10月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍フリゲイト「マドニアン」(1341t, ゴスペート造船所で建造⇒1852年, ブルックリン海軍工廠でスループに改装、艦種をスループに改める)
- 1837年10月1日-10:00|グアム/北マリアナ諸島/スペイン| |||<就任>マリアナ諸島知事「Jose Casillas Salazar」(~18431001)
- 1837年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・メルクリ」 「マルク・アントニオ・タッシニ」
- 1837年10月1日-09:00|日本|東京都千代田区|天保8年9月2日|<就任>第十二代将軍「徳川家慶」直轄江戸800万石(⇒嘉永6年)
- 1837年10月5日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「アラカティ侯爵 ジョアン・カルロス・アウグスト・デ・オインハゼン・エ・グラーベンブルク」(~18380328)
- 1837年10月10日-01:00|チュニジア| |||<死去>フサイン朝ベイ「ムスタファ・イブン・マフムド」51歳
- 1837年10月10日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの社会主義思想家シャルル・フーリエがパリで(1772-, 65歳) / 協同組合的理想社会「ファランジュ」の建設を唱えた
- 1837年10月10日-01:00|チュニジア| |||<即位>フサイン朝ベイ「アフマド 1世」ムスタファ・イブン・マフムドの息子(~18550530死去48歳)
- 1837年10月11日 03:00|ブラジル| |||急増する移民労働者に関して最初の法律が制定される
- 1837年10月13日-01:00|アルジェリア/フランス| |||フランス軍がアルジェリアのコンスタンティヌを占領
- 1837年10月15日-09:00|日本|茨城県つくば市|天保8年9月16日|<死去>常陸谷田部藩16300石「細川興徳」(79歳) ⇒婿養子「細川興建」が継ぐ(⇒嘉永5(1852)年12月16日、隠居)
- 1837年10月18日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Eusebio Bardaji」穏和党(~12.16)
- 1837年10月21日-09:00|日本|福井県坂井市|天保8年9月22日|<死去>越前丸岡藩5万石「有馬徳純」(34歳) ⇒翌年2月7日婿養子「有馬温純」が継ぐ(⇒安政2(1855)年4月25日、死去)
- 1837年10月25日-01:00|ナイジェリア| |||<死去>ソコト帝国スルタン「ムハンマド・ベロ」
- 1837年10月26日-01:00|ナイジェリア| |||<即位>ソコト帝国スルタン「Abubakar 1世 Atiku」(~18421123死去)
- 1837年10月27日-09:00|日本|広島県福山市|天保8年9月28日|(~29日)大暴風雨. 福山港で破船40隻, 溺死するもの4人
- 1837年10月28日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ総督「Paul de Nourquer du Camper」(~18391116)
- 1837年10月29日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ 《歌劇「ロベルト・デ・ウエル、またはエックス伯爵」》
- 1837年10月29日 00:00|カナ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト = コスト司令官代行「アンソニー・ファン・デル・エフ」(1回目~18380805)
- 1837年10月30日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||フェルテナントウ島はスペイン王領グランカナリア島の一部に組み込まれた
- 1837年10月31日 03:00|ブラジル| ||| Bento Ribeiro Canabarro の率いるリオグランデ軍, リオグランデ州 Espinilho, Cruz Alta, PR州 Emparanagua で相次ぐ勝利
- 1837年11月-05:30|インド| |||<死去>コーチン国統治者(マハラジャ・ガングダラ・コウイラティ・カリカ)「ラーマヴァルマ11世」
- 1837年11月-05:30|インド| |||<即位>コーチン国統治者(マハラジャ・ガングダラ・コウイラティ・カリカ)「ラーマヴァルマ12世」(~1844年6月没)
- 1837年11月-02:00|ジンバブエ| |||<就任>アマテベレ統治者(ソコ) 代行「ソルマネ・カムズリガツ・クマロ」(~1839年)
- 1837年11月 05:00|キューバ| |||砂糖輸送のためハバナ(ビジャヌエバ 駅) = ベナルカル間にラテンアメリカ最初の鉄道開設
- 1837年11月4日-09:00|日本| ||天保8年10月7日|<死去>仙厓義梵 (88歳) 臨済宗の僧、画家

1840迄 (2602件)

- 1837年11月6日 06:00|カナダ | |||ケベックで、ルイ・ジョゼフ・パピノー(51)率いるフランス系カナダ人がブルジョアが、民主化を要求して反乱を起こす
- 1837年11月7日-05:30|スリランカ/イギリス | |||<就任>イギリス領セイロン第7代総督「ジェームズ・アレクサンダー・ステュアート=マッケンジー」(~18410415)
- 1837年11月7日 03:00|ブラジル | |||サルバドルで「ビナダの反乱」勃発. 首謀者のフェルナント・ビネノがハイチ人共和国を宣言
- 1837年11月7日 04:00|チリ | |||刊南部、バルデイレア沖で地震(マグニチュード8.5)死者600人
- 1837年11月7日 06:00|アメリカ | |||奴隷制度廃止論者の新聞発行人エリザベス・バークレイ、暴徒に殺害される
- 1837年11月8日 06:00|アメリカ | |||世界初の女子大マウント・ホリヨーク・セミナリーがアメリカマサチューセッツで開校
- 1837年11月11日-01:00|アルジェリア/フランス | |||<就任>フランス領アルジェリア総督「ヴァレ伯爵シルヴァン・シャルル」(~1840年12月)
- 1837年11月16日-09:00|日本|東京都中央区|天保8年10月19日|吉原江戸町二丁目より出火、遊郭が焼失
- 1837年11月17日-09:00|韓国/朝鮮 | |||<就任>朝鮮国領議政「李相ウ」(~18380417)
- 1837年11月17日 04:00|刊/ペルー | |||刊軍、パウカルタの会戦でサンタクルスの指揮する同盟軍に敗北/休戦条約を結びハイチに帰還
- 1837年11月17日-09:00|日本|東京都墨田区|天保8年10月20日|<大相撲>天保8年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前1)鰐石, 6勝0敗1分1無勝負2休
- 1837年11月23日-05:30|インド/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領インド総督「サロゾ 男爵シモン・インファンテ・ラセルダ・デ・ソウサ・ダヴァリス」(~18380928)
- 1837年11月23日-04:30|アフガニスタン/イラン | |||ペルシアのムハンマド・シャー、ヘラートを包囲(ペルシア=アフガニスタン戦争)
- 1837年11月30日-05:30|インド | |||<就任>ポルトガル国支配者(ナワブ)「ジョハーンギル・モハマト・カーン」(~18441209没)
- 1837年11月30日 03:00|ブラジル | |||政府軍、カンピリ、カンピナでビナダを破る
- 1837年11月30日 04:00|フォークランド/イギリス | |||<就任>フォークランド諸島常駐海軍担当官「ロート・Lowcay」(~1839. 8)
- 1837年12月-05:45|ネーデルラント | |||<就任>ネーデルラント首相「ランガ・ナト・ホウディア」(1回目~1838年8月)
- 1837年12月 06:00|カナダ | |||カナダでマッケンジーの反乱がおこる
- 1837年12月 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス | |||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島元首「George Nobbs」(2期目~18381129)
- 1837年12月3日 00:00|イギリス | |||<死去>6代ケインズベリー侯「チャールズ・ダグラス」
- 1837年12月3日 00:00|イギリス | |||<就任>7代ケインズベリー侯「ジョン・ダグラス」(~18561219死去)
- 1837年12月4日 03:00|ブラジル | |||ビナダの重要拠点イパヒバが政府軍の手に落ちる
- 1837年12月5日-01:00|フランス | |||<初演>ルイ・エクトル・ペリオーズ 《レクイエム》
- 1837年12月12日-09:00|日本 | |||天保8年11月15日|<死去>原在中(88歳) 絵師
- 1837年12月13日 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍外輪船フリゲイト「フルトン」(1011t, ニューヨーク海軍工廠で建造)
- 1837年12月16日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Narciso Heredia」穏和党(~18380906)
- 1837年12月16日 00:00|ポルトガル | |||<就任>ブラガンサ公・サントゥス・コウブルク=ゴータ公・パルメイラ公・ウイラウ・イザベラ侯・オウム伯・アラゴス伯・ネウア伯「ヘドロ」マリア2世女王の末息子(~18531115ポルトガル・アルガルヴェ王~18611111死去)
- 1837年12月18日-09:00|日本|岐阜県海津市|天保8年11月21日|<交替>美濃今尾藩3万石「竹腰正定」隠居⇒長男「竹腰正富」が継ぐ(⇒文久2(1862)年9月10日、隠居)
- 1837年12月20日-02:00|ギリシャ | |||<就任>ギリシャ王国首相, 国王オthon1世が兼務(~18410706)
- 1837年12月21日-09:00|日本 | |||天保8年11月24日|<死去>村田整琨(77歳) 鍍金家
- 1837年12月25日 06:00|アメリカ | |||オキチホビ-湖東岸の戦い, サカリー・ティラ-大佐が千名の部隊を率い、強制移住への抵抗を続けるセミノール族を殲滅. 指導者オチーラは白旗を掲げ降伏
- 1837年12月29日-09:30|オーストラリア | |||ジェームズ・ナン、モイ川などの地域におけるアボリジナル討伐に出発/数百人のアボリジナルが死亡したと推定「メイジャー・ナンの作戦」
- 1837年12月29日 06:00|アメリカ/カナダ | |||(キャロリン号事件)アメリカの外輪船キャロリン号がナイアガラ川のアメリカ側の埠頭に停泊中、カナダの義勇兵の団がナイアガラ瀑布の近くを泳ぎ渡ってキャロリン号を拿捕
- 1838年-11:00|ミクロネシア | |||<死去>モル国国王「シブウア」
- 1838年-08:00|インドネシア | |||<即位>アチェ王国スルタン「アラウッディン・スレイマン・シャー」(~1857年)
- 1838年-07:00|タイ | |||<就任>ナン国主(チャオ)「マハウオン」(~1851年)
- 1838年-07:00|タイ | |||<就任>ラムプーン国主(チャオ)「カン・タン」(~1841年)
- 1838年-07:00|タイ | |||<就任>ランハン国主(チャオ)「ノイ・イン」(~1850年)
- 1838年-07:00|タイ | |||<即位>ナン王国第11代国主「マハウオン」(~1851年)
- 1838年-07:00|ラオス | |||<即位>ルアンパーン王国国王「スカソム」(~18500923没)
- 1838年-06:00|プータン | |||<就任>プータン摂政「トルジ・ルブ」(~1847年)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>アンパリア王国統治者(タクル・サーヒブ)「アマル・シンジ」(~1876年没)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>ウアラ王国統治者(タクル・サーヒブ)「トウランジ・ハルバムジ」(~1840年没)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>カナダ国統治者(タクル)「ウァカウインジ」(~1871年)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>コッタ・サンガニ国統治者(タクル)「サロジ」(~1840年)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>ジャラウ王国統治者(ラオ)「トウラン」(~1840年)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>ジャンシ-国統治者(ラジャ)「ガンガタル・ラオ」(~18531121没)
- 1838年-05:30|インド | |||<就任>スケト国ラジャ「カール・セン2世」(~1876年没)
- 1838年-05:00|パキスタン | |||<死去>ギルギット国統治者「マリカ・サヒブヌマ」
- 1838年-05:00|パキスタン | |||<即位>カトール朝国王「Shah Afzal2世」
- 1838年-04:00|UAE | |||<死去>アジュマン首長「Sheikh Rashid bin Humaid Al Nuaimi」

1840迄 (2602件)

- 1838年-04:00|UAE| |||<即位>アジ ュマン首長「Sheikh Humaid bin Rashid Al Nuaimi」(1期目~1841年廃位)
- 1838年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>ハ スラのムテッカリフ「フマト・サリ」(~1842年)
- 1838年-03:00|イラク| |||<即位>ハ ン首長「Ahmad Pasha」(~1847年)
- 1838年-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス・ムハッシル「オスマン・ハ シヤ・ミュテッカリフ」(1回目~1839年3月)
- 1838年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>チャンガミール帝国統治者(マンホ)「トウエヒビ・チャンガミレ・チハムハム」(~1857年逃亡)
- 1838年-02:00|ザンビア| |||<就任>マコロ酋長(モレナ)「セベトワネ」(~18510707没)
- 1838年-02:00|ザンビア| |||ブローシ王国がマコロ侵略者(コル・ローツェ帝国)によって制圧される
- 1838年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「ハサン・ハ シヤ」(~1842年)
- 1838年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Jose Joaquim de Urbanski」(~1839年)
- 1838年 00:00|セカール| |||<就任>シ ョロフ帝国統治者(ブールハ・シ ョロフ)「ヒヤンブ・クンハニゲイソツェイ」⇒「アル・ブウリ・タムソツェイ」(~1851年)
- 1838年 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州市民知事「Buenaventura de Cordoba」(~1839.10)
- 1838年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>トンコリンバ 統治者「ヒラリ」(~?)⇒「ケレハ・和」(~1884年)
- 1838年 04:00|セントルシア/トリニダード・トバゴ/ハルバトス/グレナダ/セントビンセント/イギリス| |||<制定>ウイントワート 諸島植民地(ハルバトス、グレナダ、セントビンセント、トバゴ)にセントルシアとトリニダード が加わる
- 1838年 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領南カナダ 総督「ダラム伯爵ジョン・ラムトン」(~1839年)
- 1838年1月1日-09:30|オーストラリア| |||ジョン・ハスコウ・フォーカー、ホートフリップ 最初の新聞『メルボルン・アドヴァタイザー』を創刊
- 1838年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「オルグ・ヤコブ・コップ」Lib(~12.31)
- 1838年1月2日-09:00|日本|山口県周南市|天保8年12月7日|<交替>周防徳山藩3万石「毛利広鎮」隠居⇒七男「毛利元蕃」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1838年1月7日-09:00|日本|茨城県結城市|天保8年12月12日|<死去>水野勝愛(58歳)前下総結城藩主
- 1838年1月10日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ホシニャウ・ホルィニ総督「Dmitriy Gavrilovich Bibikov」(~18520911)
- 1838年1月11日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Claude Rostoland」(1期目~7.5)
- 1838年1月11日 06:00|アメリカ| |||世界初のモルス信号が打電/アルフレッド・ウエイツが考案し、アメリカ・モリスタンのモルス電信社が打電
- 1838年1月12日 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア国家元首代理「フランシスコ・ヒメネス・ルビオ」(~3.13)
- 1838年1月13日-09:00|日本| ||天保8年12月18日|一分の額面をもつ計数銀貨「一分銀」使用開始
- 1838年1月22日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ 植民地知事「ジョージ・トマス・ネヒア卿」(~18440318)
- 1838年1月26日-09:00|日本| ||天保9年1月|<出版>斎藤月岑(幸成)(長谷川雪旦並びに雪堤画)「東都歳事記」五巻
- 1838年1月30日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニセッティ《歌劇「ルテンツ家のマリア」》
- 1838年2月3日-09:30|オーストラリア| |||シドニーとメルボルン間に、2週間毎の郵便サービスが導入される。陸路片道20日弱の時間が必要
- 1838年2月4日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||クワズールーはナタールに領土を割譲したが、スールーは入植地を破壊
- 1838年2月6日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール政策評議会議長「ケルハルト・ウス・マルティヌス・マリッツ」(~9.23)
- 1838年2月24日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「サー・ジョージ・キプス」(~18460711)
- 1838年2月26日-09:00|日本|岡山県津山市|天保9年2月3日|<死去>松平齊孝(51歳)前美作津山藩主
- 1838年2月28日-09:00|日本|東京都墨田区|天保9年2月5日|<大相撲>天保9年2月場所[江戸本所回向院](6日間)幕内優勝:(東前6)鏡岩,5勝1敗
- 1838年3月 03:00|アルゼンチン/ウルグアイ| |||ウルグアイはアルゼンチンに宣戦布告
- 1838年3月 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Miguel Lopez de Banos」(~1841.2)
- 1838年3月3日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首代行「ペドロ・ホセ・パレンス・エライヤ・ウルク」(~7.29)
- 1838年3月7日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督代行「ウィリアム・ネスビット・オルソン」(~9日)
- 1838年3月9日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督「トマス・ハンバリー」(~6.27)
- 1838年3月13日 06:00|ニカラガア| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国ニカラガア国家元首「ホセ・ヌニョ」(~11.17)
- 1838年3月16日 03:00|ブラジル| |||サルバドル、政府軍の手に落ちる。ヒナダ 戦争終結。この間の戦闘で死者千名
- 1838年3月16日-09:00|日本| ||天保9年2月21日|幕府武家法度を令す
- 1838年3月20日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督代行「ジョン・アレクサンダー・メイン」(~18390119)
- 1838年3月21日 00:00|イギリス| |||<死去>9代ダラムウヰー伯「ジョージ・ラムゼイ」
- 1838年3月21日 00:00|イギリス| |||<就任>10代ダラムウヰー伯「ジェームズ・アントニオ・ブライウン・ラムゼイ」(⇒18490825初代ダラムウヰー侯~18601219死去ダラムウヰー侯爵廃絶)
- 1838年3月22日-09:00|日本|京都府福知山市|天保9年2月27日|<死去>朽木綱方(53歳)前丹波福知山藩主
- 1838年3月26日-09:30|オーストラリア| |||ロイヤル・グイクトリア劇場、ピット・ストリートにオープン
- 1838年3月28日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「アントニオ・デ・ラマリオ・デ・サ(統治評議会議長)」(~18400329)
- 1838年3月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|天保9年3月4日|<死去>本多忠顕(63歳)前三河岡崎藩主
- 1838年3月30日-02:00|トルコ| |||オスマン朝の中央行政機構改革が行なわれ、省庁が設立される/大宰相府は外務、内務、財務の権限を失い、総理府になる
- 1838年3月31日-09:00|日本|香川県仲多度郡多度津町|天保9年3月6日|<死去>京極高賢(63歳)前讃岐多度津藩主

1840迄 (2602件)

- 1838年4月 00:00|ポルトガル| ||ポルトガルで妥協的な38年憲法が公布  
1838年4月 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||<死去>ヴァージン諸島主席「William Rogers Isaacs」  
1838年4月 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>ヴァージン諸島主席代理「R. M. トーマス」(~1839年)  
1838年4月 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラガ| ||連邦政府、財政難を克服するため、各州に関税をかけることを決議。ニカラガはこれに反対し連邦から分離、主権国家を宣言  
1838年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローラモ・ゴッジ」  
1838年4月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天保9年3月10日|江戸城西の丸焼失  
1838年4月8日-05:30|インド| ||<即位>ジャワラ国統治者(マハジ・ラ)「マダン・シン」  
1838年4月11日-09:30|オーストラリア| ||100人以上のアボリジナルの戦士、ゴールドバークからポートフィリップへ向かう人々を攻撃、ペナラの付近で11人を殺害  
1838年4月13日 06:00|グアテマラ| ||カラ軍、首都を占拠しガルベス政権を打倒、実権を掌握  
1838年4月15日 00:00|セントヘレナ/イギリス| ||<死去>アセンション島司令官「ウィリアム・ベイト」  
1838年4月15日-09:00|日本|東京都台東区|天保9年3月21日|<死去>初代・三遊亭円生(71歳、明和5(1768)年生)落語家  
1838年4月17日-09:00|日本|大阪大学|天保9年3月23日|緒方洪庵が大坂瓦町に蘭学塾「適塾」を開く  
1838年4月20日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「ホセ・デ・イサベル・レタ・イ・エンリレ」(~18400110)  
1838年4月21日-04:00|ロシア| ||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「イリオン伯爵グァシリイェ・イチ・ウァシルコフ」(~18470313没)  
1838年4月22日-09:00|日本|京都府京都市東山区|天保9年3月28日|京都三十三間堂通矢「金堂百射」で、若林作次郎が91(総矢数100)を記録  
1838年4月23日 06:00|アメリカ/アイルランド| ||蒸気船シウス号(703t、長さ54.3米×幅7.6米/250馬力)が午前中、ニューヨークに到着(4日アイルランドのヨークを出航)/大西洋横断航海を18日と14時間22分で完了。平均速度は6.7節(15km/時)  
1838年4月23日 19:00|アメリカ/イギリス| ||蒸気船グレート・ウェスタン号(1350t、長さ64.6米×幅10.8米/450馬力)が午後、ニューヨークに到着(8日イングランドのブリistolを出航)/航海日数はシウス号より3日間短縮、200吨の石炭を残す。平均速度は8.6ノット節(16km/時)  
1838年4月25日 06:00|アメリカ| ||アメリカとテキサス共和国の国境が画定される  
1838年4月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保9年4月3日|<大坂天保9年の大火「伊達町焼」>火元は伊達町の播磨屋嘉兵衛で焼失した家数は火元の伊達町21軒、神田町4軒、衾町3軒、箱屋町11軒、船坂町9軒、中橋町10軒、鉄町23軒、阿波橋町24軒、古金町27軒、帯屋町21軒、讃岐屋町17軒、日向町35軒、立売堀一丁目8軒、同二丁目38軒、同三丁目29軒と15町が焼失/焼失家屋合計280軒、同土蔵21か所、同納屋31軒、同空き貸家307軒、消火のために崩した家屋23軒、同道場4か所、同橋1か所(中橋)  
1838年4月27日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保9年4月4日|<長崎天保9年の大火>夜、小川町から出火し内中町、恵美須町など25か町を焼いて翌朝鎮火/被害数は、家屋1393戸、土蔵60棟、消火のための漬家35戸、6人死亡  
1838年4月30日 03:00|ブラジル| ||アラホス、激戦の末RioPardoを確保。この戦闘で政府軍の犠牲者は一千名を越す  
1838年5月-01:00|ジブラルタル/イギリス| ||<就任>イギリス領ジブラルタル知事代理「チャールズ・フェニックス・スミス」(~7月)  
1838年5月 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首「ティモシー・メネンデス」(1回目~18390501)  
1838年5月 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「コロムビア」(1726t、ワシントン海軍工廠で建造)  
1838年5月1日-05:30|インド/デンマーク| ||<就任>東インド諸島(トランケバル)デンマーク領総督「ヨハネス・フォン・レーリング」(~18410618没)  
1838年5月2日 06:00|ニカラガ| ||ニカラガが中米連邦から分離独立  
1838年5月3日-09:00|日本|福島県白河市|天保9年4月10日|<死去>陸奥白川藩10万石「阿部正瞭」(26歳)⇒養子「阿部正備」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年5月10日、隠居)  
1838年5月4日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保9年4月11日|<就任>大坂城代「井上河内守正春」(~天保11.11.3)  
1838年5月4日-09:00|日本|京都府京都市|天保9年4月11日|<就任>京都所司代「間部詮勝」(⇒1840(天保11年1月13日))  
1838年5月4日-09:00|日本|東京都千代田区|天保9年4月11日|<就任>老中「土井利位」(~天保15年10月12日)  
1838年5月5日-04:00|レユニオン/フランス| ||<就任>ブルボン島知事「Anne Chretien Louis de Hell」(~18411014)  
1838年5月7日 00:00|イギリス/アメリカ| ||イギリスとニューヨークを結ぶ初の定期航路が開設される  
1838年5月8日 00:00|イギリス| ||イギリスで人民憲章が公表され、チャーチスト運動が始まる  
1838年5月9日-09:00|日本| ||天保9年4月16日|<死去>5代千宗守(76歳)茶人、武者小路千家家元  
1838年5月10日-09:00|日本|東京都中央区|天保9年4月17日|<江戸日本橋天保9年小田原町の大火>午の刻過ぎ(12時ごろ)、日本橋小田原町二丁目の湯屋(風呂屋)から出火/伊勢町から瀬戸物町、本町、石町、本銀町あたりより今川橋通りにかけて延焼/西は鎌倉河岸、小川町の武家屋敷、西神田の町々一円を灰とした/最後に室町まで延びた炎は、夜戌の刻過ぎ(20時半ごろ)同町を灰にして鎮火  
1838年5月16日-02:00|南アメリカ/イギリス| ||<就任>ポルトガル特別治安判事「アレクサンダー・ヒガナー」(~同年)  
1838年5月16日-02:00|南アメリカ/イギリス| ||ナール港はナールによって再領され、ポルトガルと改名  
1838年5月17日 06:00|アメリカ| ||フィリピンでアイルランド移民らが暴動。ペソルバニア・ホールを焼き討ち。地下鉄道を經由して逃走した黒人奴隷が、自分たちの職場を奪うと扇動されたことから発生  
1838年5月18日 03:00|ブラジル| ||ペルナンブコ警察、SerraTalhada山中の宗教共同体を捜索。29人を殺害

1840迄 (2602件)

- 1838年5月27日 06:00|コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国コスタリカ最高責任者「ブラウリオ・エウアリスト・カリジョ・コリーナ」(2回目~18420412)
- 1838年5月28日-09:30|オーストラリア| |||アデレードのアデレード・クワンでシアター・ロイヤルがオープン
- 1838年5月30日 06:00|グアテマラ| |||モザンを支持するロスアルトス県など西部地区はロスアルトス共和国を宣言。マルセロ・モリーナを統領に選出
- 1838年6月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「Ahmad Pasha abu Widan」(~18431006)
- 1838年6月 03:00|ウルグアイ| |||ふたたび反乱を起こしたリベラのコロラド党軍がオリベ政権を打倒/オリベはブエノスアイレスに亡命
- 1838年6月2日-09:00|日本|静岡県藤枝市|天保9年閏4月10日|<死去>本多正温(73歳)前駿河田中藩主
- 1838年6月5日 04:00|BES諸島/シント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ領西インド諸島総督代行「フィリップス・ステークナー」(1回目~18390716)
- 1838年6月9日-01:00|フランス/ハイチ| |||ハイチとフランス、最終的な和平条約を締結。フランスはハイチの完全独立を承認
- 1838年6月10日-09:30|オーストラリア| |||マイオール・クリークの虐殺、リヴァール平原で28人のアボリジナルが殺される
- 1838年6月12日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、アイワ準州、設置
- 1838年6月14日-09:00|日本|東京都|天保9年閏4月22日|江戸で農・工・商の者が、櫛・箒等に金銀を使用すること禁止
- 1838年6月19日-03:30|イラン/イギリス| |||イギリス軍がカーグ島を占領(~1842年2月)
- 1838年6月20日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス「ウイクトリア女王」18歳(~19010122死去81歳)
- 1838年6月22日-09:00|日本| |||天保9年5月|<完成>「天保国絵図」
- 1838年6月22日-09:00|日本|順天堂大学|天保9年5月|佐藤泰然が江戸薬研堀に蘭方医学塾(和田塾)を開学
- 1838年6月27日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ガイアナ総督「ヘンリー・ライト」(~18480519)
- 1838年6月30日 05:00|ペルー| |||<就任>北ペルー国暫定共和国大統領「ルイス・ホセ・デ・ラス・メルデス・デ・オルベゴソ・イ・モンカダ・ガリド」(ペルー・ボリビア連邦に反対し、18380823からペルーに、18380821以降リマを放棄してカヤに移り~11月連邦に服従)
- 1838年7月 06:00|エルサルバドル/グアテマラ| |||エルサルバドルの中米連邦軍、グアテマラに派遣されるが、ロスアルトス地方でのたたかいで加行軍に敗れる
- 1838年7月1日-09:00|日本|東京都|天保9年5月10日|<死去>5代松本幸四郎(75歳、明和1(1764)年生)歌舞伎役者
- 1838年7月2日 00:00|イギリス| |||<就任>初代セッターント伯「ロレンス・ダングラス」(~18390219死去)
- 1838年7月5日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Alphonse Louis Theodore de Moges」(~1840年)
- 1838年7月5日-09:00|日本|東京都千代田区|天保9年5月14日|<死去>一橋徳川家10万石「徳川慶昌」(14歳)⇒25日、養子「徳川慶壽」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年5月7日、25歳で死去)
- 1838年7月10日 00:00|イギリス| |||<死去>6代リーズ公「ジョージ・ウィリアム・フレデリック・オズボーン」
- 1838年7月10日 00:00|イギリス| |||<就任>7代リーズ公「フランス・ジョージ・ゴドルフィン・ダージー・ダージー=オズボーン」6代公の長男(~18590504死去)
- 1838年7月12日-01:00|フランス/メキシコ| |||フランス軍、メキシコに宣戦布告(菓子戦争)。軍艦を送り、ペラカスを占領
- 1838年7月12日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ副総督「ジョン・ロングリー」(~8月没)
- 1838年7月13日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天保9年5月22日|<佐渡一國一揆>(~8月)羽茂郡上山田村の百姓善兵衛を中心とする佐渡一國の農民が、佐渡奉行所の専売制度・鑑札制度の廃止、役人の不正糾弾などを掲げて立ち上がり、穀屋、富商を打ち壊す
- 1838年7月16日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|天保9年5月25日|<死去>大和国郡山藩15万1200石「柳沢保泰」(57歳)⇒長男「柳沢保興」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年8月21日、死去)
- 1838年7月16日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天保9年5月25日|<佐渡一國一揆>佐渡滝平・大石両村の農民ら、小木町の回船問屋など13軒を打ちこわす
- 1838年7月18日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「マリアノ・エンリケ・カルネ・ケジヤル」(1回目、18390220まで代行~18390222)
- 1838年7月19日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの化学者・物理学者ピエール・デュロン(17850212~)原子熱の法則「デュロンの法則」二塩化窒素の発見
- 1838年7月21日 04:00|サン・マルタン| |||<就任>フランス領サン・マルタン島市長「Pierre Georges Dormoy」(~1866年)
- 1838年7月29日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首代行「マリアノ・リベラ・ヒース」(1回目~18390130)
- 1838年8月-05:45|ネパール| |||<就任>ネパール首相「ハスカー・シャヤ」(~1839年8月)
- 1838年8月 00:00|キニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチエ(ビサウ配下)総督「テルフィム・ホセ・トマス・サントス」
- 1838年8月 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ副総督代行「シモンズ・ブリッジウォーター」(~1839年)
- 1838年8月1日-05:30|インド/イギリス| |||ジャワール国はイギリス保護領(条約による)
- 1838年8月1日 05:00|ジャマイカ| |||ジャマイカ、奴隷制度、完全廃止
- 1838年8月5日 00:00|ガイアナ/オランダ| |||<就任>オランダ領コールト=コスト総督「ヘンリー・ホッヅ」(~18400307)
- 1838年8月11日 05:00|ペルー| |||<就任>北ペルー国家暫定大統領「ホセ・マリア・ノ・デ・ラ・クルス・デ・ラ・リヴァ・ア・アグエロ・イ・サンチェス・ホセ」(27日まで外で就任;11.10以降にリマに入国~18390217)
- 1838年8月13日-07:00|タイ| |||<即位>ナン王国「マハウオン」(~1851年)
- 1838年8月16日-02:00|トルコ/フランス/イギリス| |||オスマン帝国が、イギリス、フランスと通商条約を締結し、エジプトを含む領土での独占貿易を廃止

1840迄 (2602件)

- 1838年8月21日-09:00|日本|三重県三重郡菟野町|天保9年7月2日|<死去>伊勢菟野藩11000石「土方雄興」(40歳)⇒8月23日、長男「土方雄嘉」が継ぐ(⇒安政5(1858)年8月28日、死去)
- 1838年8月24日-01:00|フランス| |||<就任>ハリ伯「フィリップ」(7世) (~18940908死去)
- 1838年8月24日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「アグスティン・ガマリア」(2回目、18400711まで暫定~1841118)
- 1838年8月27日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポントレカダ民政知事「Manuel de Medeiros da Costa Canto e Albuquerque」(~18391224)
- 1838年8月30日-05:30|インド| |||<就任>ウタール国統治者(マハラ)「サルタル・シン」(~18420814没)
- 1838年9月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ウインブルク司令官・総督「アントリス・ヴァイルヘルムス・ヤコブ・ス・フ・レトリウス」(~18440409)
- 1838年9月3日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・マリア・マルチネス・サリナス」(2回目~11.12)
- 1838年9月5日-01:00|リビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国トリポリニア・ワリス(総督)「アリ・アスカ・ハシヤ」(~18420715)
- 1838年9月6日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Bernardino Fernandez de Velasco」穏和党(~12.9)
- 1838年9月9日-04:30|アフガニスタン/イラン| |||イラン軍がヘラートから撤退
- 1838年9月10日-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・エクトル・ペリオーズ《歌劇「ベンヴェヌート・フェルリニ」》
- 1838年9月10日 00:00|イギリス| |||チャールズ・グリーンとジョージ・ラッシュが気球「ロイヤル・ウォックスホール」号で2万7146フィート(8274メートル)の高度に到達
- 1838年9月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホーエンツォレルン=ヘンゲン侯国「Friedrich」
- 1838年9月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>ホーエンツォレルン=ヘンゲン侯国「Constantine」(~18491207死去)
- 1838年9月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Jose da Fonseca e Gouveia」Mil(~18400821)
- 1838年9月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保9年7月25日|<死去>3代中村歌右衛門(61歳、安永7(1778)0303生)歌舞伎役者
- 1838年9月15日-09:00|日本|福井県福井市|天保9年7月27日|<死去>越前福井藩32万石「松平齊善」(19歳)⇒10月20日、従弟「松平慶永(春嶽)」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1838年9月18日 00:00|イギリス| |||リチャード・コブデンやジョン・ブライトが反穀物法同盟を結成
- 1838年9月19日-09:00|日本|東京都|天保9年8月|都々逸坊間歌が、江戸、牛込薬店の寄席で都々逸を詠い流行
- 1838年9月21日-01:00|ドイツ| |||ホツタムツェレントルフ間に鉄道が開通
- 1838年9月21日-09:00|日本| ||天保9年8月3日|<死去>円山応震(49歳)画家
- 1838年9月23日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ウインブルク司令官・総督「アントリス・ヴァイルヘルムス・ヤコブ・ス・フ・レトリウス」(~18440409)
- 1838年9月23日-09:00|日本|新潟県新発田市|天保9年8月5日|<交替>越後新発田藩5万石「溝口直諒」隠居⇒長男「溝口直溥」が継ぐ(⇒万延元(1860)年、10万石へ高直し)
- 1838年9月24日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天保9年8月6日|<佐渡一國一揆>佐渡丸山村の農民、米商を打ちこわす
- 1838年9月27日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|天保9年8月9日|<死去>下総生実藩1万石「森川俊知」(60歳)⇒養子「森川俊民」が継ぐ(⇒安政2(1855)年11月05日、死去)
- 1838年9月27日-09:00|日本|長崎県対馬市|天保9年8月9日|<死去>対馬府中藩22800石「宗義質」(39歳)⇒翌年2月2日、長男「宗義章」が継ぐ(⇒天保13(1842)年5月29日、死去)
- 1838年9月28日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督代行「統治評議会:アントニオ・フェリシアノ・デ・サント・タカ・カルガ・アリオ/ホセ・アントニオ・ウエイラ・ダ・フォンセカ(1回目)/ホセ・カンジョ・フレイレ・デ・リマ(1回目)/ドミンゴ・ホセ・マリア・ノリス(1回目)」(~18390305)
- 1838年9月29日-09:30|オーストラリア| |||オーストラリア・クラブ、ニューサウスウェールズ最初のゼントルマンのクラブ、シドニーで設立
- 1838年9月30日-09:00|日本|香川県丸亀市|天保9年8月12日|夜、丸亀城下福島で火事発生、17軒焼失
- 1838年9月30日-09:00|日本|新潟県佐渡市|天保9年8月12日|<佐渡一國一揆>佐渡徳和村の農民、徳和村の富農・問屋などを打ちこわす
- 1838年10月 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領ギニア副総督「ウィリアム・マッキー」(~18390917没)
- 1838年10月 00:00|セネガル| |||<就任>ワタトロ統治者統治者(アルマニ)「バーバ・リリー」(2回目~1841年5月)
- 1838年10月 04:00|刊/ペルー| |||刊軍、上陸後三ヶ月でリマを占領
- 1838年10月 06:00|アメリカ| |||強制移住法に最後まで抵抗したジョージア州のチキ族、オクホマへの転住命令を受け入れる。チキ族は千3百に及ぶ「涙の街道」を5ヶ月かけて移動。この間に1万2千人のうち、4千が病死
- 1838年10月1日-04:30|アフガニスタン/イギリス| |||第1次アフガニスタン戦争/アフガニスタンに侵入していたイギリス軍がアフガニスタンに宣戦布告
- 1838年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリア・ノ・ベグニ」「ド・メニコ・マリア・ベルツピ」
- 1838年10月3日-05:30|インド| |||<死去>ベンガル太守「ムハムマド・アリー・ハーン2世」
- 1838年10月7日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天保9年8月19日|<死去>近江宮川藩13000石「堀田正民」(58歳)⇒10月1日、婿養子「堀田正義」が継ぐ(⇒天保12(1841)年8月3日、26歳で死去)
- 1838年10月12日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||「ナタリア」(ナタル共和国)
- 1838年10月12日 05:00|ペルー| |||<就任>南ペルー国家暫定大統領「ファン・ヒョ・オ・デ・トリスタン・イ・モスコ・カサ・イ・ムスキ」(~18390222)
- 1838年10月13日-09:00|日本|岐阜県郡上市|天保9年8月25日|<死去>美濃郡上藩48000石「青山幸礼」(31歳)⇒養子「青山幸哉」が継ぐ(⇒文久3(1863)年7月16日、死去)
- 1838年10月16日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍戦列艦「オハイオ」(2757t、ニュー・ヨーク海軍工廠で建造)

1840迄 (2602件)

- 1838年10月17日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>南オーストラリア植民地総督「ジョージ・コーラー」(~18410515)
- 1838年10月18日-05:30|インド| |||<就任>バングラ国支配者(ナワブ)「モハメッド・ホセイン」(~18590818没)
- 1838年10月18日-09:00|日本| ||天保9年9月|<出版>西村中和・小野広隆(大和絵)等「紀伊国名所図会」三集
- 1838年10月21日 03:00|ブラジル| ||リオにブラジル歴史・地理研究所が設立される
- 1838年10月22日-09:00|日本| ||天保9年9月5日|<死去>菊池袖子(54歳) 歌人
- 1838年10月24日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国大統領代理「ガブリエル・アントニオ・ペレイラ」無所属(1期目~11.11)
- 1838年10月26日 06:00|ホンジュラス/グアテマラ| |||ホンジュラスが連邦から脱退独立
- 1838年10月27日-09:00|日本| 愛知県刈谷市|天保9年9月10日|<死去>三河刈谷藩23000石「土井利行」(17歳)⇒養子「土井利祐」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年12月13日、死去)
- 1838年10月29日-05:30|インド| |||<就任>ベンガル太守「マンスル・アリー・ハーン」(~18801101退位)
- 1838年10月29日-09:00|日本| 石川県加賀市|天保9年9月12日|<死去>加賀大聖寺藩7万石「前田利極」(27歳)⇒弟「前田利平」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年7月7日、死去)
- 1838年10月31日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公「ルイス1世」(~18650731)
- 1838年11月1日-09:30|オーストラリア| |||ギップス総督、切手を貼った用紙を郵便の封筒として導入。イギリスのペニー郵便に2年先んじる
- 1838年11月4日-09:00|日本| 大阪府大阪市西成区|天保9年9月18日|大塩平八郎の乱の一党が処刑
- 1838年11月5日 06:00|コスタリカ/エルサルバドル/グアテマラ/ホンジュラス/ニカラグア| |||中米連邦軍、グアテマラ兵集団に敗れる(背景にイギリスの圧力)。中米連邦、5カ国(ホンジュラス、グアテマラ、ニカラグア、コスタリカ、エルサルバドル)に分裂し連邦政府は崩壊
- 1838年11月6日-05:30|インド| |||<就任>ハンズワラ国統治者(マハラジャ)「ハハトール・シン」(~18440202没)
- 1838年11月11日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国大統領「フルクトウツ・リベラ」コロト党(2期目~18390301)
- 1838年11月12日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・リノ・マトゥテ」(~18390110)
- 1838年11月17日 06:00|ニカラグア| |||<就任>ニカラグア独立共和国最高裁取締役「ホセ・ヌニェス」(~18390423)
- 1838年11月21日-09:00|日本| 東京都江東区|天保9年10月5日|江戸深川三十三間堂通矢「全堂五間延百射」、中村喜一郎(14歳)30本(総矢数100本中)を記録/種目初め
- 1838年11月21日-09:00|日本| 長崎県大村市|天保9年10月5日|<死去>大村純昌(53歳) 前肥前大村藩主
- 1838年11月23日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタール首席司令官「アントニウス・ヴァイルヘルムス・ヤコブス・ブレットウス」(~18400306)
- 1838年11月29日-05:30|インド| |||<就任>コルハール国統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シヴァージー-4世」(~18660804没)、摂政「ラニ・サイバ」2世」(~1845年)
- 1838年11月29日 08:00|ビトリア諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトリア諸島主任判事「Edward Quintal」(~18391231)
- 1838年11月29日-09:00|日本| 三重県桑名市|天保9年10月13日|<死去>伊勢桑名藩113000石「松平定永」(48歳)⇒次男「松平定和」が継ぐ(⇒天保12(1841)年6月22日、死去)
- 1838年12月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス軍ターバン司令官「サミュエル・チャーターズ」(~18390120)
- 1838年12月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||ナタール港はケープ植民地からイギリス軍に占領され、ターバンと改名
- 1838年12月6日-09:00|日本| 東京都墨田区|天保9年10月20日|<大相撲>天保9年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前4)天津風, 8勝0敗1預1休/後の岩見湯・秀の山
- 1838年12月7日-09:00|日本| ||天保9年10月21日|<完成>高野長英「戌戌夢物語」
- 1838年12月9日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Evaristo Perez de Castro」穏和党(~18400720)
- 1838年12月10日 06:00|アメリカ| |||<就任>テキサス共和国大統領「Mirabeau Buonaparte Lamar」(~18411213)
- 1838年12月10日-09:00|日本| 香川県観音寺市|天保9年10月24日|(~25日)丸亀藩領豊田郡観音寺村で火事発生。約10軒焼失
- 1838年12月12日-09:00|日本| 奈良県天理市|天保9年10月26日|中山みきが天理教をひらく
- 1838年12月13日-09:00|日本| 愛知県犬山市|天保9年10月27日|<死去>尾張犬山藩35000石(尾張藩附家老)「成瀬正壽」(57歳)⇒長男「成瀬正住」が継ぐ(⇒安政4(1857)年9月18日、死去)
- 1838年12月16日-02:00|南アフリカ| |||南アフリカ、ナタールのブラッドリヴァーの戦いで、オランダ人入植者の子孫のボーマンが、先住民のズール族を撃破
- 1838年12月17日-09:00|日本| 埼玉県行田市|天保9年11月|<交替>武蔵忍藩10万石「松平忠堯」隠居⇒弟「松平忠彦」が継ぐ(⇒天保12(1841)年4月27日、死去)
- 1838年12月19日-08:00|中国| |||<即位>ダライ・ラマ(チベット)「ケトウフ・ギヤツォ(ダライ・ラマ11世)」(~18560131)
- 1838年12月21日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メリヤ総督「Gregorio Alvarez y Perez」(~18390328)
- 1838年12月21日-01:00|スペイン| |||メリヤの「カルロス主義者」が反乱を起こし、カルロス5世の名で王室政府を形成(~18390326)
- 1838年12月22日-02:00|南アフリカ| |||ボーマンによりホーフストルム設立
- 1838年12月22日 00:00|イギリス| |||<死去>3代クラレンドン伯「ジョン・チャールズ・ウイリアムズ」
- 1838年12月22日 00:00|イギリス| |||<就任>4代クラレンドン伯「ジョン・ウイリアム・フレデリック・ウイリアムズ」(~18700627死去)
- 1838年12月25日-05:00|パキスタン/イギリス| |||<制定>イギリス保護領カバルール(条約により)
- 1838年12月29日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「ルイス・ラファエル・イサバル」(~18410214死去)
- 1839年-08:00|マレーシア| |||<就任>ジエンポル統治者「ハサン」
- 1839年-08:00|マレーシア| |||<即位>カバン・ハス・ラジャ「トウク・アヌム・ビン・トウク・アブドゥル・ラーマン」(~1853年)

1840迄 (2602件)

- 1839年-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「トウク・アサン」(カハ・ンパ・ス~1841年)
- 1839年-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「トウク・セトウセン」(ホ・リト~1843年)
- 1839年-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「ムハンマド・アキフ」(サトウ~1843年7月没)
- 1839年-05:45|ネパール| |||<就任>ネパール摂政「マハニ・サムラジャ・ラクシュミ・デウイ」(~18411006没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ウアンカナル国統治者(ラージ・サーヒブ)「ウ・アカツインジ・チャンドラシンジ」(~1842年没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ケルワイ国支配者(ナワブ)「モハマト・モザファル・カーン」(~18580811没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>シヤイール国摂政「ラウル・シェオ・シン・ナタワット」(~18510923)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>シユバル国統治者(ラ)「カラム・チャンド」(1回目)⇒「フラン・チャンド」(3回目~18400214)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>セイラ国統治者(タークル)「ケリシンジ・シェシュマリ」(~1881年没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>タロク国統治者(タークル・サーヒブ)「シヤム・シン」(~1841年没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ダティア国ラジャ「ヒンジャイ・シン」(~18571120没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ハルワニ国統治者(ラ)「シヤシュワト・シン」(1回目~1861年)、摂政「ハルワニのラジマタ」(~1854年)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ヒンジナ国統治者(テ・イワン)「ドゥルジヤン・シン」(~1850年没)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>ホラハット国ラジャ「アルジュン・シン・デオ4世」(~1858年1月)
- 1839年-05:30|インド| |||<就任>マンデイ国ラジャ「ハルビル・セン」(~18510126没)
- 1839年-05:30|インド| |||<即位>カンカ国統治者(マハラジャ・テ・イラージ)「ハトマ・デオ」(~1853年没)
- 1839年-05:30|インド| |||<即位>ラダック国王(チオス・キヤル・チェン・ホ)「ツェト・ハル・ミ・キユル・トングラフ・ナムルギヤル」(2回目~1840年)
- 1839年-05:30|インド/イギリス| |||クムハルサイ国はイギリス領インドに占領される(~1840年)
- 1839年-05:30|インド/イギリス| |||シヤンプコダ国をイギリス領インドが統治(~1917年)
- 1839年-05:00|パキスタン| |||<死去>カバル国ミル・タム「ラヒム・カーン2世」
- 1839年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国対立ミール「ナセル・カーン」
- 1839年-05:00|パキスタン| |||<就任>カイルプール国ワシム(首相)「モハマト・カーン・コーリ神父」(~1842年頃)
- 1839年-05:00|パキスタン| |||<就任>カバル国ミル・タム「エスカンダル・カーン1世」(~1840年没)
- 1839年-05:00|パキスタン| |||<就任>マクラン統治者(サドム)「ミフラン・カーン」⇒「ハジヤス・カーン」⇒「モハマト・カーン2世」(~1905年)
- 1839年-05:00|パキスタン/イギリス| |||東パルチスタン国がイギリス勢力圏に入る
- 1839年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カーブル首相(ワズール・イ・アザム)「ムラー・シヤケル・イシャクザイ」(~1840年)
- 1839年-03:00|スーダン| |||<死去>ダルフール・スルタン国スルタン「ムハンマド3世アル=ファトル」
- 1839年-03:00|ウガンダ| |||<死去>ンコレ王国国王「Gasyonga1世」
- 1839年-03:00|スーダン| |||<即位>ダルフール・スルタン国スルタン「ムハンマド4世アル=フサイン」(~1873年4月没)
- 1839年-03:00|ジブチ| |||<即位>ラハイト・スルタン「ムハンマド・ヒン・ブルハン・サディク」
- 1839年-03:00|ウガンダ| |||<即位>ンコレ王国国王「Mutambuka」(~1867年死去)
- 1839年-02:00|エスワティニ| |||<死去>スワジランド最高支配者「ソグワ4世」
- 1839年-02:00|エスワティニ| |||<就任>スワジランド摂政「女王ロジバ・シメネ」(~1840年)
- 1839年 00:00|トゴ| |||<就任>アヘン統治者(アブ・タガ)「コジヨ・アケホツウ」(~1852年)
- 1839年 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシパル総督代理「Jose Fernando da Costa」⇒総督「Bernardo Jose de Sousa Soares de Andrea」(~1843年)
- 1839年 00:00|セネガル| |||<就任>ンシ統治者(フル・シン)「アマジユフ・イラン・フェイジユフ」(~1853年)
- 1839年 04:00|トミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領トミニカ副総督代行「T. マニング」(~4. 7)
- 1839年 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領両カナダ総督「シトナム男爵チャールズ・ホウレット・トムソン」(~1840年)
- 1839年1月1日-09:30|オーストラリア| |||メルボルン・クラブ創設/シエントルマンのクラブ。ジョン・ハスコウ・フォーカーのホルムにすぐに移動
- 1839年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・ヤコブ・ヘス」Lib(2期目~12. 31)
- 1839年1月3日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>西オーストラリア植民地総督「ジョン・ハット」(~18460126)
- 1839年1月5日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国取締役代行「エウアリスト・ロジャ」⇒「ホアキン・テル・コソ」(1回目~18390515)
- 1839年1月6日-09:00|日本|岐阜県中津川市|天保9年11月21日|<死去>美濃苗木藩10021石「遠山友寿」(53歳)⇒翌年2月5日、三男「遠山友詳」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1839年1月7日-01:00|ドイツ| |||(独)ドレスデン貨幣条約批准
- 1839年1月10日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「ファン・フランシスコ・デ・モリーナ」(~4. 13)
- 1839年1月12日 04:00|チリ/ペルー| |||カスマの海戦. 英提督ハート・シンプソンの率いるチリの小部隊がペルーの艦隊を打ち破る
- 1839年1月16日-01:00|モナコ/フランス| |||<就任>モナコ総督・国務院議長「シャルル・アタセ・レイト・ウ・イラレイ」(~18471218)
- 1839年1月17日 00:00|イギリス| |||<死去>初代バッキンガム=シャントス公・シャントス侯・ストーの初代テンポル伯・3代ニュージエント伯「リチャード・テンポル=ニュージエント=ブリッジス=シャントス=グレンウイル」
- 1839年1月17日 00:00|イギリス| |||<就任>2代バッキンガム=シャントス公・5代テンポル伯・2代ストーのテンポル伯「リチャード・フランタジネット・テンポル=ニュージエント=ブリッジス=シャントス=グレンウイル」ニュージエント伯(~18610729死去)
- 1839年1月19日-03:00|イェメン/イギリス| |||<就任>イギリス領アデン司令官「Stafford Bettesworth Haines」(⇒1839. 9代理人~1854. 6)
- 1839年1月19日-03:00|イェメン/イギリス| |||イギリスが南部イェメンのアデンを占領し保護領とする
- 1839年1月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ヘッセン=ホンブルク方伯「ルトウヒ」
- 1839年1月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン=ホンブルク方伯「フリッパ」(~18461215死去)

1840迄 (2602件)

- 1839年1月19日 04:00|セントルシア/イギリス| |||<就任>イギリス領セントルシア副総督「マティアス・エグアード」(~1841年)
- 1839年1月19日-09:00|日本| ||天保9年12月5日|<死去>岸駒(83歳)画家
- 1839年1月20日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス軍ダーバン司令官「ハンリー・ジャクソン」(~12.24)
- 1839年1月20日 04:00|ホリビア/ペルー| |||ペルー・ホリビア連邦瓦解
- 1839年1月21日-09:00|日本|茨城県土浦市|天保9年12月7日|<交替>常陸土浦藩95000石「土屋彦直」隠居⇒長男「土屋寅直」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年5月6日、隠居)
- 1839年1月22日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「フレデリコ・レカブレ・デ・ブリト・エ・アルベロス・ドラコ・ハレンテ」(~18440207)
- 1839年1月25日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「アントニオ・マヌエル・デ・ロニ」(~11.23)
- 1839年1月25日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ロジャー・ソリー・ティンクラ」(~18400914死去)
- 1839年1月29日 00:00|イギリス| |||<死去>19代サウラント女伯「エリザベス・ルソン＝コア」
- 1839年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>2代サウラント公「ジョージ・クラウヴイル・サウラント＝ルソン＝コア」(~18610227死去)
- 1839年1月30日 06:00|グアテマラ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ暫定最高国家元首「カルロス・サラザール・カストロ」(~4.13)
- 1839年2月-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル民事委員「チャールズ・アウグストゥス・エティエンヌ・ミウス」(~18500421)
- 1839年2月 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>ヴァージン諸島主席「エドワード・ヘイ・ド・ラモント・ヘイ」(~1847年)
- 1839年2月1日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領「ルチオ・アントニオ・パエス・ペレーラ」(2期目~18430120)PG
- 1839年2月1日 05:00|エクトル| |||<就任>エクトル国大統領(⇒18430115暫定大統領⇒18430401大統領)「ファン・ルネ・フロレス」(2回目~18450306)
- 1839年2月1日 06:00|グアテマラ/エルサルバドル/ニカラグア/ホンジュラス/コスタリカ| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国大統領代行「ティエゴ・ウイナル・イ・コナー」(~18400331最終的に連邦共和国を解体)
- 1839年2月4日-09:00|日本| ||天保9年12月21日|<死去>9代木村庄之助(不明)大相撲立行司
- 1839年2月6日-09:30|オーストラリア| |||『ホート・フィリップ・ヘイトリット・アント・ムルン・アトウ・アタイザ』、ジョン・ハスコウ・フォーカーにより創刊
- 1839年2月6日-05:30|インド| |||<就任>コラバ国統治者(サクル)「カンナツ 2世アングリア」(~18400408没)
- 1839年2月6日-09:00|日本| ||天保9年12月23日|<死去>高井蘭山(78歳)読本作者
- 1839年2月8日-09:00|日本|東京都|天保9年12月25日|江戸で好色本・絵本類の店頭販売が禁止
- 1839年2月9日 00:00|南極/イギリス| |||英国人ジョン・バレーニ船長がエリザ・スコット号で南極圏の南に初めて上陸し、バレーニ諸島を発見上陸
- 1839年2月10日 03:00|アルゼンチン/ウルグアイ| |||ウルグアイがアルゼンチンに宣戦布告
- 1839年2月14日-13:00|トカラ/イギリス| |||ファカオ島の南島は、ジャクソン將軍のステーションR. クロッカー大尉が訪れ、デウホルフ島と名付けられました(船の所有者であるウィリアムとジェームズ・デウルフにちなんで)
- 1839年2月14日-09:00|日本|京都府京都市左京区|天保10年|蘭学医新宮涼庭が、南禅寺門前に順正書院を開校、日本で始めて系統的な蘭法医学教育を行った
- 1839年2月14日-09:00|日本|新潟県上越市|天保10年|<交替>越後高田藩15万石「榊原政養」隠居⇒弟「榊原政愛」が継ぐ(⇒文久元(1861)年8月12日、死去)
- 1839年2月14日-09:00|日本| ||天保10年1月|<出版>喜多武清「絵本勲功草」
- 1839年2月14日-09:00|日本| ||天保10年1月|<出版>八島五岳「貞経」
- 1839年2月14日-09:00|日本| ||天保10年1月|渡辺華山、慎機論を執筆
- 1839年2月14日-09:00|日本| ||天保10年1月1日|江戸で、町火消しの出初め式が禁じられる
- 1839年2月17日 04:00|チリ/ペルー| |||アルゼンチン將軍の指揮するチリ＝ペルー保守派連合軍、リマの北方ユンガイの戦いでサンタクルスを打破る
- 1839年2月18日 04:00|アルバ/オランダ| |||<就任>アルバ島指導者「Jacobus Jarman, Jr.」(~1848年)
- 1839年2月19日 00:00|イギリス| |||<死去>初代セッターント伯「ロレンス・ダンダス」
- 1839年2月19日 00:00|イギリス| |||<就任>2代セッターント伯「トマス・ダンダス」(~18730506死去)
- 1839年2月20日 03:00|アルゼンチン/ホリビア/ペルー| |||アルゼンチン軍もホリビア入りし、勝利/ペルー＝ホリビア連合崩壊。サンタクルスは失脚しエクトルに亡命/ガマ將軍がペルー大統領に就任
- 1839年2月22日 04:00|ホリビア| |||<就任>ホリビア共和国暫定最高首長「ルチオ・ミゲル・デ・ペラスコ・フランコ」(3回目⇒6.16暫定大統領⇒18400815大統領~18410610)
- 1839年2月26日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣「アヴラム・ペトロエウイッチ」(1回目~18400508)
- 1839年3月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ハサン・パシャ」(1回目~1840年7月)
- 1839年3月1日 03:00|ウルグアイ| |||<就任>ウルグアイ東方共和国大統領「ガブリエル・アントニオ・ペレイラ」無所属(2期目~25日)
- 1839年3月5日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督代行「ルチオ・アントニオ・ウイエイラ・ダ・フォンセカ」(~11.12)
- 1839年3月7日 03:00|ブラジル| |||マレオンで黒人ら下層民衆の白人に対する反乱、逃散農民、牧童、職人、黒人奴隷など5千人が蜂起/筆作り(ハラヤダ)の反乱/カラスを襲撃した後コホにたてこもる
- 1839年3月8日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事代行「ジョン・アレクサンダー・マイン」(1期目~24日)
- 1839年3月8日-09:00|日本|岡山県倉敷市|天保10年1月23日|<交替>岡山新田藩15000石「池田政範」隠居⇒養子「池田政和」が継ぐ(⇒安政2(1855)年12月27日、隠居)
- 1839年3月9日-01:00|ドイツ| |||プロシヤで、初めて少年労働の禁止と青年の10時間労働制が定められる
- 1839年3月11日-01:00|ドイツ| |||<初演>フェリックス・メンデルソーン《序曲「ルイ・ブラス」》
- 1839年3月13日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|天保10年1月28日|<死去>鍋島齊直(60歳)前肥前佐賀藩主

1840迄 (2602件)

- 1839年3月16日-09:00|日本|山形県米沢市|天保10年2月2日|<死去>出羽米沢藩15万石「上杉齊定」(52歳)⇒4月3日、長男「上杉齊憲」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、隠居)
- 1839年3月18日 07:00|メキシコ| ||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「アントニオ・ロペス・デ・サンタアナ・イ・ペレス・デ・レブロン」(~7. 10)
- 1839年3月19日-01:00|フランス| ||フランスで世界初のカメラ「ダゲレタイプ」が発表される
- 1839年3月19日 00:00|ガーナ/デンマーク| ||<就任>デンマーク領ゴールドコースト総督代行「ハンス・アンヘル・ジエ」(~8. 1)
- 1839年3月20日 00:00|イギリス| ||イギリスでコテンやブライトが反穀物法同盟を結成
- 1839年3月24日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード 知事「エヴァン・ジョン・マレー・マクレガ-卿(総督)」(~28日)
- 1839年3月25日 03:00|ウルクアイ| ||<就任>ウルクアイ東方共和国大統領「フルトゥオリ・リベ-ラ」コロラド 党(3期目~18430301)
- 1839年3月28日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メリテ暫定総督「Ramon Robere」(~同年)
- 1839年3月28日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード 知事代行「ジョン・アレクサンダー・マイン」(2期目~18400413)
- 1839年4月-05:45|ネーデル| ||<再任>ネーデル王国第7代主任大臣「ラナ・ジャンガ・ハンテ」(2期目~1840. 11)
- 1839年4月-05:30|インド| ||<就任>ヒマラヤ国ラジャ「シヤット・チャンド」(~1850年)
- 1839年4月-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アフガニスタン対立大王(カンダハール)「シュジャー-アル-ムルク-シャー」(⇒5. 8、アフガニスタン王(カブル))
- 1839年4月 04:00|ボリビア/チリ/ペルー| ||勢いに乗る刊軍は連合軍の残党を打ち破り、ふたたびリマを占拠/ペルー=ボリビア連合崩壊/サンタクルスは失脚しエクトルに亡命
- 1839年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャンバ ッティスタ・ボネリ」「ハルトロメオ・バルトロッティ」
- 1839年4月1日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<設立>リベリア連邦(モンロビア、ニュージョージア、コートウエル、ミルズバーグ、マシヤル、ベクスリ、パッサコブ、エインの植民地または入植地が統一政府を形成)
- 1839年4月3日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| ||<就任>ノーフォーク島司令官「Thomas Bunbury」(~11月)
- 1839年4月3日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 副卿「ヒュー・フォーテスキュー」(~18410915)
- 1839年4月4日 00:00|リベリア/アメリカ| ||<就任>リベリア連邦総督「トマス・ブキャナン」(~18410903)
- 1839年4月4日 10:00|ハワイ| ||<死去>ハワイ諸島王国首相「Kinau」
- 1839年4月5日 10:00|ハワイ| ||<就任>ハワイ諸島王国首相「Kekauluohi」(~18450607)
- 1839年4月7日 04:00|トミカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領トミカ副総督「ジョン・マクフェイル」(1回目~1840年)
- 1839年4月8日-01:00|スイス| ||<死去>スイスの物理学者、哲学者ヒェル・フーレ/88歳(誕生17510303)/「フーレ」の熱交換法則を発表した
- 1839年4月10日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保10年2月27日|長崎樺島町の亀太郎が唐船の水夫と密買し唐館の門前で斬罪となる/共犯者4人も処刑し唐人は再度航を禁じる
- 1839年4月11日 00:00|セネガル/フランス| ||<就任>フランス領セネガル総督「キヨム・バジール・シャルマソント・フイヴァル」(~18410518)
- 1839年4月11日-09:00|日本|宮城県登米市|天保10年2月28日|陸前森上行寺焼失
- 1839年4月12日 04:00|バミューダ/イギリス| ||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ウィリアム・レイト」(~18461130)
- 1839年4月13日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| ||<就任>トリニダード 知事「ヘンリー・ジョージ・マクラウド 卿」(1期目~11. 21)
- 1839年4月13日 06:00|グアテマラ| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国グアテマラ最高国家元首代行「マリアノ・リベラ・ベ-ス」(2回目~12. 3)
- 1839年4月13日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「フェリペ・ネリ・メイヤル・デ・ラス・イ・フェルナンデス・デ・コルトバ」(~15日)
- 1839年4月14日-09:00|日本| ||天保10年3月|<出版>柳川重信「名数狂歌集」
- 1839年4月14日-09:00|日本|千葉県木更津市|天保10年3月|<加増>上総貝淵藩13000石「林忠英」+5000石⇒18000石(⇒天保12(1841)年4月17日、8000石召し上げられ1万石)
- 1839年4月15日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「ファン・ホセ・アルバラド」(~27日)
- 1839年4月16日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国主席大臣代行「フランスコ・デ・ポ-ラアルメイト・エ・アルバカキ」(~9. 1)
- 1839年4月16日-09:00|日本|東京都墨田区|天保10年3月3日|<大相撲>天保10年03月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西前1)天津風, 7勝0敗1分2休
- 1839年4月17日 00:00|ポルトガル| ||<就任>ポルトガル王国第10代首相「ロドリゴ・ピント・ピメンテル・デ・アルメイダ・カルヴァルハス・エ・ダ・ノブレガ-カ・ピサロ」(~11. 26)
- 1839年4月17日 06:00|グアテマラ| ||グアテマラが中米連邦から離脱, 主権国家宣言
- 1839年4月19日-01:00|オランダ| ||<就任>リンブルフ公「オランダ 国王」(~18670511)
- 1839年4月19日-01:00|オランダ/ベルギー| ||オランダはベルギーの独立を承認
- 1839年4月19日-01:00|ベルギー-ルクセンブルグ| ||ルクセンブルグ大公国、領土の西半分をベルギーに割譲
- 1839年4月20日-09:00|日本|長崎県長崎市|天保10年3月7日|長崎江戸町の卯吉が東築町の重義と共謀して唐船水夫と密買し死刑となる
- 1839年4月23日 00:00|イギリス| ||<死去>エセックス伯「ジョージ・カール・コンングスビー」
- 1839年4月23日 00:00|イギリス| ||<就任>エセックス伯「アーサー・アルジャーノン・カール」(~18921111死去)
- 1839年4月26日-04:30|アフガニスタン/イギリス| ||イギリス軍が、アフガニスタンのカンダハールを占領
- 1839年4月27日 06:00|ホンジュラス| ||<就任>ホンジュラス最高国家元首代行「ホセ・ラ・クルス・ゲレロ・デ・アルコス・イ・モリーナ」(~8. 10)
- 1839年4月27日-09:00|日本|福島県いわき市|天保10年3月14日|<死去>本多忠知(53歳)前陸奥泉藩主

1840迄 (2602件)

- 1839年4月28日-09:00|日本| ||天保10年3月15日|<死去>初代尾形周平(52歳)陶工  
1839年5月-03:00|スダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スダン総督「アムト・ハ・シヤ・アブ・ウタン」(~1844年10月)  
1839年5月1日 06:00|エルサルバドル| ||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「アントニオ・ホセ・ケス・キンタニョ」(1回目~7.13)  
1839年5月3日-09:00|日本|愛知県名古屋|天保10年3月20日|<死去>尾張藩61万9500石「徳川齊温」(21歳)⇒27日、弟「徳川齊荘」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年7月6日、死去)  
1839年5月4日 00:00|イギリス| ||<創業>英国,British and North American Royal Mail Steam Packet Company (→キョウト汽船会社)  
1839年5月8日-04:30|アガニスタン| ||<即位>アガニスタン王(カブル)「シジヤール・ムルク・シャー」(2回目~18420405暗殺される)  
1839年5月9日-09:00|日本|東京都千代田区|天保10年3月26日|<交替>田安德川家「徳川齊荘」尾張徳川家を相続⇒養子「徳川慶頼」(田安家第3代「徳川齊匡」の九男)が継ぐ(⇒文久3(1863)年1月18日、隠居)  
1839年5月12日-01:00|フランス| ||<就任>フランス王国第19代首相「ニコラ・ジャン・ド・デュ・ヌール」無党派軍人(第2次~18400301)  
1839年5月12日-01:00|フランス| ||フランス、社会主義革命家アルマン・バルバースとルイ・オーギュスト・ブランキ率いる季節社が「市庁舎」(4区)の「警察詰め所」に侵入し、死者5人をだす  
1839年5月14日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>ナール人民代表評議会議長「ヨハネス・ステファナス・マリツ」(1回目~1840年3月)  
1839年5月15日 06:00|ニカラガ| ||<就任>ニカラガ独立共和国暫定最高取締役「パトリオ・リバス」(1回目~21日)  
1839年5月16日 00:00|イギリス| ||<死去>初代ホウイス伯「エドワード・クラウ」  
1839年5月16日 00:00|イギリス| ||<就任>2代ホウイス伯「エドワード・ハーバート」(~18480117死去)  
1839年5月21日 06:00|ニカラガ| ||<就任>ニカラガ独立共和国最高取締役「ホキン・デル・ゴソ」(2回目~10.20)  
1839年5月22日-05:30|インド| ||<死去>キヤンガル国マハラジャ「カリヤン・シン」  
1839年5月22日-05:30|インド| ||<即位>キヤンガル国マハラジャ「モカム・シン」(~18410831没)  
1839年5月25日-09:00|日本|山形県山形市|天保10年4月13日|<交替>出羽山形藩6万石「秋元久朝」隠居⇒甥「秋元志朝」が継ぐ(⇒弘化2(1845)年11月30日、上野館林藩6万石に移封)  
1839年5月27日-09:00|日本|東京都江東区|天保10年4月15日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂大矢数」で、太田信吉(11歳)が11,760本(総矢数12,015中)を記録  
1839年5月27日-09:00|日本|東京都江東区|天保10年4月15日|江戸深川三十三間堂通矢「半堂百射」で、太田信吉(11歳)が100本(総矢数100)を記録。完全記録  
1839年5月28日-05:30|インド| ||<就任>コホ・ヒール国ラジャ「シグ・エンドラ・ナヤン」(~18470823)  
1839年5月30日 04:00|セントクリストファー・ネイビス/イギリス| ||<就任>イギリス植民地セントクリストファーズ 副総督「チャールズ・ソントン・カンガム」(~18470114)  
1839年6月6日-09:00|日本| ||天保10年4月25日|<死去>春木南湖(81歳)画家  
1839年6月7日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|天保10年4月26日|<死去>日向国佐土原藩27000石「島津忠徹」(43歳)⇒三男「島津忠寛」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)  
1839年6月23日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メキシコ総督「Demetrio Maria de Benito y Hernandez」(~1847年)  
1839年6月23日-01:00|ルクセンブルク/オランダ| ||<就任>ルクセンブルク弁務官「クリスティアン・エルスト・スティフト」「ハンス・ダニエル・ルートヴィヒ・フリートリヒ・ハッペンフルク」(~9.23)  
1839年6月24日-02:00|エジプト/トルコ| ||第2次エジプト・トルコ戦争が勃発  
1839年6月24日-09:00|日本|東京都中央区|天保10年5月14日|<蛭社の獄>渡辺華山、捕縛され伝馬町の獄に  
1839年6月25日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア公「ミラノ・オブレノヴィッチ2世」(~7.8死去、わずか26日間の支配)  
1839年6月26日-09:00|日本|青森県黒石市|天保10年5月16日|<交替>黒石藩1万石「津軽順承」本家弘前藩を継ぐ⇒養子「津軽承保」が継ぐ(⇒嘉永4(1851)年9月24日、31歳で死去)  
1839年6月26日-09:00|日本|青森県弘前市|天保10年5月16日|<交替>陸奥弘前藩10万石「津軽信順」強制隠居⇒養子(黒石藩主)「津軽順承」が継ぐ(⇒安政6(1859)年2月7日、隠居)  
1839年6月27日-08:00|台湾| ||台湾、嘉義地震(M6.5)死者約117人  
1839年6月27日-05:30|インド| ||<死去>ハンゾウヤブ 国マハラジャ「ランジート・シンク」(1799年~)  
1839年6月27日-05:30|インド| ||<即位>ハンゾウヤブ 国マハラジャ「カラク・シン」(10.8廃位~18401105没)  
1839年6月27日-09:00|日本|茨城県笠間市|天保10年5月17日|<死去>常陸宍戸藩1万石「松平頼かた」(39歳)⇒養子「松平頼位」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年9月21日、隠居)  
1839年6月27日-09:00|日本|東京都中央区|天保10年5月17日|<死去>小関三英. 蛭社の獄による処罰を恐れて自害(53歳)蘭学者、蘭方医  
1839年6月28日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|天保10年5月18日|<死去>美濃加納藩32000石「永井尚佐」(57歳)⇒7月10日、次男「永井尚典」が継ぐ(⇒文久2(1862)年10月2日、隠居)  
1839年6月28日-09:00|日本|東京都中央区|天保10年5月18日|<蛭社の獄>高野長英、自首し捕縛され伝馬町牢屋敷に収監  
1839年6月30日 00:00|イギリス| ||<死去>2代ルーカン伯「リチャード・ヒンガム」  
1839年6月30日 00:00|イギリス| ||<就任>3代ルーカン伯「ジョージ・チャールズ・ヒンガム」(~18881110死去)  
1839年7月 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ総督「ホセ・ゴンサルベス・バルバサ」(1回目~1840年7月)  
1839年7月1日-02:00|トルコ| ||<死去>オスマン帝国第30代スルタン「マフムト2世」54歳(誕生17840720)  
1839年7月1日-02:00|トルコ| ||<即位>オスマン帝国第31代スルタン「アブデュルメジト1世」先代マフムト2世の息子(~18610625死去)

1840迄 (2602件)

- )
- 1839年7月2日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カ・ヒュスレフ・マフムド・パシャ」(~18410608)
- 1839年7月2日 05:00|キューバ/スペイン| |||<アミスタッド号事件>スペイン籍の奴隷輸送船「アミスタッド号」でアフリカ人53名がキューバ沖で反乱、船を乗っ取る
- 1839年7月5日-09:00|日本|奈良県桜井市|天保10年5月25日|<死去>織田長宇(73歳)前大和芝村藩主
- 1839年7月6日-09:00|日本| ||天保10年5月26日|幕府が、農民が武芸を学ぶことを禁止
- 1839年7月8日-01:00|セルビア| |||<死去>セルビア公「ミラン・オブレノヴィッチ2世」
- 1839年7月8日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公「セルビア王子ミハイロ・オブレノヴィッチ3世」(1回目~18420914、憲法擁護派によって退陣させられた)
- 1839年7月10日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領代行「ニコラス・ブラボール」(~17日)
- 1839年7月11日-05:30|インド/イギリス| |||<ハット国はイギリス領インドの一部>(~1842年)
- 1839年7月11日-09:00|日本|東京都千代田区|天保10年6月|佐久間象山、神田お玉が池に象山書院開く
- 1839年7月13日-05:30|インド| |||<就任>プロウッコタイ国ラジャ「ラマチャンドラ・トングイマン」(~18860415没)、摂政「T. マクリン」(~18391014)
- 1839年7月13日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首「フランシスコ・モラサン」(2回目~18400404)
- 1839年7月14日 00:00|イギリス| |||<死去>8代リッジー伯「ハトリック・リッジー」
- 1839年7月14日 00:00|イギリス| |||<就任>9代リッジー伯「ハンリー・リッジー=ヘーストン」(~18510219死去)
- 1839年7月14日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|天保10年6月4日|<交替>肥前鹿島藩25000石「鍋島直永」隠居⇒養子「鍋島直晴」が継ぐ(⇒同年8月21日、急死)
- 1839年7月16日 04:00|BES諸島/セント・マルテン/アルバ/キュラソー/オランダ/スリナム| |||<就任>オランダ領西インド諸島総督「ユリウス・コンスタンティン・ライク」(~18420331)
- 1839年7月28日-09:00|日本|岡山県真庭市|天保10年6月18日|<死去>美作勝山藩23000石「三浦峻次」(19歳)⇒弟「三浦義次」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年11月22日、隠居)
- 1839年7月31日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|天保10年6月21日|<交替>石見津和野藩43468石「亀井茲方」隠居⇒養子「亀井茲監」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1839年8月-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル首相「ラナ・ジャン・ハント」(2回目~1840年11月)
- 1839年8月 04:00|フォーランド/イギリス| |||<就任>フォーランド諸島常駐海軍担当官代理「ウィリアム・Robinson」(~12.23)
- 1839年8月1日 00:00|カナデンマーク| |||<就任>デンマーク領ゴールド・コースト総督代行「ルーカス・ダール」(~18420524)
- 1839年8月1日 03:00|ブラジル| |||<ハライヤダ>、ふたたびガラスを攻撃/マラニョン州東部全域と、隣接するピアウイ州の北西部を支配
- 1839年8月2日-04:30|アフガニスタン| |||<廃位>アフガニスタン首長国エミール「ドスト・モハメド・カン」イギリス軍に捕らえられる
- 1839年8月3日-09:00|日本| ||天保10年6月24日|<死去>初代村屋勝五郎(不明)長唄三味線方
- 1839年8月5日 00:00|イギリス/ブルネイ/マレーシア| |||英国人探検家ジョージ・ブルックがボルネオ島北部サラワクのケンに上陸
- 1839年8月5日-09:00|日本|群馬県高崎市|天保10年6月26日|<死去>上野高崎藩82000石「松平輝承」(23歳)⇒9月12日、養子「松平輝徳」が継ぐ(⇒翌年9月14日、死去)
- 1839年8月7日 00:00|イギリス/アフガニスタン| |||イギリス軍がカブールに入城し、アフガニスタンに傀儡政権を樹立
- 1839年8月9日-09:00|日本|京都府京都市|天保10年7月|京で「豊年踊り」流行
- 1839年8月10日-12:00|ウオリス・フツナ| |||<死去>シャーク王「Vanae」
- 1839年8月10日-12:00|ウオリス・フツナ| |||<即位>トウア(70)王「Niuliki」シャーク王国を占領(~1841年)
- 1839年8月10日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「マリア・ノ・ガリョ」(~20日)
- 1839年8月19日-01:00|フランス| |||フランス政府が、ルイ・ダゲール(52)の発明した銀板写真法をフランス科学アカデミーで公表する(「ダゲレタイプ」と呼ばれる)
- 1839年8月20日-01:00|ドイツ| |||<即位>ナッサ公「アドルフ」(~18660920~19051117死去)
- 1839年8月20日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「ホセ・マリア・ブスティロ」(~27日)
- 1839年8月25日-09:00|日本|熊本県人吉市|天保10年7月17日|<交替>肥後人吉藩22165石「相良頼之」隠居⇒長男「相良長福」が継ぐ(⇒安政2(1855)年7月12日、病死)
- 1839年8月27日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「閣僚評議会:モニコ・ブエヨ・ソト/フランスコ・デ・アギラル」(~9.21)
- 1839年8月28日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの探検家・地質学者ウィリアム・ミス(17690323~)「累重の法則」「化石による同定の法則」など地質学の理論を論文にまとめた
- 1839年8月31日-01:00|スペイン| |||第1次カリスタ戦争が終結。ベルガ協定に調印。バスクの自治権が認められる
- 1839年9月-09:30|オーストラリア| |||<ポート・ダーウィン、ビーグル号のジョン・ロート・ストークスらによって北部オーストラリア測量中に発見
- 1839年9月1日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「マヌエル・アントニオ・ガルベーン」(2回目~18400502)
- 1839年9月5日-05:30|インド| |||<就任>サタ国最高統治者(ラジャ・チャトラパティ)「シャフジ 3世アッパ・サーヒブ」(~18480405没)
- 1839年9月5日-01:00|オランダ/ドイツ| |||<加盟>ドイツ連邦:リンブルフ公国
- 1839年9月10日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ドニゼッティ《歌劇「パリのジャンニ」》
- 1839年9月10日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官兼管理者「Louis Alexandre Mamyneau」(~18420701)
- 1839年9月17日 00:00|ガンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領ハースト副総督代行「トマス・ルイス・イングラム」(1回目~18400410)
- )
- 1839年9月18日-09:00|日本| ||天保10年8月11日|幕府が、100目以上の重さの鉄砲新鑄の届け出を義務とする

1840迄 (2602件)

- 1839年9月21日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「セ・フランスコ・セラ・イ・アイズ」(~18401231)
- 1839年9月23日-01:00|ルクセンブルク/オランダ| |||<就任>ルクセンブルク大公国公務員長「ハンス・ダニエル・ルートヴィヒ・フリートリヒ・ハッペンブルク」(~18401026)
- 1839年9月23日-09:00|日本|茨城県牛久市|天保10年8月16日|<交替>常陸牛久藩1万石「山口弘封」隠居⇒弟「山口弘毅」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年11月19日、40歳で死去)
- 1839年9月24日 03:00|ブラジル| |||<就任>カリハルティ、サンタカタリナ州の湖沼地方を確保、ジュリア共和国を宣言
- 1839年9月26日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントピア総督「チャールズ・テオフィルス・メカーフ卿」(~18420519)
- 1839年9月28日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラド・エイスモ民政知事「Jose Silvestre Ribeiro」(~18441113)
- 1839年9月28日-09:00|日本|佐賀県鹿島市|天保10年8月21日|<死去>肥前鹿島藩25000石「鍋島直晴」(19歳)⇒翌年5月28日、養子「鍋島直賢」が継ぐ(⇒嘉永元(1848)年9月14日、隠居)
- 1839年9月28日-09:00|日本|兵庫県姫路市|天保10年8月21日|<死去>播磨安志藩1万石「小笠原長武」(31歳)⇒12月14日、次男「小笠原貞幹」が継ぐ(⇒万延元(1860)年11月6日、本家の豊前国小倉藩家督相続)
- 1839年10月 03:00|アルゼンチン/ウルグアイ| |||<就任>リベラ、アルゼンチンの叫びに対し宣戦布告
- 1839年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアノ・マルベリ」 「ピエツォ・マルテリ」
- 1839年10月1日-09:00|日本|北海道|天保10年8月24日|<死去>蝦夷松前藩1万石「松前良広」(17歳)⇒10月16日、弟「松前昌広」が継ぐ(⇒嘉永2(1849)年6月9日、隠居)
- 1839年10月3日-01:00|イタリア| |||<就任>ナポリで初の鉄道が開通
- 1839年10月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ海軍少将スティーヴン・マリアン(1900t、ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1839年10月8日-05:30|インド| |||<即位>ハンジヤブ 国マハラジャ「ナウ・コハル・シン」(~19401117没)
- 1839年10月8日-05:30|インド| |||<即位>ハンジヤブ 国マハラジャ「カラク・シン」息子ナウ・コハル・シンにより投獄された(~18401105没)
- 1839年10月13日-09:00|日本|福島県相馬市|天保10年9月7日|<死去>相馬樹胤(59歳)前陸奥相馬中村藩主
- 1839年10月17日-01:00|ルウェー| |||<就任>ルウェー首席国務長官「ニコライ・ヨハン・ローマン・クロック」(~18550105)
- 1839年10月18日 00:00|イギリス| |||<死去>3代キング・ストン伯「ジョージ・キング」
- 1839年10月18日 00:00|イギリス| |||<就任>4代キング・ストン伯「ロバート・ヘンリー・キング」先代の息子(~18670121死去)
- 1839年10月20日 00:00|イギリス| |||<死去>ペットフォード公「ジョン・ラッセル」
- 1839年10月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ペットフォード公「フランシス・ラッセル」先代の子(~18610514死去)
- 1839年10月20日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役「ヒラリオ・ウジヨ」(~11.7)
- 1839年10月21日-02:00|南アフリカ| |||<就任>オランダ系住民のボーマ人がナール共和国を樹立
- 1839年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>6代アーガイル公「ジョージ・ウィリアム・キャンベル」
- 1839年10月22日 00:00|イギリス| |||<就任>7代アーガイル公「ジョン・ダグラス・ヘンリー・エドワード・キャンベル」(~18470425死去)
- 1839年10月26日-01:00|ルクセンブルク/オランダ| |||<就任>ルクセンブルク州政府長官「ジャン・バティスト・ジエリ」(~18411231)
- 1839年11月-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノーフォーク島司令官「Thomas Ryan」(~18400328)
- 1839年11月3日-02:00|トルコ| |||<就任>イスタンブールのトプカプ宮殿の庭園でギョルネ勅令が公布され、タンジマート(恩恵改革)が始まる
- 1839年11月3日-08:00|中国| |||清・道光19年9月28日|広東の川鼻で清軍とイギリス軍が衝突
- 1839年11月4日-08:00|マレーシア| |||<即位>トレンガヌスultan「トゥアンク・ウマル・イブニ・アルマラム・スultan・アブドゥル・ラーマン」(2回目~18760411)
- 1839年11月7日 06:00|ニカラガア| |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役「トマス・ハリアタレス」(~18400827)
- 1839年11月12日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督「マヌエル・ホセ・メンデス・バランテ・カンダル」(~18400418没)
- 1839年11月13日-05:00|パキスタン| |||<死去>カラット国ワリ「マフムト・カーン1世」
- 1839年11月13日-05:00|パキスタン| |||<就任>カラット国ワリ「メフラーブ・カーン2世」(~1840年)
- 1839年11月13日 06:00|アメリカ| |||最初の奴隷制度反対の党、リベラル・パーティ(自由党)が結成される
- 1839年11月14日-05:30|インド| |||<就任>ブドゥッコタイ国摂政「アーチボルト・ダグラス」(~18410320)
- 1839年11月15日 03:00|ブラジル| |||<就任>カリハルティ、反撃にあい湖沼地帯から撤退
- 1839年11月15日 03:00|ブラジル| |||サンタカタリナがブラジルへ再編
- 1839年11月16日 03:00|仏領ギアナ/フランス| |||<就任>ギアナ総督「Jean-Baptiste Marie Augustin Gourbeyre」(~18410606)
- 1839年11月17日-01:00|イタリア| |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「オペラ、サン・ボニファチオ伯爵」》
- 1839年11月23日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督代行「マヌエル・エウゼビオ・マレイロ」(~1842年4月)
- 1839年11月24日-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・イクトル・ベルリオーズ《劇的交響曲「ロメオとジュリエット」》
- 1839年11月26日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第11代首相「ホセ・ルイ・トラウサス・バルテス」(~18410609)
- 1839年12月-05:30|インド/イギリス| |||<就任>ケルナル国はイギリス領インドに併合(マドラスの一部、19531001からアンドラ・プラデシュ州)
- 1839年12月3日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク国王「フレデリック6世」兼ザクセン＝ラウエンブルク公「フリートリヒ1世」兼シュレースヴィヒ公・ホルシュタイン公「フレデリック6世」71歳(誕生17680123)
- 1839年12月3日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王・シュレースヴィヒ＝ホルシュタイン公「クリスチャン8世」王子フレデリクとゾフィー・フリーデリケ・ツェーメレンブルクの長男(~18480120死去61歳)

1840迄 (2602件)

- 1839年12月3日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ共和国大統領「マリアノ・リベラ・ラハス」(1回目~18420225)
- 1839年12月6日-05:30|インド| |||<就任>アマド・ナル国摂政「タト・シン」(~18410928)
- 1839年12月6日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガルの民政知事代理「Francisco Garcia do Rosario」(~18400203)
- 1839年12月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・道光19年11月|朝鮮でキリスト教禁止
- 1839年12月9日-09:00|日本| ||天保10年11月4日|<死去>植木玉匡(59歳) 詩人、狂詩作者
- 1839年12月10日-09:00|日本| 島根県浜田市|天保10年11月5日|<死去>石見浜田藩61000石「松平齊厚」(57歳)⇒婿養子「松平武揚」が継ぐ(⇒天保13(1842)年7月28日、死去)
- 1839年12月10日-09:00|日本| 東京都墨田区|天保10年11月5日|<大相撲>天保10年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西小結)天津風, 6勝0敗2分2休
- 1839年12月14日-09:00|日本| ||天保10年11月9日|<死去>辰亮(80歳) 浄土宗の僧、画家
- 1839年12月16日-09:00|日本| 愛知県西尾市|天保10年11月11日|<死去>三河国西尾藩6万石「松平乗寛」(63歳)⇒翌年1月18日、長男「松平乗全」が継ぐ(⇒文久2年(1862年)11月25日、1万石減封され隠居)
- 1839年12月17日-09:00|日本| 群馬県富岡市|天保10年11月12日|<死去>上野七日市藩1万石「前田利和」(49歳)⇒翌年2月2日、養子「前田利裕」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1839年12月20日 03:00|ブラジル| |||政府軍、リオパルドで反攻。RioPardoをふたたび確保
- 1839年12月23日 04:00|フォークランド/イギリス| |||<就任>フォークランド 諸島常駐海軍担当官「ジョン・Tyssen」(~18420122)
- 1840年-13:30|キリバス| |||<死去>アヘマ首長(UEA)「カロウ」
- 1840年-13:30|キリバス| |||<就任>アヘマ首長(UEA)「タワイ」(~1850年没)
- 1840年-11:00|ミクロネシア| |||<即位>モル国王「ワタワ」(~1842年没)
- 1840年-08:00|マレーシア| |||<就任>ジョホール統治者(ウダング・ルアク・ジョホール)「ダトウク・サヒト」(~1900年没)
- 1840年-08:00|インドネシア| |||<即位>ランカト・スルタン「Musa」(~1893年)
- 1840年-07:00|ラオス| |||<死去>チャンパ・サク王「フイ」
- 1840年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「アン・ト・ウオン」(⇒1845. 12清による承認~18601019死去)
- 1840年-07:00|ラオス| |||<即位>チャンパ・サク王「ナク」(~1850年没/1840年までフイの摂政)
- 1840年-07:00|タイ| |||<即位>ラムフーン国王「タマランカー」(~1843年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>アリブ・ラ国統治者(ラオ)「ダウラット・シン」(~1841年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>ウアラ国統治者(タクル・サヒブ)「ハタハ・イ・カバイ」(~1853年没)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>クムハルサイ国統治者(タナ・サハブ)「フリタム・シン」(~1858年没)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>コッタ・サンカニ国統治者(タコル)「メロジ」(~1862年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>シユバル国統治者(ラ)「モラック・ラム」(~1854年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>ソハル国統治者(レイ)「シエ・シン」(~1865年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>トラオン国統治者(ジョーベ)「カムタ・フ・ラト」(~1856年没)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>テラス国ラジヤ「ハイハ・ラオ・フ・アール」(~18640512没)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>ハイサウタ国統治者(ジョベイ)「テイラト・フ・ラト」(~18851010没)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>ハラナ国統治者(タクル・サヒブ)「ノハンジ 4世カクタジ」(~1860年)
- 1840年-05:30|インド| |||<就任>ハルチオ国統治者(ジョベ)「ナトゥ・ラム」⇒「ラジヤ・ラム」(~1842年10月没)
- 1840年-05:30|インド| |||<即位>ラック王「クガ・ナムギヤル2世」(~1842年)
- 1840年-05:30|インド/イギリス| |||シヤラカンはイギリス領インド(北西部州の一部)に併合
- 1840年-05:30|インド/イギリス| |||シユバル国をイギリス領インドが統治(~1854年)
- 1840年-05:00|パキスタン| |||<死去>ナガル国ミル・タム「エスカタル・カン1世」
- 1840年-05:00|パキスタン| |||<就任>カラット国ワリ「ホシ・ナシル・カン2世」(~1857年没)
- 1840年-05:00|パキスタン| |||<就任>ギルギット国統治者「ヤシンのコハル・アマン・シャー」(~1842年)
- 1840年-05:00|パキスタン| |||<就任>シンド国カン「シャハート・イブン・ヌール・モハマト」「ホシ・アリ・ブン・ヌール・モハマト」(~18430212)
- 1840年-05:00|パキスタン| |||<就任>ナガル国ミル・タム「カリム・カン」(~1844年没)
- 1840年-04:30|アフガニスタン| |||<就任>カブル首相(ワズール・イ・アザム)「モハマト・ウスマン・カン・サトザイ」(~1842年)
- 1840年-04:00|ジョージア| |||<就任>ミンゲリア公「ダビット」(~18530911没)
- 1840年-04:00|UAE| |||<即位>シャルジャ統治者(ハキム)「Sheikh Saqr ibn Sultan al-Qasimi」⇒「Sheikh Sultan1世 ibn Saqr al-Qasimi」(3期目~1866年死去)
- 1840年-04:00|アゼルバイジャン| |||<廃止>タリシュ・ムカハン汗国
- 1840年-03:00|イェメン| |||<即位>上ヤファ・サルタン「Abd Allah」(~1866年)
- 1840年-03:00|スーダン| |||<即位>タリ国王(ウスター)「アル・マリユト・ワラト・イスマーイル」(~1843年)
- 1840年-03:00|ケニア| |||<即位>ハテスルタン国スルタン「Ahmad ibn Fumo Bakari, Mfalume」(~1856年)
- 1840年-03:00|スーダン/エジプト| |||カッサラがエジプトのスーダンに併合
- 1840年-02:00|エスワティニ| |||<就任>スワジランド 最高支配者「ムスワティ2世」(~1865年8月没)
- 1840年-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ハリコフ=ポルトガール=フェルニコフ総督「Knyaz' Nikolay Andreyevich Dolgorukov」(~1847年死去)
- 1840年-02:00|ジンバブエ| |||<就任>マンゴウエ統治者(マンボ)「マコニ11世ニヤムヒンティイ」(~1865年)
- 1840年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>カバ王国ニミ「ホベ・モヒンジ」(~1885年)
- 1840年-01:00|ベナン| |||<死去>サヘ統治者「ハクン・コソニ」
- 1840年-01:00|スペイン| |||<就任>アンブリアス伯「Luis Tomas Fernandez de Cordoba y Ponce de Leon」(~1873年)
- 1840年-01:00|ベナン| |||<就任>サヘ統治者「イソ・モ」(~1845年)

1840迄 (2602件)

- 1840年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「フィリップ」(~1905年)  
1840年-01:00|ポーランド| |||<就任>ラチフシュ公「Victor1世 Moritz Carl」(~18930130死去)  
1840年-01:00|ドイツ| |||<就任>リッペン＝ヒェステルフェルト侯「Julius」(~18840517死去)  
1840年-01:00|ドイツ| |||<昇格>イゼンブルク＝ヒューテングン伯「エルスト・カジミール3世」⇒イゼンブルク＝ヒューテングン侯「エルスト・カジミール1世」(~1848年)  
1840年-01:00|ガボン| |||<即位>オランダ王国国王「オランダ・ロコンベ・イキンダ」(~1862年)  
1840年-01:00|アルゼンチン| |||<即位>トウケルト・スルタン「アブド・アルラフマン」(~1852年)  
1840年-01:00|カメルーン| |||<即位>レイ・フーバ・スルタン国スルタン「フーバ・イェリマ・サイネ」(~1845年)  
1840年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アク王国指導者「ジョン・マコーレー(アタバ)」(~18671205没)  
1840年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>アリカ国統治者(アリカ)「モリア・キントウ」  
1840年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ス統治者「ハンバ・ミナ・ラハイ(マリシア)」  
1840年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>テムネ王国統治者(ハイス)「モリア・キント」(~1859年)  
1840年 00:00|コートジボワール| |||<即位>サカスへのウル王国国王「ナン・クアコウ・ヌーブル1世」(~1870年)  
1840年 04:00|サン・マルタン/フランス| |||<就任>フランス領サン・マルタン司令官「Munier」(~1866年)  
1840年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連合国会議長「ヨハン・(ハンス)・コンラート・フォン・ムルト」Con(~12. 31)  
1840年1月1日 08:00|ビトケン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトケン諸島主任判事「アーサー・Quintal1世」(~18411231)  
1840年1月3日-09:30|オーストラリア| |||『ポートフィリップ・ヘラルド』創刊。後の夕刊紙『ヘラルド』  
1840年1月4日-09:30|オーストラリア| |||ハンター・リヴァース・ステイム・サウイング・インダストリー会社設立  
1840年1月5日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光19年12月1日|林則徐が広州を封鎖し、イギリスとの貿易を断絶  
1840年1月6日-09:00|日本|東京都千代田区|天保10年12月2日|<解任>老中「松平乗寛」  
1840年1月10日 05:00|キューバ/スペイン| |||<就任>スペイン植民地キューバ総督・総司令官「アングロ公ペドロ・アルカンタラ・テレシキ・ロン・イビメンテル」(~18410307)  
1840年1月10日-09:00|日本|東京都千代田区|天保10年12月6日|<就任>老中「土井利位」(~1844年10月12日);老中首座「水野忠邦」  
1840年1月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国のロングアイランド海峡において外輪船「レキシントン」が火災により沈没。乗員・乗客143人中139人が死亡  
1840年1月16日-05:30|インド| |||<就任>バガール国統治者(ラナ)「キヤン・シン」(~18750312)  
1840年1月17日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>カリヤ諸島総司令官代理「Jose Maria Bremon」(~2. 25)  
1840年1月17日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州暫定市民知事「Jose Maria Bremon」(~2. 16)  
1840年1月17日 07:00|メキシコ| |||コウイラ州、ヌエボレオン州、タマリカス州の連邦党指導者は、リガランテ共和国としてメキシコの中央政府からの独立を宣言(~11. 6)  
1840年1月18日-09:00|日本|長野県松本市|天保10年12月14日|<死去>松平光行(71歳)前信濃松本藩主  
1840年1月19日-09:30|オーストラリア/アメリカ| |||ウィルクスランドがアメリカ海軍のチャールズ・ウィルクス中尉によって発見された  
1840年1月21日 00:00|南極/フランス| |||南極のアデーラランドは、ジュール・セバスチャン・セザール・デュモン・デュルイユ大尉によって発見され、フランスのために領有宣言  
1840年1月22日-09:00|日本| ||天保10年12月18日|<蛭社の獄>渡辺華山が蟄居、高野長英が永牢の処分を受ける  
1840年1月29日-02:00|南アフリカ| |||<死去>ズール王国国王「ティンガネ・ケンザンガコ」  
1840年1月30日-12:00|ニューゼーランド/イギリス| |||<就任>ニューゼーランド副総督「ウィリアム・ホブソン」(~18410103)  
1840年2月-03:00|イェメン| |||<死去>ラッシー朝イマム「アナジール・アフダラー」  
1840年2月 07:00|メキシコ| |||第一次ユカタン戦争(カスタ戦争)が始まる/連邦主義者のイマン將軍、ユカタン州の独立を宣言/パヤトリの町を占拠。サンタアナにより鎮圧  
1840年2月2日-09:00|日本|東京都|天保10年12月29日|江戸で屋敷内へ、神社をみだりに勧進することが禁止される  
1840年2月3日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル民政知事「Francisco de Paula de Sousa Vilas Boas」(~18420304)  
1840年2月3日-09:00|日本|東京都|天保11年1月|江戸、爆竹禁止  
1840年2月6日-12:00|ニューゼーランド/イギリス| |||イギリスが、マオリ族の族長たちとワイタンギ条約を結び、ニューゼーランドがイギリス直轄地になる  
1840年2月6日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||<就任>オーストリアのクロアチア文民軍事総督「ヨハン・アウグスト・リッター・フォン・トルシュクイ」(1842年1月まで代行~1848年10月)  
1840年2月10日-02:00|南アフリカ| |||<即位>ズール王国国王「ムバンデ」(~18721018死去)  
1840年2月10日 00:00|イギリス| |||ビクトリア女王、母方の従兄にあたるザクセン・コーブルク・ゴータの王子アルバート(21)と結婚  
1840年2月11日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「連隊の娘」》  
1840年2月15日-09:00|日本|京都府京都市|天保11年1月13日|<就任>京都所司代「牧野忠雅」(⇒1843(天保14年11月3日))  
1840年2月15日-09:00|日本|東京都千代田区|天保11年1月13日|<就任>西の丸老中「間部詮勝」(~1843年閏9月21日)  
1840年2月16日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州市民知事代理「Juan de Zarate y Murga」(~5. 31)  
1840年2月18日 00:00|イギリス| |||<死去>3代マンスフィールド伯「デヴィッド・ウィリアム・マレー」

1840迄 (2602件)

- 1840年2月18日 00:00|イギリス| |||<就任>4代マンズフィールド伯「ウィリアム・デ・ウイット・マレー」(18430711祖母からマンズフィールド伯位継承~18980801死去)
- 1840年2月18日-09:00|日本|東京都千代田区|天保11年1月16日|<死去>喬子女王(46歳)徳川家慶の正室、有栖川宮織仁親王の王女
- 1840年2月20日-04:00|モリスヤス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリスヤス総督・最高司令官代行「ジェームズ・パウアー」(~7.16)
- 1840年2月25日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島州総司令官「Juan Zarate y Murga」(~5.31)
- 1840年3月 01:00|カーボベルテ/ポルトガル| |||<就任>カーボベルテ総督「ジョアン・フォンテス・ペレイラ・デ・メロ」(1回目~18420708)
- 1840年3月 04:00|モントセラト/イギリス| |||<死去>イギリス植民地モントセラト大統領「Henry Hamilton」
- 1840年3月 04:00|モントセラト/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領代理「William Shiell」(1期目~1841.8)
- 1840年3月 06:00|グアテマラ| |||モラン、ふたたびグアテマラ反攻を試みるがカラ軍に敗れる/カラはロアトルスを再占領
- 1840年3月1日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第20代首相「アドルフ・ティエール」オルレアニスト(~10.29)
- 1840年3月3日 03:00|ブラジル| |||ファホス、タリリの戦いに敗北
- 1840年3月5日 00:00|イギリス| |||<死去>5代マルバラ公「ジョージ・スペンサー=チャーチル」
- 1840年3月5日 00:00|イギリス| |||<就任>6代マルバラ公「ジョージ・スペンサー=チャーチル」先代の子(~18570701死去)
- 1840年3月7日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領コールト=コスト総督「アンソニー・ファン・デル・エフ」(1回目~18460609)
- 1840年3月12日-09:00|日本| ||天保11年2月9日|<死去>石津亮澄(62歳)歌人、国学者
- 1840年3月18日-09:30|オーストラリア| |||ストニ、ロイヤル・ホテルとロイヤル・シアター焼失
- 1840年3月19日-09:00|日本|大分県大分市|天保11年2月16日|<死去>松平近儔(87歳)元豊後府内藩主
- 1840年3月20日-09:00|日本|静岡県富士宮市|天保11年2月17日|重須本門寺本堂・庫裡・書院等焼失
- 1840年3月21日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<死去>ホネール司令官「Claas Schotborgh」
- 1840年3月21日 04:00|BES諸島/オランダ| |||<就任>ホネール司令官「Jan Schotborgh Claaszoon」(~1848.6)
- 1840年3月25日-09:00|日本|東京都墨田区|天保11年2月22日|<大相撲>天保11年2月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関)不知火,8勝0敗2休
- 1840年3月28日-11:30|ノフォーク島/オーストラリア| |||<就任>ノフォーク島管理者「Alexander Maconochie」(~18440207)
- 1840年3月29日-02:00|サントピーク/ポルトガル| |||<就任>サントピーク州総督「ホキン・ペレイラ・マリンホ」(~18410507)
- 1840年3月29日-09:00|日本|兵庫県明石市|天保11年2月26日|<交替>播磨明石藩6万石「松平齊韶」隠居⇒養子「松平齊宣」が継ぐ(⇒天保13(1842)年、8万石に増徴)
- 1840年3月29日-09:00|日本|福岡県朝倉市|天保11年2月26日|<死去>黒田長韶(52歳)前筑前秋月藩主
- 1840年3月31日 06:00|エルサルバドル| |||<退任>中央アメリカ連邦共和国暫定大統領「ディエゴ・ビシル・イ・コルネヤ」最終的に連邦共和国を解体
- 1840年3月31日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連邦政府、官営工場労働者に10時間労働制度導入
- 1840年4月-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルハテ・イムハンマト」アルムタキル・アマトの息子(~18440110死去)
- 1840年4月1日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナール共和国人民代表評議会議長「ローレンス・バーテンホルスト」(1回目~6月)
- 1840年4月1日-02:00|リトアニア/ロシア| |||<就任>リトアニア及び北西部の地方総督「フョートル・ヤコブ・レビッチ・ミルコウイッチ」(~18500210)
- 1840年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・ベネデット・ベルツツィ」「ピエトロ・リギ」
- 1840年4月4日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「ホセ・マリア・シルヴァ」(2回目~15日)
- 1840年4月5日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「サンサルバドル市議会:ラファエル・フランスコ・ホセ(最初の投票市長)/イグナチウス・カリロ/シドロ・ガイテリ」(~15日)
- 1840年4月7日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣代行「パウン・ヤンコウイッチ」(~15日)
- 1840年4月7日-09:00|日本|東京都中央区|天保11年3月5日|<初演>「勸進帳」弁慶・五代目市川海老蔵、義経・八代目市川團十郎、富樫・三代目市川九蔵、[作・三代目並木五瓶、曲・四代目杵屋六三郎、河原崎座/「十八番」を(おはこ)と、呼称するようになった
- 1840年4月8日-05:30|インド/イギリス| |||コラバ国はイギリス領インド(ボンベイの一部)に併合(18430418に確認)
- 1840年4月9日 00:00|イギリス| |||<死去>10代ハース公(ジャコバイト)・5代メルフォート公(ジャコバイト)「チャールズ・エドワード・ドラモンド」
- 1840年4月9日 00:00|イギリス| |||<就任>11代ハース公(ジャコバイト)・6代メルフォート公(ジャコバイト)「ジョージ・ドラモンド」先代の甥(~19020228死去)
- 1840年4月10日-04:00|アゼルバイジャン| |||ナチヴァンはジョージア・イメレチアの一部(18461214からティフリス県~18490609)
- 1840年4月10日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ネッティ《歌劇「殉教者」》
- 1840年4月10日 00:00|カンビア/イギリス| |||<就任>イギリス領バサースト副総督「ヘンリー・ハントリー卿」(~18410531)
- 1840年4月10日-09:00|日本|福井県勝山市|天保11年3月8日|<死去>越前勝山藩22000石「小笠原長貴」(48歳)⇒5月2日、六男「小笠原長守」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1840年4月15日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サンサルバドル最高国家元首代行「アンソニー・ジョセフ・ケインズ・クインタナ」(2回目~9.23)
- 1840年4月18日-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー内閣長官「ジャン・ルイ・ジョセフ・フルネー」(2回目~18410413)
- 1840年4月19日-05:30|インド/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領インド総督代行「統治評議会:ホセ・アントニオ・ウイエイラ・ダ・フォンセカ(2回目)/ホセ・カンシオ・ブレイレ・リマ(2回目)/アントニオ・ジョアン・デ・アタイン(1回目)/トミンゴ・ホセ・マリア・ノリス(2回目)/ホセ・ダ・

1840迄 (2602件)

- コスタ・カンボス(1回目)/カターノ・デ・スザ・エ・ウァスコンフェロス(1回目) (~9. 24)
- 1840年4月20日-09:00|日本|山形県新庄市|天保11年3月18日|<交替>出羽新庄藩68200石「戸沢正胤」隠居⇒次男「戸沢正令」が継ぐ(⇒天保14(1843)年5月22日、31歳で死去)
- 1840年4月25日-01:00|フランス| ||<死去>ホ・アソ/58歳(誕生17810621)数学者で物理学者。ホ・アソの方程式
- 1840年4月27日-05:30|インド/フランス| ||<就任>フランス領インド総督「ポール・ド・ヌルケル・デュ・カンペール」(~1844年)
- 1840年5月-05:00|パキスタン| ||パルティスタンはパシジャーブ国、後にジャムム・カシミール国の支配下に入る
- 1840年5月-01:00|スペイン| ||スペインで初の労働組合が結成
- 1840年5月1日 00:00|イギリス| ||ペニーブラックとペンスブルーと呼ばれる世界初の郵便切手を発行/近代郵便制度の始まり
- 1840年5月2日-05:30|インド| ||<就任>サントール国統治者(ヒンドゥー教徒、マリカット・マダール)「ヴェンカタ・ラオ2世」(~1861年没)
- 1840年5月2日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国首席大臣「フランシス・ラモ・デ・アジス・コエリョ」(~18日)
- 1840年5月3日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリスの女流作家「フレ」/87歳(誕生17520613)
- 1840年5月4日 06:00|アメリカ| ||アメリカ合衆国ミシシッピ州チェスで竜巻/船の転覆により被害が拡大し、317人が死亡
- 1840年5月10日-09:00|日本|長崎県島原市|天保11年4月9日|<死去>肥前島原藩65000石「松平忠侯」(42歳)⇒次男「松平忠誠」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年4月16日、病死)
- 1840年5月15日-01:00|セルビア| ||<就任>セルビア公国首席大臣代行「ジョルジェ」(⇒6. 24、首席大臣~18420908)
- 1840年5月16日-01:00|クアチアカ| ||<就任>クアチアカン代行「ジュゼッペ・ハウリ、ザグレバ・チュキ・ビスクッ」(~18420616)
- 1840年5月18日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国首席大臣代行「カターノ・マリア・ロペス・ガマ」(~23日)
- 1840年5月18日 05:00|パナマ| ||<就任>パナマ総督「トマス・デ・エレラ」(2回目~1842年)
- 1840年5月21日-12:00|ニューゼーランド/イギリス| ||イギリスが、ニューゼーランド併合
- 1840年5月21日-05:30|インド| ||<就任>ナバ国ラジャ「デヴェントラシン」(~18460918)
- 1840年5月23日-05:30|インド| ||<就任>アフマドガール国ラジャ「ハルワント・シン」(~18410928没)
- 1840年5月23日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国首席大臣「イタノ子爵アキニ・ホセ・ド・リケ・ストレス」(~7. 22)
- 1840年5月26日-05:30|インド| ||<就任>ジュナーガド国支配者(ナワブ)「モハメド・ハミド・ハンジ-2世」(~1851年没)
- 1840年5月27日-01:00|イタリア| ||<死去>パガニコ/57歳(誕生17821027)イタリアの作曲家
- 1840年5月30日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<死去>オランダ領東インド総督「Dominique Jacques de Eerens」
- 1840年5月30日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督代理「Carel Sirardus Willem graaf van Hogendorp」(~18410106)
- 1840年6月-07:00|カンボジア/ベトナム| ||カンボジアはベトナムに併合(~1844年)
- 1840年6月-05:30|インド| ||<即位>ラタック国王(フォス・ギヤル・チェン・ホ)「ジグズ・マツ・ラム・ゲル」(1回目~7月)
- 1840年6月1日-01:00|ルウェー| ||<就任>ルウェー総督代行「ニコライ・ヨハン・ロマン・クロック」(~18410505)
- 1840年6月3日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>ナール共和国総司令官「アントニス・ゲイルヘルムス・ヤコブス・フレリウス」(1回目~18420110)
- 1840年6月3日-09:00|日本|長野県諏訪市|天保11年5月4日|<交替>信濃高島藩3万石「諏訪忠恕」隠居⇒長男「諏訪忠誠」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年5月24日、隠居)
- 1840年6月4日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光20年5月5日|広東水師提督関天培が磨刀洋のイギリス軍を襲撃する(7ヶ月戦争の発端)
- 1840年6月7日-01:00|ドイツ| ||<死去>プロシア王・ホズタン大公「フリードリヒ・ヴィルヘルム3世」69歳(誕生17700803)
- 1840年6月7日-01:00|ドイツ| ||<即位>プロシ王国王「フリードリヒ・ヴィルヘルム4世」フリードリヒ・ヴィルヘルム3世の息子(~18610102 死去65歳)
- 1840年6月9日-09:00|日本|兵庫県丹波市|天保11年5月10日|<死去>織田信守(69歳)前丹波柏原藩主
- 1840年6月13日 00:00|アイスランド/デンマーク| ||<就任>アイスランド総督代行「ヨン・ヨソソ」(~18410619)
- 1840年6月14日-08:00|中国| ||清の道光20年5月15日|清の道光帝が阿片の貿易・販売・吸飲を禁止
- 1840年6月19日-09:00|日本| ||天保11年5月20日|<死去>立原杏所(56歳)南画家、水戸藩士
- 1840年6月20日-02:00|トルコ| ||トルコ・アララット山で地震、死者1500人
- 1840年6月28日-08:00|中国/イギリス| ||清・道光20年5月29日|イギリス軍が広州を封鎖/アヘン戦争が本格化
- 1840年6月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>ポントデルガダ民政知事「Joaquim Jose de Azevedo」(~18410909)
- 1840年7月-05:30|インド| ||<即位>ラタック国王(フォス・ギヤル・チェン・ホ)「カンタガ・ラム・リケル2世」(~1842年)
- 1840年7月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>アレクソ・ワリス(総督)「Ayasli Esad Mehemet Muhlis Pasha」(~1842. 8)
- 1840年7月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Haci Ali Pasha」(2期目~同年)
- 1840年7月-01:00|スペイン| ||スペインでエスペルtero将軍が政権を掌握し、独裁開始
- 1840年7月 00:00|キニアビサウ/ポルトガル| ||<就任>ビサウ総督「オリア・ペレイラ・パレット」(2回目~1841年)
- 1840年7月2日-02:00|トルコ/アルメニア| ||トルコ・アルメニアで地震(M7. 4)死者1000人
- 1840年7月3日-09:00|日本|広島県|天保11年6月5日|(3日~)長雨続き、大洪水、福山領内堤防欠壊1390か所、流失家屋358戸、崩壊家屋240戸、死者82人/広島水主町、国泰寺村堤防越水、流失倒壊家屋320軒、死者45人
- 1840年7月4日 06:00|アメリカ| ||独立国庫法発効、財務省分局設置
- 1840年7月5日-05:30|インド| ||<就任>ランプール国統治者(ナワブ)「モハメド・サイト・カーン」(~18550401没)
- 1840年7月5日-09:00|日本|群馬県沼田市|天保11年6月7日|<交替>上野沼田藩35000石「土岐頼功」隠居⇒養子「土岐頼寧」が継ぐ(⇒弘化4(1847)年8月10日、22歳で死去)
- 1840年7月5日 00:00|イギリス/中国| ||清・道光20年6月7日|イギリス軍が舟山群島を占領
- 1840年7月14日-03:00|マダガスカル/フランス| ||リベ島はフランスの植民地(イルド・ポルソン[リュニオン]に従属)

1840迄 (2602件)

- 1840年7月15日-02:00|エジプト/シリア/アラブ | |||ロンドン4国条約により、エジプト軍がシリアから撤退  
1840年7月15日-01:00|オーストリア/トルコ/イギリス/ロシア | |||イギリス、オーストリア、プロシヤ、ロシアが、エジプト総督ムハンマド・アリー(71)に  
対抗してオスマン帝国と同盟を結ぶ  
1840年7月16日-04:00|モリスヤス/イギリス | |||<就任>イギリス植民地モリスヤス総督・最高司令官「ライオネル・ミス卿」(~18420102  
)  
1840年7月18日 00:00|ガンビア/イギリス | |||コンボの一部がコンボ王によってイギリスに割譲される  
1840年7月20日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Antonio Gonzalez y Gonzalez」進歩党(~8.  
12)  
1840年7月22日 03:00|ブラジル | |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「ベルナルド・ペレイラ・デ・ウアスコネロ」(2回目~9時間)⇒  
代行「ホセ・セルジオ・リグス・トレス」(~24日)  
1840年7月23日 00:00|イギリス | |||イギリス議会在ががた連合法を通過させ、女王の裁可を得る  
1840年7月23日 03:00|ブラジル | |||<親政>ブラジル皇帝「ペドロ2世」摂政廃止/連邦制度を定めた34年憲法修正を廃  
し、中央集権を強める  
1840年7月24日 03:00|ブラジル | |||<就任>ブラジル帝国主席大臣「アントニオ・カルロス・リベロ・デ・アントウダ・マチャド・エ・シム」(  
~18410327)  
1840年7月25日-02:00|キプロス/トルコ | |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「オスマン・パシャ」(2回目~同年)  
1840年7月28日 00:00|イギリス | |||<死去>初代ダラム伯「ジョン・ジョージ・ラムトン」  
1840年7月28日 00:00|イギリス | |||<就任>2代ダラム伯「ジョージ・フレデリック・ダーク・ラムトン」初代伯の息子(~18791127死去  
)  
1840年7月30日 04:00|アンティグア・バブーバ/イギリス | |||<就任>アンティグア総督代行「ジョン・マクフェイル」(~18420221)  
1840年7月30日 04:00|トミカ国/イギリス | |||<就任>イギリス領トミカ副総督「リチャード・ホート」(~1842年2月)  
1840年8月3日-09:00|日本|千葉県館山市|天保11年7月6日|<死去>稲葉正武(72歳)前安房館山藩主  
1840年8月5日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ベトリス・ブリンズ」(第  
1回)⇒「カレル・ピーター・ラントマン」(第1回~同月)  
1840年8月6日-01:00|フランス | |||ルイ・ナポレオンがブローニュで二度目の扇動に失敗  
1840年8月12日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Valentin Ferraz」進歩党(~28日)  
1840年8月15日-02:00|ルーマニア | |||<就任>トランシルヴァニア総督「アダム・グロフ・レディ・キスレディ(政府議長)」(1回目~1842033  
0)  
1840年8月17日-09:00|日本|静岡県牧之原市|天保11年7月20日|<交替>遠江相良藩1万石「田沼意留」隠居⇒嫡男「  
田沼意尊」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年9月21日、上総国小久保藩11270石に移封)  
1840年8月18日-09:30|オーストラリア | |||<発足>アデレード、オーストラリアの最初の地方自治体が成立/オーストラリア最初の公職選  
挙  
1840年8月21日 00:00|ポルトガル | |||<就任>アンガル地区暫定民政知事「Diogo da Silva Castelbranco」(~18410102  
)  
1840年8月22日 04:00|マルティニーク/フランス | |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Etienne Henri Mengin Duval d'Ailly」(~1  
844年)  
1840年8月26日-02:00|シリア/アラブ/トルコ | |||<就任>ダマスカス・ワリス(総督)「Necib Mehmed Pasha」(~1842.10)  
1840年8月27日 06:00|ニカラガア | |||<就任>ニカラガア独立共和国最高取締役「パトリシア・リバス」(2回目~18410304)  
1840年8月28日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国暫定閣僚評議会議長「Modesto Cortazar Leal」進歩党(~9.11  
)  
1840年8月29日-03:00|エチオピア | |||<退位>エチオピア帝国(後期ソモン朝)皇帝「サル・テンケル」  
1840年8月30日-03:00|エチオピア | |||<即位>エチオピア帝国皇帝「ヨハネス3世テレ・ギヨルギス」(1回目~1841年10月)  
1840年9月-03:00|サウジアラビア | |||<就任>メッカ・シャリフ「ムハンマド3世・イブン・アブドゥル・ムイン」(2度目~1851年7月)  
1840年9月1日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「ロレンス・バーデンホルスト」(第2回~同  
月)  
1840年9月5日-01:00|イタリア | |||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「王国の一日」「1日だけの王  
様、または偽のスタニスオ」》  
1840年9月9日-02:00|レバノン | |||イギリス、オーストリア、オスマン帝国が、エジプトが支配していたパイルトを砲撃  
1840年9月11日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Vicente Sancho」進歩党(~16日)  
1840年9月12日-09:00|日本|東京都|天保11年8月17日|江戸で新たな道場の開設が禁止/縁日も禁止  
1840年9月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<死去>アセンション島司令官「ロジャー・ソリー・ティンクラー」  
1840年9月14日 00:00|セントヘレナ/イギリス | |||<就任>アセンション島司令官代理「ジョン・ウェイト」(~18401207)  
1840年9月16日-01:00|スペイン | |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Baldomero Espartero」進歩党(~18410510)  
1840年9月18日-09:00|日本|岩手県一関市|天保11年8月23日|<死去>陸奥一関藩3万石「田村邦顕」(25歳)⇒11月30  
日、弟「田村邦行」が継ぐ(⇒安政4(1857)年2月19日、死去)  
1840年9月20日 04:00|パラグアイ | |||<就任>パラグアイ臨時政府理事会議長「マヌエル・アントニオ・オルティス」(~18410122)  
1840年9月20日-09:00|日本|京都府宮津市|天保11年8月25日|<死去>丹後宮津藩7万石「松平宗発」(59歳)元寺社奉  
行・大坂城代・京都所司代・老中⇒11月4日、甥「松平宗秀」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年10月29日、強制隠居)  
1840年9月23日 06:00|エルサルバドル | |||<就任>中央アメリカ連邦共和国サルバドル最高国家元首代行「ルヘル・ラミレス・エリ  
ア」(~18410107)  
1840年9月24日-05:30|インド/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領インド総督代行「セルジオ・ホセ・ステ・リマ」(~18420427)  
1840年9月28日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>ナタール共和国人民代表評議会議長「フランス・ルース」(1回目~11月)

1840迄 (2602件)

- 1840年9月28日-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア・ヘルツェゴビナ総督「ママト・フスレフ・パシヤ」(~11.6)
- 1840年10月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス管財人「ママト・タート」(~1841年10月)
- 1840年10月1日-09:30|オーストラリア| |||『シドニー・ヘラルド』日刊紙となる
- 1840年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ラッファエレ・ゴジ」[「ピエトロ・ゾーリ」]
- 1840年10月1日-09:00|日本| ||天保11年9月6日|<死去>太田章三郎(71歳)俳人、徳島藩士
- 1840年10月7日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国国務院副議長兼閣僚評議会議長代行「ヨンキール・ヤン・エリアス・ニコラス・ファン・リンデン」(~12.31)
- 1840年10月7日-01:00|オランダ/ルクセンブルク| |||<即位>ネーデルラント王国国王「ウィレム2世(キヨム2世)」兼ルクセンブルク大公「キヨム2世」ウィレム1世の長男(~18490317死去56歳)
- 1840年10月7日-01:00|オランダ/ルクセンブルク| |||<退位>オランダ王「キヨム1世」兼ルクセンブルク大公・リンブルク公「ウィレム1世」ローマ・カトリック教徒のベルギーのアウトレムント伯爵夫人と結婚のため
- 1840年10月9日-09:00|日本|群馬県高崎市|天保11年9月14日|<死去>上野高崎藩82000石「松平輝徳」(21歳)⇒養子「松平輝充」が継ぐ(⇒弘化3(1846)年9月23日、隠居)
- 1840年10月15日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|天保11年9月20日|<交替>伊勢神戸藩15000石「本多忠升」隠居⇒次男「本多忠寛」が継ぐ(⇒安政4(1857)年4月26日、隠居)
- 1840年10月17日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン摂政「バルドメロ・エスパルトリ」(~18430723)カリスタを押さえ込み、三年間にわたる専制政治
- 1840年10月23日-09:00|日本|大分県竹田市|天保11年9月28日|<死去>豊後岡藩70440石「中川久教」(41歳)⇒12月6日、婿養子「中川久昭」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1840年10月29日-01:00|フランス| |||<辞職>フランス首相「ルイ・アドルフ・ティエール」対峙「リス強硬路線をとろうとして国王ルイ・フィリップ」と対立し
- 1840年10月29日-01:00|フランス| |||<就任>フランス王国第21代首相「ニコラ・ジャン・ド・デュヌール」無党派軍人(第3次~18470919)
- 1840年11月-05:45|ネーデル| |||<就任>ネーデル首相「ランカ・ナート・ホウディアル」(2回目~同月)⇒「ファッテ・ジャン・シャハ」(1回目~1843年1月)
- 1840年11月 00:00|セネガル| |||<就任>ワロ統治者(ブラク)「モー・ムベ・イ・マリック・ムベイ」(~1855年2月)
- 1840年11月4日-09:00|日本|東京都中央区|天保11年10月11日|<死去>三河国田原藩家老・画家、辺華山切腹
- 1840年11月6日-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ホスニア・ヘルツェゴビナ総督「カミル・ママト・パシヤ」(~18441111)
- 1840年11月6日 07:00|メキシコ| |||リカランテ 共和国指導者たちはメキシコ軍に降伏
- 1840年11月8日 00:00|イギリス/アフガニスタン| |||アフガニスタンのドースト・ムハンマドがイギリス軍に降伏
- 1840年11月10日 06:00|アメリカ| |||アメリカ大統領選でホイッグ党のウィリアム・ヘンリー・ハリソンが勝利
- 1840年11月11日-09:00|日本|東京都|天保11年10月18日|女浄瑠璃・人形見物が禁止される
- 1840年11月16日 03:00|ブラジル| |||Antonio Netoの率いるリカランテ軍、サンフェリペの戦いに勝利
- 1840年11月16日-09:00|日本|佐賀県唐津市|天保11年10月23日|<死去>肥前唐津藩6万石「小笠原長和」(20歳)⇒養子「小笠原長国」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1840年11月17日-05:30|インド| |||<死去>パシジャブ 国マハラジャ「サウ・ニハル・シン」事故死
- 1840年11月17日-05:30|インド| |||<即位>パシジャブ 国マハラジャ「チャンド・カウル・クワール」(~18410118没)
- 1840年11月17日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「ヨアヒム・ヨハネス・ベトス・ブリンスロー」(2回目)
- 1840年11月17日-01:00|フランス| |||仏の彫刻家ロダン死去「考える人」「地獄門」
- 1840年11月17日-09:00|日本|東京都墨田区|天保11年10月24日|<大相撲>天保11年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東関脇)稲川,7勝1敗2休
- 1840年11月18日-05:30|インド| |||<就任>ジャムカンテイ国統治者(ラオ)「ラムチャンドラ・ラオ・ゴパール・ラオ・アッパ・サーヒブ・パトワラダ」(~18970112没)、摂政「ラニ・ラタハイ」(~1847年11月)
- 1840年11月18日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>ナタル共和国人民代表評議会議長「フランス・ルス」(2回目)
- 1840年11月18日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ上級市民首長「トマス・ホセ・ラモン・テル・カルメン・デ・エレラ・イ・ベリス・ダビラ」(~18410320)
- 1840年11月20日-09:00|日本| ||天保11年10月27日|<死去>5代田中伝左衛門(不明)歌舞伎囃子方
- 1840年11月21日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「モリス・バーロウ」(~12.14)
- 1840年11月24日-09:00|日本|東京都|天保11年11月|<襲名>8代横綱「不知火諾右衛門」39
- 1840年11月24日-12:00|ニュー・ゼラント/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ニュー・ゼラント 総督「ウィリアム・ホフリン」(~18420910)
- 1840年11月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|天保11年11月3日|<就任>大坂城代「青山因幡守忠良」(~弘化1.12.28)
- 1840年11月27日-02:00|エジプト| |||エジプト総督ハンマド・アリーが、イギリス海軍と協定を結び、第2次エジプト・トルコ戦争が終結
- 1840年12月1日 00:00|イギリス/オーストラリア| |||ジョン・ガールド、『オーストラリアの鳥類』の第1巻ロンドンで出版
- 1840年12月2日-01:00|イタリア| |||<初演>ガエターノ・ド・ゼッティ《歌劇「ファウオリタ」》
- 1840年12月7日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官代理「ウィリアム・リー」(1期目~18410427)
- 1840年12月9日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島州総司令官「Mariano Ricafort Palacín y Abarca」(~1841.3)
- 1840年12月11日-09:00|日本|京都府京都市|天保11年11月18日|<死去>光格天皇(70歳、明和8(1771)0815生)119代天皇
- 1840年12月14日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「フィリップ」(~19051117死去)

1840迄 (2602件)

1840年12月14日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事代行「ジョン・タイラー」(~18410925)

1840年12月16日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<即位>ブラバント公「レオポルト」(~18651210)

1840年12月16日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ジョン・ジエリミ卿」(~18410423死去)

1840年12月16日 00:00|ガンビア/ガナ/シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス領西アフリカ総督(シエラレオネ総督)「ジョン・ジエリミ卿」(~18410423)

1840年12月16日-09:00|日本|山形県鶴岡市|天保11年11月23日|<三方領地替反対一揆>庄内藩など三藩への領地替えに反対し、庄内の領民が一揆を起こす

1840年12月20日-09:00|日本|茨城県笠間市|天保11年11月27日|<死去>常陸笠間藩8万石「牧野貞一」(26歳)⇒12月27日、弟「牧野貞勝」が継ぐ(⇒天保12(1841)年6月20日、死去)

1840年12月24日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領イリュリア王国ライハツ州知事「カール・ヨーゼフ・アントン・グラーフ・フォン・ヴェルペルク、ライテナント・フーリム」(~18410421)

1840年12月26日-09:00|日本|滋賀県長浜市|天保11年12月3日|<死去>国友一貫斎(63歳) 鉄砲鍛冶師、発明家/日本で最初の実用空気銃や反射望遠鏡を製作。自作の望遠鏡を用いて天体観測を行った、日本の天文学者のさきがけの一人